

第20回
世界バラ会議
福山大会
2025

WFRS 20th
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUKUYAMA

実 施 計 画

2021年(令和3年)3月策定
2023年(令和5年)3月改訂

世界バラ会議福山大会実行委員会

1 大会名称

第20回世界バラ会議福山大会2025

2 テーマ

Roses for the Future

～福山からはじまる、新しい未来～

3 コンセプト

みんなで創る みんなで盛り上げる みんなで輝く

4 開催期間

本会議：2025年（令和7年）5月18日(日)～24日(土)

〔 プレツアー：5月12日（月）～17日（土）
ポストツアー：5月25日（日）～30日（金） 〕

5 開催主体

世界バラ会議福山大会実行委員会

特別顧問：観光庁・農林水産省・国土交通省・外務省・経済産業省
(公社)2025年日本国際博覧会協会・広島県

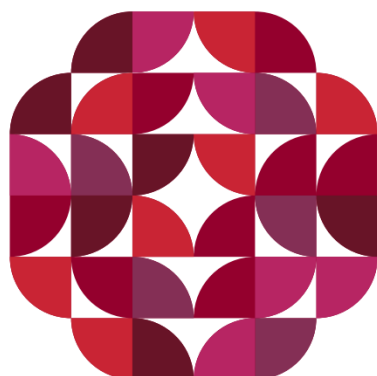
会長：(公財)日本ばら会

実行委員長：福山市

6 想定登録者数

700人(海外350人 国内350人)

7 大会ロゴ



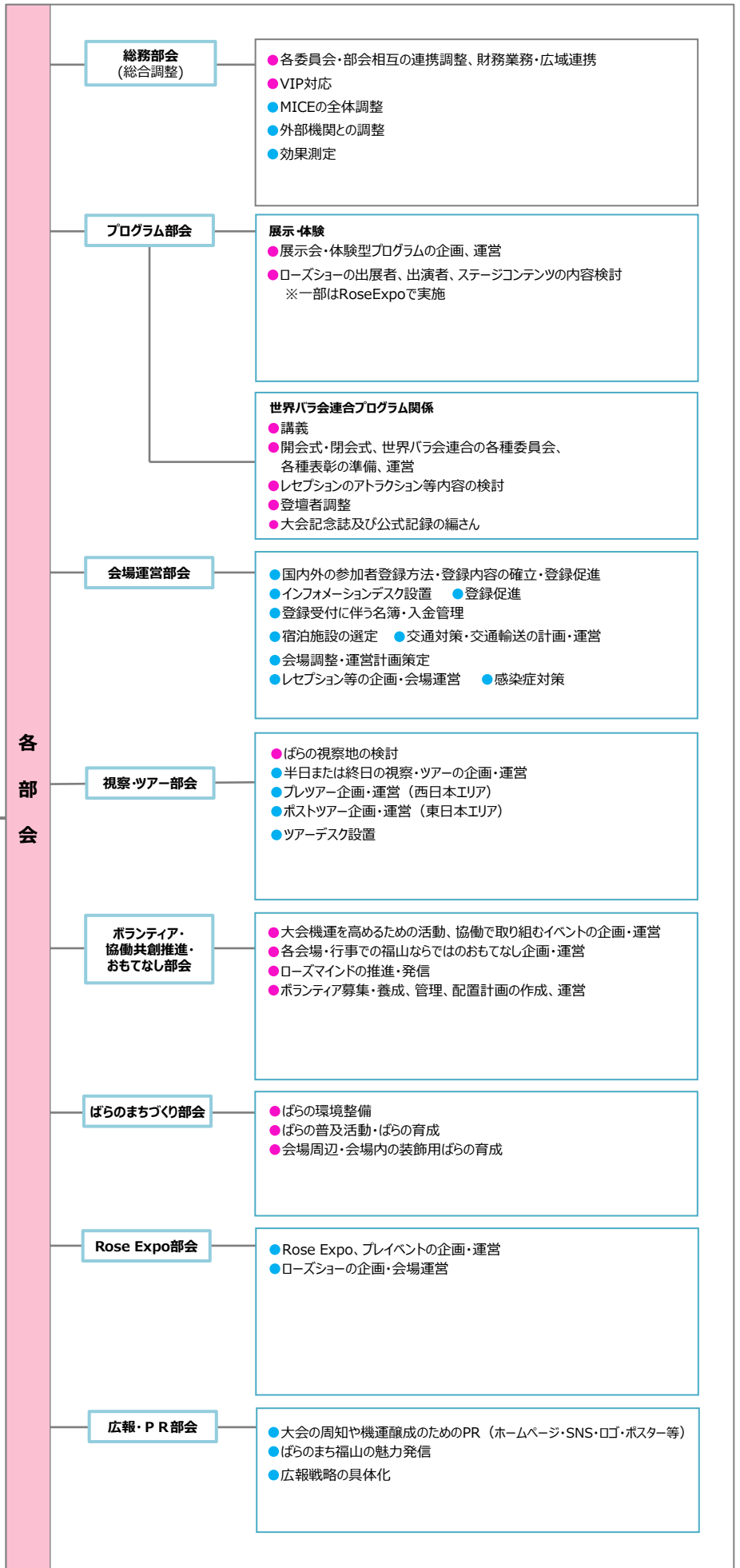
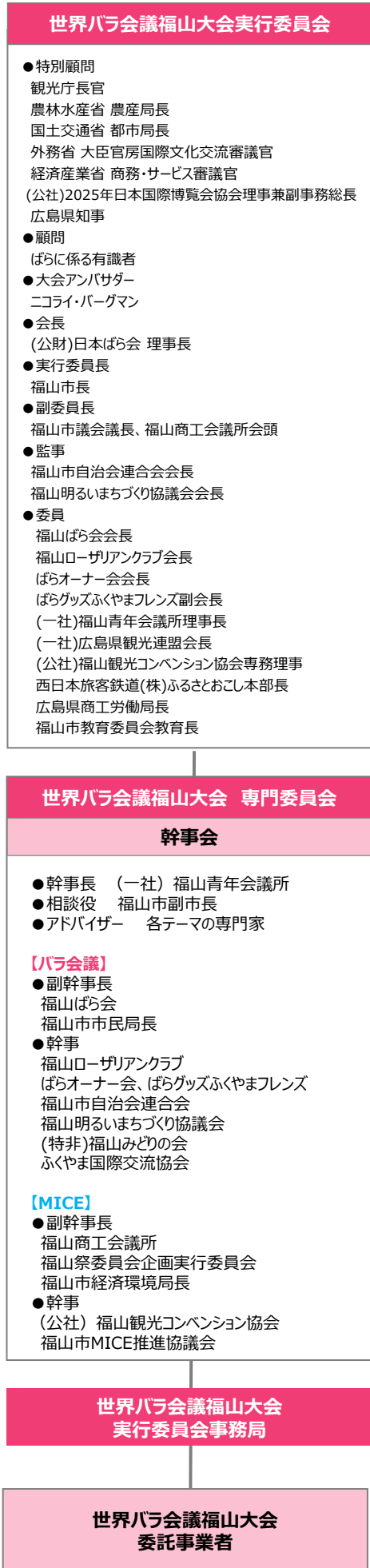
WFRS 20th
WORLD ROSE
CONVENTION

2025

in FUKUYAMA

第20回 世界バラ会議福山大会

推進体制



目次

I 開催概要	4	⑨ 歓迎昼食会	36
1 開催の背景	5	⑩ 交流会	38
■「ばらのまち福山」の沿革	5	⑪ オプショナル・同伴者プログラム	39
■世界バラ会議とは	6	⑫ プレツアー	39
2 開催趣旨・基本方針	7	⑬ ポストツアー	40
■大会のめざすべき方向性	7		
■開催のコンセプト	8	IV ローズマインド推進計画	42
3 大会の事業構造	9	1 ローズマインドを育んだ「ばらのまち福山」	43
■全体の事業構造	9	2 ローズマインド推進計画の基本方針	44
■世界バラ会議の事業構造	9	3 ローズマインドの推進	45
4 大会名称	10	①ローズマインド浸透のための取組	45
5 テーマ	10	②おもてなしの取組	45
6 開催期間	10	4 インバウンドの推進	46
7 登録者数	10	①インバウンドへの取組内容	46
8 参加登録費	10	②大会期間中の滞在支援	47
9 プログラム概要	11		
■本会議	11	V 協働・共創推進計画	48
①世界バラ会連合 各種委員会・会議	11	1 協働・共創推進計画の基本方針	49
②講義	11	2 協働・共創の推進	50
③ウェルカムパーティー	11	①多彩な市民参加を促す取組	50
④開会式・歓迎レセプション	11	②協働・共創推進のための取組	50
⑤閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	11	3 シビックプライドの醸成	51
⑥視察・ツアー	12	4 多様な主体による取組事例	51
⑦ローズショー・展示会	12		
⑧フレンズディナー	12	VI ボランティア計画	52
⑨歓迎昼食会	12	1 ボランティア計画の基本方針	53
⑩交流会	12	2 募集	53
⑪オプショナル・同伴者プログラム	12	①応募方法	53
⑫プレツアー	12	②募集範囲	53
⑬ポストツアー	12	3 運営方法	54
10 大会スケジュール概要	13	①登録・研修スケジュール	54
11 大会スケジュールタイムライン	14	②研修内容	54
		4 主な活動内容	55
		①事務局ボランティア	55
		②会場ボランティア	55
		③語学ボランティア	55
II 会場計画	16		
1 会場計画の基本方針	17	VII 宿泊・交通計画	58
2 会場候補の選定	17	1 宿泊・交通計画の基本方針	59
■会場の選定条件と各会場の機能	17	2 宿泊計画	59
①インフォメーションセンター	17	①宿泊施設候補案の選定	59
②世界バラ会連合 各種委員会・会議／ 閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	17	②宿泊施設における受付体制	59
③講義	17	3 交通輸送計画	61
④開会式・歓迎レセプション	17	①各会場等への移動方法	61
⑤ウェルカムパーティー／フレンズディナー／ 歓迎昼食会／交流会	17	②視察・ツアー地への移動方法	61
3 ユニークベニュー	17	4 福山までのアクセス	62
①ユニークベニュー候補の選定	17	①アクセス方法の提示	62
②会場らしさを体現する演出	17		
4 会場配置	18	VIII 参加登録計画	64
5 会場候補概要	18	1 参加登録計画の基本方針	65
		2 登録区分設定	65
III 開催内容	22	3 登録方法	66
1 本会議	23	4 参加登録までの業務フロー	66
①世界バラ会連合 各種委員会・会議	23		
②講義	25		
③ウェルカムパーティー	26		
④開会式・歓迎レセプション	28		
⑤閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	30		
⑥視察・ツアー	33		
⑦ローズショー・展示会	34		
⑧フレンズディナー	35		

IX 広報計画	68	XIV レガシー創出計画	96
1 広報計画の基本方針	69	1 レガシー創出計画の基本方針	97
2 戦略的広報フェーズ(Phase.1~6)	71	2 レガシー創出への取組	98
■ マスコミ報道(パブリシティ)獲得に向けた考え方	73	■ 市民一人一人にもたらすレガシー	98
3 大会ムーブメントの取組	74	① 福山のばらの歴史への理解を通じた福山の 魅力の再発見、シビックプライドの醸成	98
① 大会に向けた機運醸成	74	② 大会を通じて生活の中に花と緑を取り入れた ライフスタイルの提案	98
② 大会サポーターの拡大	75	③ まちづくりやボランティアの参画	98
③ ばら文化の発信を通じたばらファンの拡大と ばら文化の向上	75	■ 地域を創る・地域発展のレガシー	98
④ Something Roseの取組	75	① まちなかのばらの充実、名所・施設の整備	98
⑤ 「ばらのまち」の見える化～ムーブメント～	75	② 大会記念ばらの普及	98
4 大会ロゴ	76	③ まちづくりの担い手の確保や育成、活動の場を 創出し交流を活性化	98
X スポンサー・パートナー計画	78	④ 関連民間団体等との多様な連携強化	98
1 スポンサー・パートナー計画の基本方針	79	⑤ 新たな官民の連携	98
2 協賛区分	79	⑥ 地域資源の価値を再確認し、ばらを楽しみ、 交流・周遊できる仕組みづくり	98
① スポンサー案	79	■ 世界へと広がるレガシー	99
② パートナー案	79	① 世界バラ会連合に対するレガシー・平和への メッセージの発信	99
3 協賛獲得・運用スケジュール	79	② 多文化への理解促進	99
XI 安全対策計画	80	③ インバウンドインフラの整備・推進	99
1 安全対策計画の基本方針	81	■ 未来を創るレガシー	99
2 安全対策計画	81	① ばらイベントの再構築	99
① 危機管理体制	81	② 持続可能なまちをめざしたSDGsの推進、教育	99
② 災害・事故対策	82	③ ばらの価値の向上、ばらの特色を活かしたビジ ネスチャンスの拡大	99
③ 救護対策	82	④ 年間を通したばらの情報発信・交流の拠点づくり	99
④ 感染症対策の徹底	83	⑤ MICE福山モデルの確立	99
⑤ 食品衛生対策	83	XV ロードマップ	100
⑥ 警備計画	83	1 2020年(令和2年)～2026年(令和8年) 以降のロードマップ	101
⑦ 判定会議	84		
⑧ 大会参加者への情報提供	84		
XII Rose Expo FUKUYAMA 2025開催計画	86		
1 Rose Expo FUKUYAMA 2025開催概要	87		
① 催事名称	87		
② 開催コンセプト	87		
③ 開催期間	87		
④ 会場	87		
⑤ 構成概要	87		
2 会場構成	88		
3 展示構成	89		
4 展示内容	90		
5 運営計画	92		
① 開催までの準備	92		
② 会場運営のポイント	92		
XIII 2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)との連携	94		
1 2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)との連携	95		

I 開催概要

1 開催の背景	5	⑨ 歓迎昼食会	12
■ 「ばらのまち福山」の沿革	5	⑩ 交流会	12
■ 世界パラ会議とは	6	⑪ オプション・同伴者プログラム	12
2 開催趣旨・基本方針	7	⑫ プレツアー	12
■ 大会のめざすべき方向性	7	⑬ ポストツアー	12
■ 開催のコンセプト	8	10 大会スケジュール概要	13
3 大会の事業構造	9	11 大会スケジュールタイムライン	14
■ 全体の事業構造	9		
■ 世界パラ会議の事業構造	9		
4 大会名称	10		
5 テーマ	10		
6 開催期間	10		
7 登録者数	10		
8 参加登録費	10		
9 プログラム概要	11		
■ 本会議	11		
① 世界パラ会連合 各種委員会・会議	11		
② 講義	11		
③ ウェルカムパーティー	11		
④ 開会式・歓迎レセプション	11		
⑤ 閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	11		
⑥ 視察・ツアー	12		
⑦ ローズショー・展示会	12		
⑧ フレンズディナー	12		



1 開催の背景

■「ばらのまち福山」の沿革

市内の至る所にばらが咲き誇る福山市とばらとの深い関わりは、戦後復興期まで遡ります。

1945年(昭和20年)8月8日、空襲を受け、福山市は市街地の約8割を焼失しました。戦争の傷跡が癒えない1950年代半ば、まちの復興に向け懸命に生きる住民の中から「花を植えよう。荒廃したまちに潤いを与え、人々の心に和らぎを取り戻そう。」という声が起こりました。そして、市民の手によって現在のばら公園におよそ1,000本のばら苗が植えられたのが、ばらのまちづくりの始まりです。この動きは多くの人々の心を打ち「花は美しい、それを愛し育む人の心はなお美しい」を合言葉に、市内の至る所に小さなばら花壇が作られ、市民みんなで盛り上げる福山ばら祭が開催されるなど、ばらを通じた様々なまちづくりが取り組まれてきました。

1985年(昭和60年)にはばらは市の花に制定され、まさに福山市のシンボルとなり、さらに市民の大切なふれあいの場となっているばら公園は、2006年(平成18年)5月に「世界バラ会連合優秀庭園賞」を受賞しています。

ばらへの慈しみが思いやり・やさしさ・助け合いの心を育み、「ばらづくりは優しいまちづくりにつながる」という人々の想いが“ローズマインド”という言葉を生み、家庭の庭先から道沿いの小さな花壇へ、そしてまち全体に広がり根付いていきました。その成果として、2015年(平成27年)に「福山市ばらのまち条例」が制定され、市制施行100周年に当たる2016年(平成28年)に「100万本のばらのまち福山」が実現しました。



●ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」

■ 世界バラ会議とは

世界バラ会議世界大会は、50年の歴史を持つ、現在世界40か国が加盟する世界バラ会連合(The World Federation of Rose Societies)の最大の大会で、3年に1度開催する、ばらに関する国際会議です。大会には、世界各国からばらの研究者、生産者、愛好家、芸術家など、世界のばら関係者約600～700人が一堂に会します。世界大会では、毎回ばらについての知識の啓発と普及、研究の促進、分類やコンテストの審査基準の提示・標準化などについて、それぞれの課題の解決や目標達成のための方策を議論するとともに、世界のばら愛好家の相互親善、情報交換の場として機能してきました。具体的には、各国の代表が世界バラ会連合の目的達成のために討議する各種委員会、最新の情報などの講義、開催国のばら園の視察などが実施され、各国から参加したばら関係者の間で交流が深められています。加えて、優秀庭園賞の決定、事前に投票で決定した栄誉の殿堂入りのばらの絵画披露などが行われ、まさに、ばらの世界に絶大な影響を与える、権威ある大会です。

2018年(平成30年)第18回世界バラ会議デンマーク・コペンハーゲン大会において、戦後60年以上に及ぶばらのまちづくりや“ローズマインド(思いやり・優しさ・助け合いの心)”を大切に育ててきた取組が認められ、2024年(令和6年)、第20回となる節目の大会を福山市で開催することが決定しました。しかし、2020年(令和2年)の初めに始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、2021年(令和3年)第19回世界大会の開催を予定していたアデレード大会が1年延期されることとなり、それに伴い、福山市で開催を予定していた第20回大会も2025年(令和7年)に延期されることになりました。

ばらをテーマに多くの人が集まるこの大会を契機に、まちや人々にもたらされる効果を大会開催後もレガシー(未来への有形・無形の遺産)として残していくために取組の基本方針を策定しました。世界各国からお迎えする皆様に満足していただくとともに、市民の皆様にとっても郷土への愛着と誇りを感じられるような大会をめざしていきます。



● 福山の心「ローズマインド」とは (The community spirit through roses)

「ローズマインド」は、福山の戦後復興から半世紀以上の歩みの中で誕生した言葉です。ばらを愛し育てることを通して育む「思いやり、優しさ、助け合い」の心を示し、平和、ばら栽培に必要な愛情、人やまちへの優しさなど様々な思いが込められています。公式には、「福山ばら祭1999」のテーマ「エンゲージ ザ ローズマインド」がはじまりです。

2 開催趣旨・基本方針

世界へ届けよう 未来へ残そう 福山の心“ローズマインド”

■大会のめざすべき方向性

平和を願う市民の手による1,000本のばらの植栽から始まった、思いやり・優しさ・助け合いの心“ローズマインド”（The community spirit through roses）を全国へ、世界へ、そして次世代へと継承し、持続可能な社会の実現に向けた取組へとつなげていく。

市民と行政が手を取り合いはじまったばらのまちづくりは協働の原点となっています。以後、市民主体のまちづくりは広がりを見せ、今日SDGs*1の目標を達成するうえで欠かせない要素となっています。ばらのまちづくりから生まれた“ローズマインド”は持続可能な社会へと変革する中で、福山が世界に誇るコンセプトとなりえます。

そこで本大会の開催を契機として、「“ローズマインド”で達成する持続可能な社会の実現」を市民、大会参加者と共有していきます。市民のアイデンティティと言える“ローズマインド”を浸透させ、各分野へ展開することにより福山のブランド力の向上、存在感を示し、更なる進化と発展をめざしていきます。

「ローズマインド」の共有と浸透による 市民の誇りと愛着の醸成

福山のばらのまちづくりを進める中で生まれた“ローズマインド”を市民の「資産」として共有し、内外に発信していきます。福山のアイデンティティとも言えるローズマインドを福山への誇りや愛着の醸成につなげていきます。

- まちづくり歴史の共有と浸透
- 「ローズマインド」を実践する機会の創出
- 既存催事・イベントとの連携

新たなばらの価値創造による 福山のブランド力とプレゼンスの向上

ばらのまちとしての約70年にわたる歩みは、思いやり・優しさ・助け合いの心“ローズマインド”を育んできました。今大会を契機に、マインドの深化はもとより、ばらをテーマとした美容・健康・食・芸術など、各分野へ発展することにより、ばらの新たな価値を創造し、福山のブランド力とプレゼンスの向上を図ります。

- 内外の教育機関・研究機関との連携
- セミナー・シンポジウムの開催
- ばらをテーマにしたアートワーク、イノベティブワークの推奨
- 協働事業者の獲得・拡大
- 市民有志による地域活動への支援

第20回 世界バラ会議 福山大会2025

- みんなで創る
- みんなで盛り上げる
- みんなで輝く

大会を契機とした ばら観光の促進による地域活性化

ばらの見どころが点在する福山の特性を活かし、それぞれを有機的につなげることで、周遊型のばら観光プログラムを整備します。大会を契機に広く国内外に発信するプロモーションを推進し、観光誘客による地域活性化を図ります。

- 市内及び圏域内ツアーの造成・プロモーションの推進
- 着地型観光商品の開発・造成
- 地域ボランティアの育成
- 広域連携プログラムの策定

レガシーの創出による 大会成果の継承

世界バラ会議の開催都市という貴重な機会を通じて、市民一体となって、世界的なプロジェクトを、様々な立場の人々とともに創り上げます。その経験や交流、活躍をレガシーとして残し、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成し、世界に誇れる国際都市・福山をめざします。

- ばらをテーマにした国際交流の促進
- 多文化共生を尊重する国際感覚の醸成
- 国際社会で活躍できるグローバル人材の育成
- 新たな協働の形によるSDGs達成へのアクション

市民総参加による大会の開催を通じて持続可能な社会を実現

■開催のコンセプト

“ローズマインド”のもと、市民と行政が協働して取り組んだばらのまちづくりは、平和なまちの発展、人づくり、コミュニティの形成に貢献しました。「みんなで創る」「みんなで盛り上げる」「みんなで輝く」大会を開催し、多様な人々が協働し、ばらをはじめとした福山の新たな価値を共創します。

みんなで創る

“ローズマインド”を大切にしたい、みんなで創る大会

戦後、まちの復興への願いをばらに託し、約70年の歳月をかけて育んできた“ローズマインド”を軸に、市民みんなで手を取り合い、大会成功の夢を描き、実現していくために、企画の段階から多様な立場の人々が参画し意見をとり入れながら、共に創り上げる大会としていきます。

みんなで盛り上げる

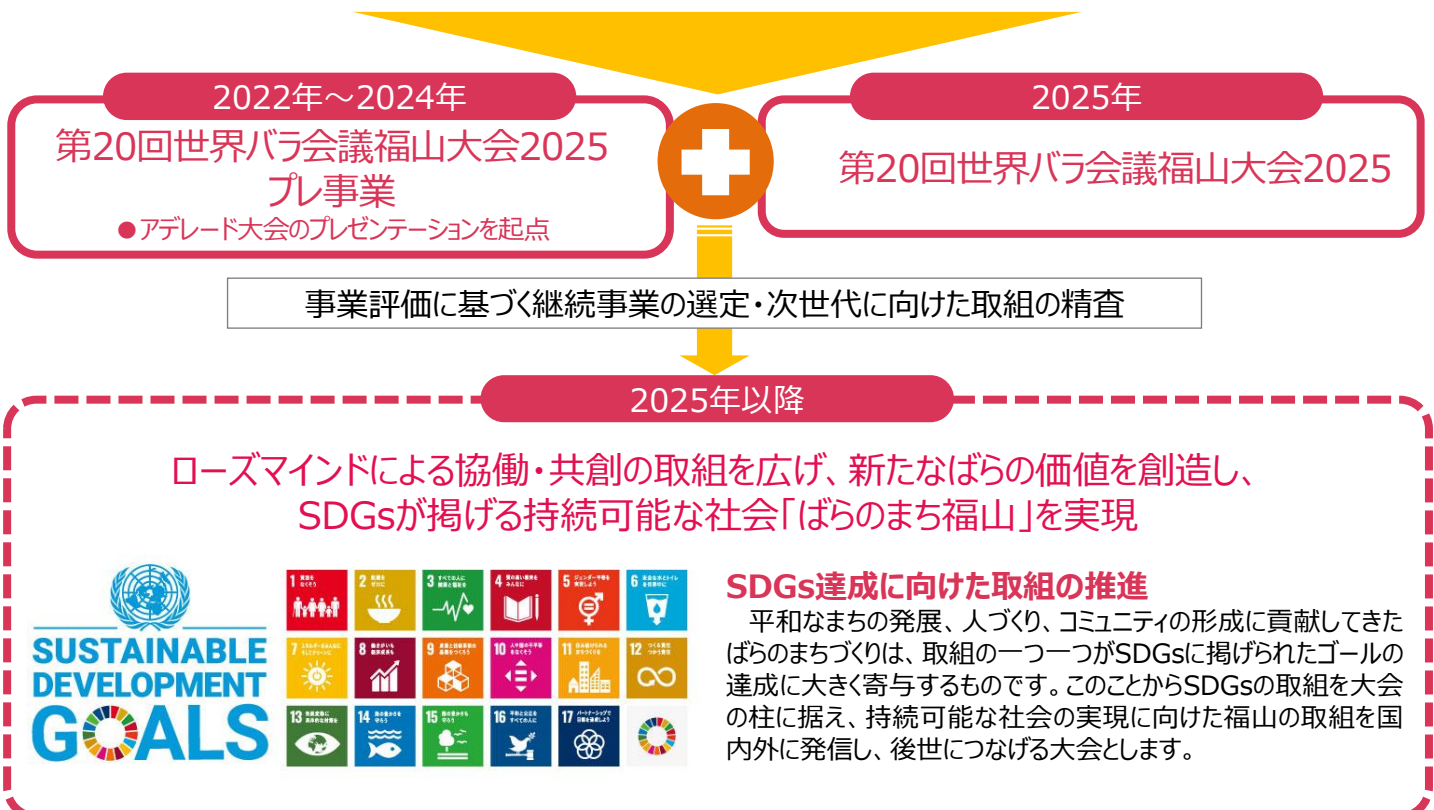
“オール福山”で、ばらのまち福山を盛り上げる

大会の開催に向けて市民の一体感が図れるよう周知に努めます。活躍の場を創出する中で、市内のばらが充実し、日々変わっていくまちの様子や市民みんなが協働して大会準備に取り組む姿、福山の様々な魅力などを広く伝え、市民の高揚感や期待感を醸成し、“オール福山”で開催を盛り上げます。

みんなで輝く

さらに発展し、輝き続けるばらのまち福山へ

大会の成功を通じて、ローズマインドによる共創の取組を広げるとともに、新たなばらの魅力創出を通じて、人、まち、産業が活気づく次なるステージへ踏み出す大会とします。



SDGs達成に向けた取組の推進

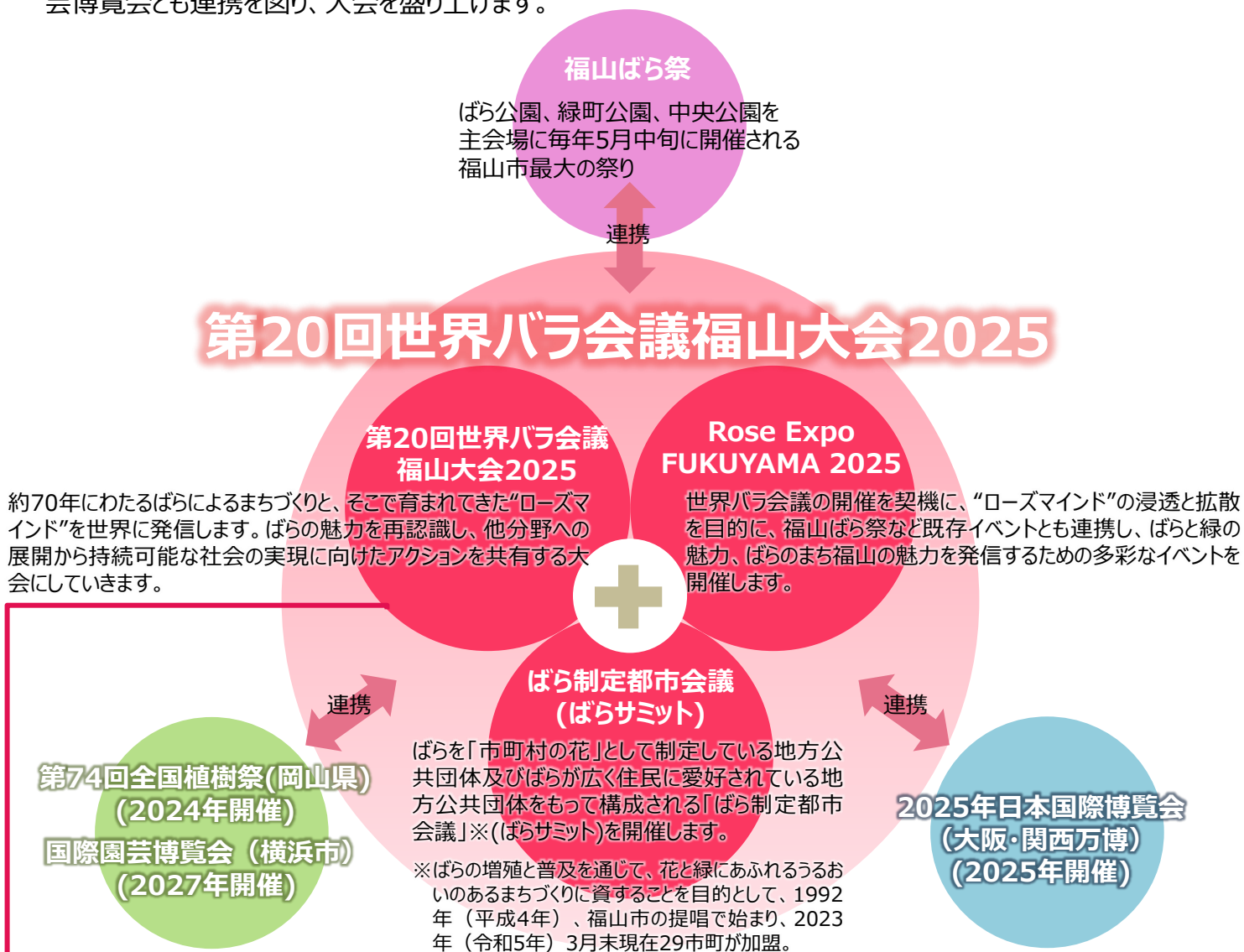
平和なまちの発展、人づくり、コミュニティの形成に貢献してきたばらのまちづくりは、取組の一つ一つがSDGsに掲げられたゴールの達成に大きく寄与するものです。このことからSDGsの取組を大会の柱に据え、持続可能な社会の実現に向けた福山の取組を国内外に発信し、後世につなげる大会とします。

*1 SDGs (エスディーゼーズ) … 持続可能な開発目標の意味で、Sustainable Development Goalsの略称。2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年(平成28年)から2030年(令和12年)までの国際目標のこと。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、日本としても積極的に取り組んでいる。

3 大会の事業構造

■全体の事業構造

第20回世界バラ会議福山大会2025は、国際会議である世界バラ会議と、Rose Expo FUKUYAMA 2025、ばら制定都市会議(ばらサミット)の、大きく3つの事業で構成します。福山ばら祭と密接に連携し、ばらを始めとする花々や緑の魅力、ばらのまち福山の魅力を発信するため、市民、企業、行政が一体となって開催する大会とします。開催に当たっては、2024年(令和6年)の第74回全国植樹祭や、2025年(令和7年)の2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)、さらに2027年(令和9年)の開催に向けて準備を進めている横浜国際園芸博覧会とも連携を図り、大会を盛り上げます。



■世界バラ会議の事業構造



4 大会名称

第20回世界バラ会議福山大会2025

5 テーマ

Roses for the Future
～福山からはじまる、新しい未来～

6 開催期間

本会議：2025年(令和7年)5月18日(日)～24日(土)

〔 プレツアー：5月12日(月)～17日(土)
ポストツアー：5月25日(日)～30日(金) 〕

2025年(令和7年)5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ばらのまち福山国際音楽祭

7 登録者数

登録者目標：700人(海外350人 国内350人)

8 参加登録費

(参考例) アレード大会での参加登録料金

※AUD 1=93円で算出

参加登録料(全日程)		
早期登録料	AUD 850	79,050円
通常登録料	AUD 1,050	97,650円
歓迎レセプション	AUD 85	7,905円
ガラディナー	AUD 150	13,950円

- 参加種別によるオプション料金を設定します。
- 参加登録費に含まれるものについては「VIII 参加登録計画」を参照。

参加登録料(1日のみ)		
10/28 のみ	AUD 200	18,600円
10/31 のみ	AUD 200	18,600円
11/1 のみ	AUD 200	18,600円
11/2 のみ	AUD 100	9,300円
11/1 のみ	AUD 200	18,600円

- 1日登録料には、夕食代・夕食以降のアクティビティ料金は含まれません。

9 プログラム概要

■本会議

①世界バラ会連合 各種委員会・会議

表彰委員会、大会開催委員会、ヘリテージローズ保存委員会、分類・登録委員会、出版委員会などの委員会や理事会、役員会を開催します。また、世界バラ会連合加盟国の代表者による評議会を行い、これらの会議により次期開催地、優秀庭園賞などを決定します。

- 会議数：12
- 開催日：5月17日、18日、19日、20日、23日、24日
- 会場：福山ニューキャッスルホテル

②講義

ばらの植物学、栽培、育種、歴史・文化などをテーマに各国の研究者や専門家を講師として招き、ばらの最新情報、研究成果の発表などの講義を行います。

- 講義数：15コマ程度
- 講師候補：国内外のばらに関する研究者・育種家・企業・教育機関から地域性などを考慮しながら選定します。
- 開催日：5月20日、21日、23日、24日
- 会場：福山ニューキャッスルホテル

③ウェルカムパーティー

開会式前日となる大会1日目夕方に、大会参加者に対し「ようこそばらのまち福山へ」の心を込めて、福山の歴史や文化を堪能できる会場(ユニークベニュー)によるウェルカムパーティーを開催します。

- 開催日：5月18日
- 会場：福山城公園
(荒天時：福山ニューキャッスルホテル)

④開会式・歓迎レセプション

本会議の幕開けを告げるイベントとして、参加を歓迎するレセプションを行い、印象に残る演出や趣向を凝らしたアトラクションで華を添え、本会議への期待感を高めます。開会式では殿堂入りのばらの発表を行います。

- 開催日：5月19日
- 会場：リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）

⑤閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー

世界各国の人々にお別れの交流を楽しんでいただくとともに、日本らしさ、福山らしさを感じていただけるような式典を含めた懇親会(フェアウェルパーティー)を開催します。また閉会式では大会記念ばらの発表や優秀庭園賞、優秀書籍賞の表彰、本大会及び世界バラ会連合の功労者を称える表彰とともに、次期開催地へ連合旗の引継ぎなどを行い、交流の継続と次期大会での再会を誓い合うパーティーとします。

- 開催日：5月24日
- 会場：福山ニューキャッスルホテル



⑥ 視察・ツアー

本会議開催期間中に、半日又は終日で広島県内を中心とした庭園や植物園などを視察し、ばらのまちづくりの取組の紹介、名所や文化施設を巡るツアーを開催します。

- 開催日：5月20日、21日、22日、23日、24日
- 候補施設：市内及び市外各所

⑦ ローズショー・展示会

ローズショーとして国内外最高峰オーケストラによるコンサートや、日本の伝統芸能を披露するオリエンタルなショーを開催します。また、会議・委員会会場や講義会場のロビー・ホワイエを活用してパートナー企業や協賛者のPRブースを展開します。

- 開催日：5月18日～25日
- 会場：リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）
福山ニューキャッスルホテル など

⑧ フレンズディナー

フレンズディナーは、会員の寄付により世界バラ会連合の活動を支援する「連合友の会（The Friends of the Federation）」のメンバー交流会で、大会ごとに楽しい交流会が開かれます。本大会では福山を代表する景勝地でのディナーを開催します。

- 開催日：5月22日
- 会場：瀬戸内の景勝地

⑨ 歓迎昼食会

開会式終了後の5月19日のランチを、大会参加者とともに楽しむ歓迎昼食会を行います。

- 開催日：5月19日
- 会場：ローズヒル（緑町公園ばら花壇）特設会場
（荒天時：JA福山市本所内特設会場）

⑩ 交流会

大会参加者同士の交流促進のための交流会を行います。5月21日は福山市が制定した「ばらの日」に当たるため、会場を市内中心部商店街に設定し、福山のまち全体で“ローズマインド”あふれるおもてなしを行います。

- 開催日：5月21日
- 会場：市内中心部商店街

⑪ オフショナル・同伴者プログラム

大会参加者の同伴者にも、大会を楽しんでいただけるよう、講義と並行して、観光名所への訪問や日本ならではの文化体験のほか、ショッピングや飲食を楽しんで頂けるプログラムを用意します。

⑫ プレツアー

本会議前の日程で、西日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

- 実施期間：5月12日～17日

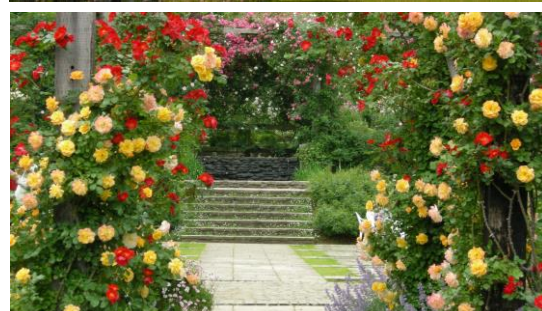
⑬ ポストツアー

本会議後の日程で、東日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

- 実施期間：5月25日～30日



写真提供：広島県



I 開催概要

10 大会スケジュール概要

行事	会場・施設	5月12日～ 16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日 ～30日
			土 大会 前日	日 1日目	月 2日目	火 3日目	水 4日目	木 5日目	金 6日目	土 7日目	
ブレッター	西日本中心ツアー										
受付デスク	福山ニューキャッスルホテル など										
インフォメーションセンター	福山ニューキャッスルホテル など										
ウェルカムパーティー	福山城公園 など										
開会式・歓迎セレモニー	リーデンローズ										
歓迎昼食会	緑町公園										
WFRS各種委員会・会議 (理事会・委員会)	福山ニューキャッスルホテル										
講義	福山ニューキャッスルホテル										
フレンズディナー	瀬戸内の景勝地										
交流会	市内中心部商店街										
視察・ツアー	検討										
Rose Expo FUKUYAMA2025	市内全域										
閉会式（各種表彰式）	福山ニューキャッスルホテル										
次回開催都市 プレゼンテーション	福山ニューキャッスルホテル										
フェアウェルパーティー	福山ニューキャッスルホテル										
ローズショー・展示会	市内各所										
ポストツアー	東日本中心ツアー										
福山ばら祭	ばら公園、緑町公園、中央公園 など										
ばらサミット	リーデンローズなど										
ばらのまち福山国際音楽祭	リーデンローズ										

世界バラ会議

関連行事

I 開催概要

11 大会スケジュールタイムライン

日程	WFRS会議		コンベンションプログラム		会議	講義	セレモニー	パーティー	視察・ツアー
	時間	内容	時間	内容					
5月17日(土)	16:00~17:00	広報委員会			○				
	18:00~20:00	連合功労者表彰委員会			○				
5月18日(日)	8:30~11:30	理事会1			○				
	14:00~16:00	出版委員会			○				
	16:00~18:00	分類・登録委員会			○				
			18:30~21:00	ウェルカムパーティー				○	
5月19日(月)			8:30~9:30	シャトルバス移動					
			9:30~11:30	開会式			○		
			12:00~13:30	歓迎昼食会				○	
	14:00~16:00	ハリテージ・ゼロ保存委員会	13:30~18:00	Rose Expo見学	○				○
	16:00~18:00	各賞(表彰)委員会			○				
	19:00~22:00	大会開催委員会			○				
5月20日(火)			8:30~9:15	講義 1 (45')		○			
			9:15~10:00	講義 2 (45')		○			
			10:00~10:30	ティーブレイク					
			10:30~11:15	講義 3 (45')		○			
			11:15~12:00	講義 4 (45')		○			
			12:00~17:30	視察・ツアー A / B					○
	18:00~20:00	国際審査委員会			○				
	20:00~22:00	国際ばらコンテスト委員会/ フリーダースクラブ			○				
5月21日(水) 【ばらの日】			8:30~9:15	講義 5 (45')		○			
			9:15~10:00	講義 6 (45')		○			
			10:00~10:30	ティーブレイク					
			10:30~11:15	講義 7 (45')		○			
			11:15~12:00	講義 8 (45')		○			
			12:00~17:30	視察・ツアー A / B					○
		18:00~20:00	交流会(商店街)				○		
5月22日(木)				終日視察・ツアー					○
			18:30~21:00	フレンズディナー				○	
5月23日(金)			8:30~9:15	講義 9 (45')		○			
			9:15~10:00	講義 10 (45')		○			
			10:00~10:30	ティーブレイク					
			10:30~11:15	講義 11 (45')		○			
			11:15~12:00	講義 12 (45')		○			
			12:00~12:20	次期大会PR(地域大会)					
	19:00~22:00	評議委員会	13:30~17:30	視察・ツアー	○			○	
5月24日(土)			8:00~8:45	講義 13 (45')		○			
			8:45~9:30	講義 14 (45')		○			
			9:30~10:00	ティーブレイク					
			10:00~10:45	講義 15 (45')		○			
			10:45~12:15	フリーダースパネル(90')		○			
			12:15~13:00	次期大会PR(世界大会/地域大会)					
		14:00~16:00	理事会2	14:00~17:30	視察・ツアー	○			○
			18:00~22:00	閉会式・フェアウェルパーティー			○	○	

II 会場計画

1	会場計画の基本方針	17
2	会場候補の選定	17
	■会場の選定条件と各会場の機能	17
	①インフォメーションセンター	17
	②世界バラ会連合 各種委員会・会議/ 閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	17
	③講義	17
	④開会式・歓迎レセプション	17
	⑤ウェルカムパーティー／フレンズディナー/ 歓迎昼食会／交流会	17
3	ユニークベニュー	17
	①ユニークベニュー候補の選定	17
	②福山らしさを体現する演出	17
4	会場配置	18
5	会場候補概要	18

1 会場計画の基本方針

大会関係者や大会参加者が各プログラムに参加しやすいよう参加者の属性に合わせた、立地条件や施設規模、整備状況などを踏まえた会場計画を行います。

- 1 各プログラムの実施内容に基づき、必要な広さや収容人数、機能、備品、設備の状況を考慮した会場設定を行います。
- 2 宿泊施設と会議場・講義会場を同一の会場とし、参加者が会議に集中できる環境を作ります。その施設を中心に機能的な会場設定を行います。
- 3 福山らしい歴史的建造物や文化施設などを会場として活用し（ユニークベニュー）、特別感や地域特性を活かした演出を行います。

2 会場候補の選定

■会場の選定条件と各会場の機能

大会参加者の玄関口として想定されるJR福山駅から徒歩圏内の施設を中心に、会場計画の基本方針の条件を充たす施設を選定します。また、ばら公園、緑町公園を中心に開催される福山ばら祭と連動するため、2つの公園を軸にした会場設定も行います。さらに、各プログラムの内容に応じて、福山市内の施設の中から、それぞれのプログラムの開催、運用にふさわしい施設を選定します。

- ① **インフォメーションセンター**
 - 福山ニューキャッスルホテル
- ② **世界バラ会連合 各種委員会・会議／閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー**
 - 福山ニューキャッスルホテル
- ③ **講義**
 - 福山ニューキャッスルホテル
- ④ **開会式・歓迎レセプション**
 - リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）
- ⑤ **ウェルカムパーティー／フレンズディナー／歓迎昼食会／交流会**
 - ユニークベニュー候補からの選定

3 ユニークベニュー

福山ならではの歴史的・文化的建造物を始め、瀬戸内の多島美や歴史情緒を体感できる鞆の浦などを中心に、食の提供、能、琴、書道、茶道などの日本の伝統文化を体験できる場所でのレセプションを開催します。

①ユニークベニュー候補の選定

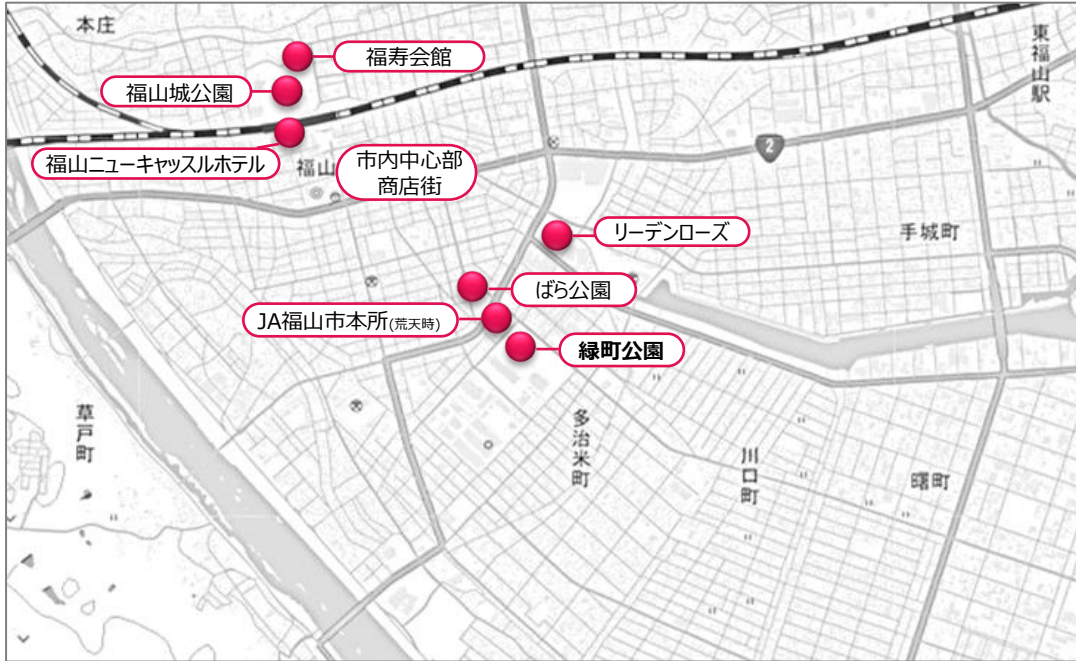
- ユニークベニュー候補
 - ウェルカムパーティー…福山城公園特設会場
 - フレンズディナー…風光明媚な瀬戸内の景観を感じていただける場所
 - 歓迎昼食会…ローズヒル（緑町公園ばら花壇）特設会場（荒天時：JA福山市本所内特設会場）
 - 交流会…市内中心部商店街・寺社などを検討

②福山らしさを体現する演出

選定されたユニークベニュー会場の存在感を際立たせるためのライトアップなどの外観演出をはじめ、景観を損なわない会場装飾やユニークベニューの場所にふさわしい喫食メニュー、ゆかりのある食材、おもてなしプログラムの提供など、様々な形で会場の雰囲気を活かした演出を行い、参加者の印象に深く刻まれるプログラムを展開します。

- ライトアップ演出…福山城公園等の既存ライトアップ設備と連動した演出
- 地域食材による喫食メニューの提供
- 会場の雰囲気に合わせた会場装飾・備品等の選定
- おもてなしプログラム…福山の歴史や伝統文化にゆかりの深いプログラムの選定

4 会場配置



5 会場候補概要

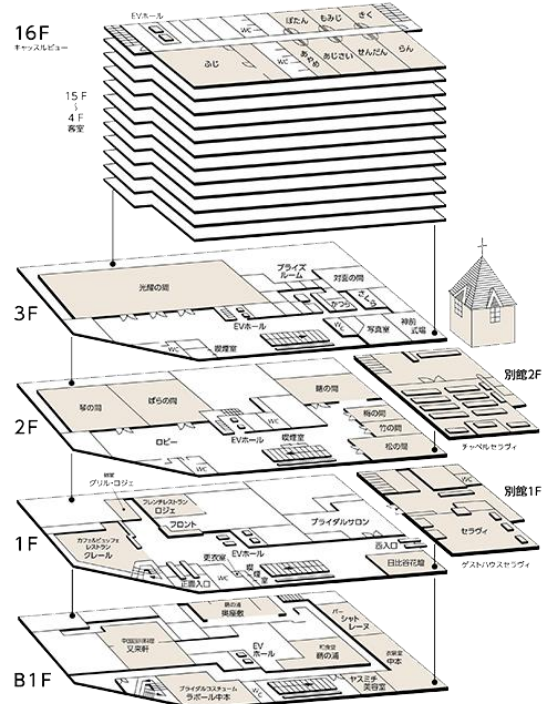
① インフォメーションセンター

■ 施設名称	福山ニューキャッスルホテル ロビー特設コーナー
■ 所在地	広島県福山市三之丸町8-16
■ 使用設備	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ブース ・Wi-Fi環境・PC ・PC等登録作業用設備
■ 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者登録 ・会場案内 ・大会スケジュール案内 ・その他大会に関する様々な案内業務



② 世界バラ会連合 各種委員会・会議・講義／閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー

■ 施設名称	福山ニューキャッスルホテル	
■ 所在地	広島県福山市三之丸町8-16	
■ 使用施設	施設名	収容人員
	2F 琴の間	180～350人
	2F ばらの間	120～300人
	2F 曙の間	130～280人
	2F 松の間	40～60人
	2F 竹の間	30～45人
	2F 梅の間	30～45人
	3F 光耀の間	650～1200人
16F ふじの間	30人	
■ 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・受付・案内設備 ・クローク機能 ・会議用備品設備 ・Wi-Fi環境 ・映像音響装置 ・マイク設備 ・ティーブレイク設備 	

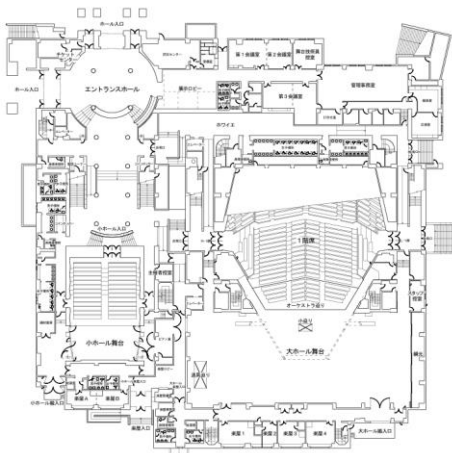


③開会式・歓迎レセプション

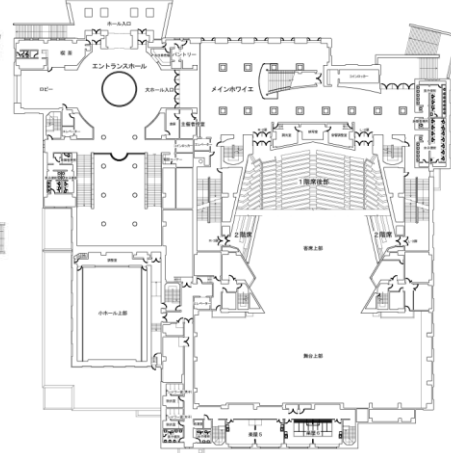
■ 施設名称	リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）
■ プログラム名称	開会式・歓迎レセプション ローズショー（予定）
■ 所在地	広島県福山市松浜町二丁目1-10
■ 使用施設	・大ホール1F・2F・3F：2,003席 ・ロビー ・ホワイエ ・メインホール付帯施設(楽屋・同通ブース等)
■ 使用設備	・照明・音響・映像等付帯設備



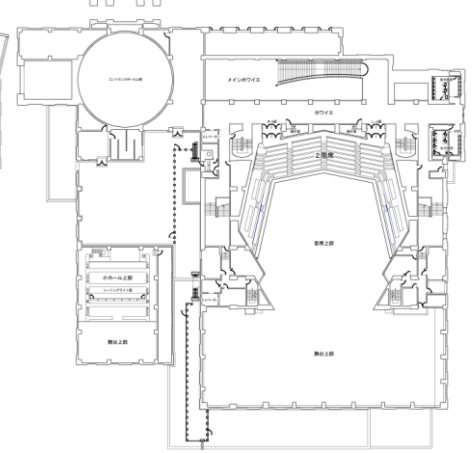
◇1F



◇2F



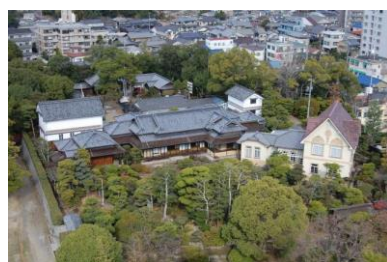
◇3F



④ウェルカムパーティー／フレンズディナー／歓迎昼食会／交流会

■ 施設名称	福山城公園
■ プログラム名称	ウェルカムパーティー・市内ナイトツアー
■ 所在地	広島県福山市丸之内一丁目・西町二丁目
■ 使用施設	特設会場を設定 例) ・本丸内特設会場（福山市立福山城博物館前） ・ふくやま美術館前庭特設会場 ・月見櫓前庭特設会場

■ 施設名称	福寿会館
■ プログラム名称	ウェルカムパーティー・市内ナイトツアー
■ 所在地	広島県福山市丸之内一丁目8-9
■ 使用施設	・和館 ・洋館 ・南茶室 ・中庭



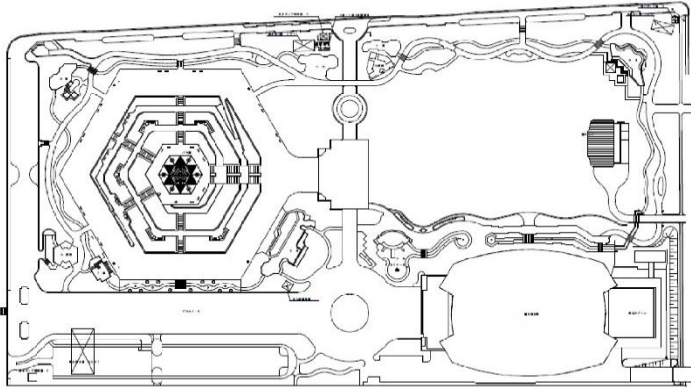
ユニークベニュー候補施設

④ ウェルカムパーティー／フレンズディナー／歓迎昼食会／交流会

■ 施設名称	ローズヒル（緑町公園ばら花壇）特設会場
■ プログラム名称	歓迎昼食会
■ 所在地	広島県福山市緑町9-5
■ 使用施設	ローズヒル（緑町公園ばら花壇）



ユニークベニュー候補施設



■ 施設名称	JA福山市本所
■ プログラム名称	歓迎昼食会（荒天時）
■ 所在地	広島県福山市花園町二丁目7-1

III 開催内容

1 本会議	23
①世界パラ会連合 各種委員会・会議	23
②講義	25
③ウェルカムパーティー	26
④開会式・歓迎レセプション	28
⑤閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー	30
⑥視察・ツアー	33
⑦ローズショー・展示会	34
⑧フレンズディナー	35
⑨歓迎昼食会	36
⑩交流会	38
⑪オプション・同業者プログラム	39
⑫プレツアー	39
⑬ポストツアー	40



1 本会議

①世界バラ会連合 各種委員会・会議

表彰委員会、大会開催委員会、ヘリテージローズ保存委員会、分類・登録委員会、出版委員会などの委員会や理事会、役員会を開催します。また、世界バラ会連合加盟国の代表者による評議会を行い、これらの会議により次期開催地、優秀庭園賞などを決定します。各種委員会・会議は十分な時間を確保するとともに、重複しないよう設定します。

会議場は、各種委員会・会議の規模や内容に合わせた広さや設備の完備、会議室間移動の簡便性、宿泊施設との近さ、会議参加者へのホスピタリティの提供など、諸条件を充たす施設として、福山ニューキャッスルホテルをメイン会場として活用します。

●各種委員会・会議一覧

日程	時間	会議	参加人員
5月17日(土)	16:00~17:00	広報委員会	20人
	18:00~20:00	連合功労者表彰委員会	6人
5月18日(日)	8:30~11:30	理事会1	20人
	14:00~16:00	出版委員会	40~60人
	16:00~18:00	分類・登録委員会	15人
5月19日(月)	14:00~16:00	ヘリテージローズ保存委員会	40~60人
	16:00~18:00	各賞(表彰)委員会	60~80人
	19:00~22:00	大会開催委員会	30~40人
5月20日(火)	18:00~20:00	国際審査委員会	20人
	20:00~22:00	国際ばらコンテスト委員会/ブリーダーズクラブ	20人
5月23日(金)	19:00~22:00	評議会	60~80人
5月24日(土)	14:00~16:00	理事会2	20人

●会場設営・装飾

会議に必要な設備を各会議室ごとに設置し、会議の円滑な運営に資する環境を整えます。また、会議室・ロビーに世界バラ会議における最もプライオリティの高い会議会場に相応しい装飾を行います。

- 会議環境設備(テーブル配置・大型モニター・ステージ計画・通訳等)…各会議毎に設定
- 大型サイン
- ばらを使ったモニュメント装飾

●会場運営

会議会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、登録役員の接遇にあたります。また、議事の円滑な運営を図るため、次の項目に関する運営計画を策定し、“ローズマインド”によるおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録役員受付
- 会場内設備・会議環境整備
- 会場内接遇(ティークレイク設備等)
- 記録(世界バラ会連合が担当)
- 人員配置

●司会者の選定

世界バラ会連合により検討・決定

III 開催内容

●会場概要：福山ニューキャッスルホテル

- 大中小23室の会議室
- 最大1,200人が利用可能なエリア最大規模の収容人数
- 会場内全てに無線・有線LAN対応
- 新幹線のぞみ停車駅であるJR福山駅から徒歩1分のアクセス等、メイン宿泊施設としての利便性



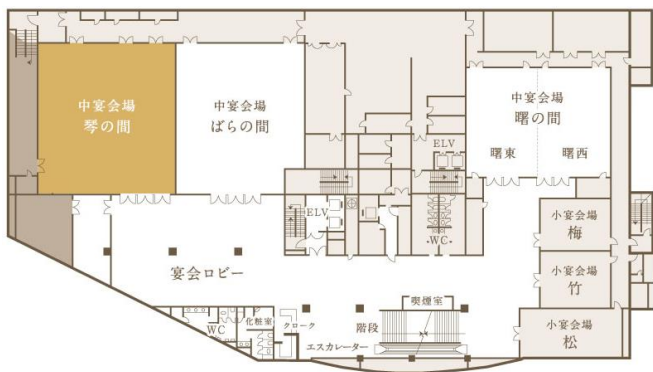
福山ニューキャッスルホテル
〒720-0066 広島県福山市三之丸町8-16

福山ニューキャッスルホテル概要	
客室数	218室
レストラン・バー	・カフェ&ビュッフェレストラン「クレール」(1階/80席) ・フレンチレストラン「ロジェ」(1階/48席) ・和食堂「鯛の浦」(地下1階/55席) ・バー「シャトレヌ」(地下1階/51席) ・中国四川料理「又来軒」(地下1階約30席)
宴会場	23室
館内設備	レストラン・バー、宴会場、会議室、結婚式場(神前式・チャペル式)、喫煙ルーム、フラワーショップ、自動販売機、セルフコインランドリー、パウダールーム、更衣室、美容室、エステサロン、コネクティングルーム、クリーニングサービス、ファックス送信可、ルームサービス、マッサージサービス、モーニングコール、宅配便、貸衣裳店、全館無線LAN
バリアフリー対応	車椅子可、貸出用車椅子、バリアフリー用トイレ、車いす専用駐車場

●福山ニューキャッスルホテル使用諸施設

◇2F

施設名称	収容人員	施設名称	収容人員
琴の間	180~350人	松の間	40~60人
ばらの間	120~300人	竹の間	30~45人
曙の間	130~280人	梅の間	30~45人



◇3F

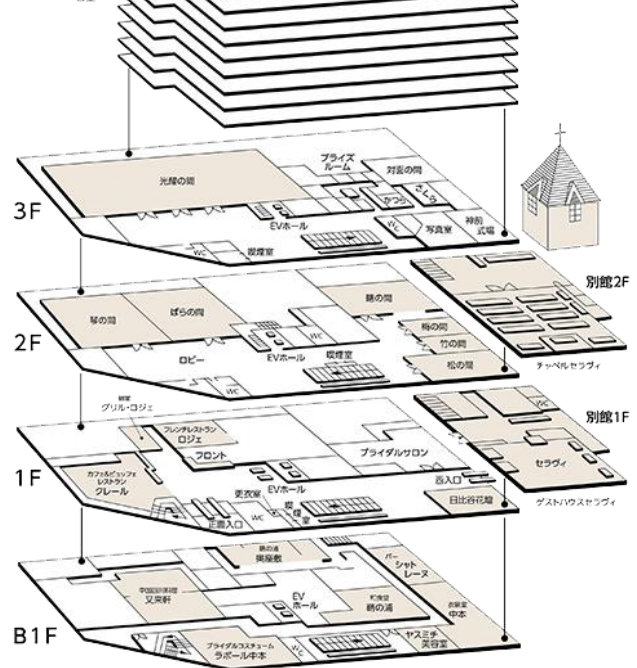
施設名称	収容人員
光耀の間	650~1200人



16F

キャッスルビュロー

15F
4F
客室



◇16F

施設名称	収容人員
ふじの間	30人



III 開催内容

② 講義

ばらの植物学、栽培、育種、歴史・文化などをテーマに各国の研究者や専門家を講師として招き、ばらの最新情報、研究成果の発表などの講義及び育種家(ブリーダーズクラブ)によるパネルディスカッションを行います。講義数は15講座を予定し、講師候補は国内外のばらに関する研究者・育種家・企業・教育機関から地域性を考慮しながら選定します。講義会場は委員会会場となる福山ニューキャッスルホテルで実施します。

● 講義テーマの設定

講義の開催日にあたる5月20日、21日、23日、24日の4日間それぞれの日ごとに講義テーマ①～④を設定し、テーマに基づいた講義内容で構成します。講義テーマの設定に関しては、本大会のテーマ、コンセプトに基づき、過去の大会及び専門家、有識者による意見等を参考にしながら次の方針に基づいた設定を行います。

- 大会のテーマ、コンセプトを表出する内容であること
- 第20回の節目に相応しい内容であること
- ばらのまち福山のプレゼンスを高める内容であること
- 開催年における国際的なトレンドや将来性を表出する内容であること

● 講義スケジュール

日程	時間	会議
5月20日(火)	講義テーマ①	
	8:30～ 9:15	講義1(45')
	9:15～10:00	講義2(45')
	10:00～10:30	ティーブレイク
	10:30～11:15	講義3(45')
5月21日(水) 【ばらの日】	講義テーマ②	
	8:30～ 9:15	講義5(45')
	9:15～10:00	講義6(45')
	10:00～10:30	ティーブレイク
	10:30～11:15	講義7(45')
5月23日(金)	講義テーマ③	
	8:30～ 9:15	講義9(45')
	9:15～10:00	講義10(45')
	10:00～10:30	ティーブレイク
	10:30～11:15	講義11(45')
	11:15～12:00	講義12(45')
5月24日(土)	講義テーマ④	
	8:00～ 8:45	講義13(45')
	8:45～ 9:30	講義14(45')
	9:30～10:00	ティーブレイク
	10:00～10:45	講義15(45')
	10:45～12:15	ブリーダーズパネル (90')
	12:15～13:00	次期開催都市PR (世界大会/地域大会) (45')

※講義は45分講義15講座、90分講義1講座の合計16講座で構成

III 開催内容

●講師の選定

講師の選定は有識者等からアドバイスをいただき、世界バラ会連合の情報も収集したうえで検討します。

●会場設営・装飾

講義会場に相応しい環境を整えます。また、会場内・ロビーにはおもてなしの心を体現するばらを使った様々な装飾を行います。

- 会議環境設備(テーブル配置・大型モニター・ステージ設備・通訳等)…会場設備の有効活用
- 大型サイン
- ばらを使ったモニュメント装飾

●会場運営

会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、大会参加者の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、“ローズマインド”によるおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- ステージ進行・運営
- 出演者対応
- 通訳
- 記録
- 人員配置

●ティーブレイクの設置

講義会場周辺にティーブレイクに対応するブースを設置します。茶菓の喫食スペースを確保する他、提供する茶菓に関しては大会参加者の文化や宗教に配慮したメニュー構成を行うとともに、わかりやすい表示によって大会参加者がストレスなくサービスを受けられる環境を整えます。また飲食の提供にあたっては、ポストコロナのガイドラインに沿って安全安心な提供環境を整備します。

- 飲食提供ブース及び喫食スペース整備
- 安全衛生対策
- 文化・宗教・アレルギー等に対応する提供食材の選定と表示

●司会者の選定

司会者の選定にあたっては、国際会議や大規模催事の開会式などの公式行事における経験や実績に基づき、英語が堪能であること、地元福山との所縁やばらに対する知識なども含めて、世界バラ会連合との協議に基づき、講師の選定と合わせて人選します。

【司会者選定のポイント】

- ネイティブスピーカーと同様の語学力
- 催事の意図の理解・協力
- ばらの世界に関する豊富な知見
- 会場の雰囲気盛り上げる魅力
- 公式行事の実績

③ウェルカムパーティー

大会1日目の夕方に、福山に到着した大会参加者を福山の歴史や文化を代表するランドマークを活用したユニークベニューによるウェルカムパーティーでもてなします。会場は福山城公園に特設会場を設定し、歴史的建造物やその背景を活かした日本情緒あふれる演出を行い、大会参加者に福山の魅力をアピールし、7日間にわたる大会への期待感を高めます。

●開催概要

■ 開催日時	5月18日(日) 18:30～21:00
■ 会場	候補地(案) ○本丸内特設会場(福山市立福山城博物館前) ○ふくやま美術館前庭特設会場 ○月見櫓前庭特設会場 ※荒天時：福山ニューキャッスルホテル
■ 参加人員	約700人
■ 参加方法	大会参加者
■ 形式	立食 喫食内容の精査(アレルギー、ベジタリアンなどの注文確認・対応方法の検討)
■ プログラム内容(案)	●主催者挨拶 ●世界バラ会連合会長挨拶 ●来賓挨拶 ●乾杯 ●歓談 ●各種歓迎パフォーマンス ・箏曲演奏 ・野点体験 ●終宴挨拶
■ 出演者	検討中

III 開催内容

●会場概要：福山城（現・福山城公園）

1619年（元和5年）に水野勝成が備後10万石の領主として大和郡山より入封し、築城した近世城郭で、「西国の鎮衛」にふさわしい威容を誇り、城郭史上価値ある城郭建造物です。1945年（昭和20年）の空襲で天守と御湯殿が焼失しましたが、1966年（昭和41年）市制施行50周年記念事業で月見櫓と共に再建されました。2022年（令和4年）の築城400年という節目の年に「令和の大普請」として、「全国唯一」の天守北側鉄板張りの外観復元を始めとした再建以来初となる大規模改修を実施しました。



●福山城公園の特徴

- 歴史的遺構を使ったユニークベニュー
- 屋外利用による開放感と借景による演出性の高さ
- メイン宿泊施設である福山ニューキャッスルホテルへの近さ
- 福山駅に隣接するアクセスのよさ

●会場設営

会場内に景観を損なわない配慮に基づいたステージ、休憩コーナー、喫食提供スペース、会場装飾を行います。

- 会場設備（テーブル、テント、椅子など）
- ケータリング
- ステージ
- 野点設備
- 会場装飾（モニュメント、ばらを使用した装飾など）
- 各種サイン
- 喫食提供エリア（調理屋台、バーカウンターなど）



●会場運営

会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、大会参加者の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、開催テーマに基づいたおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

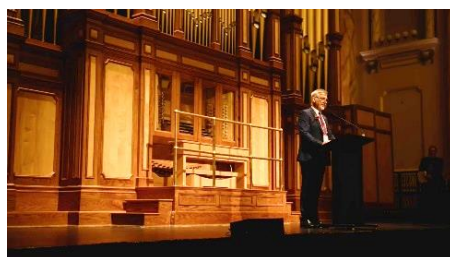
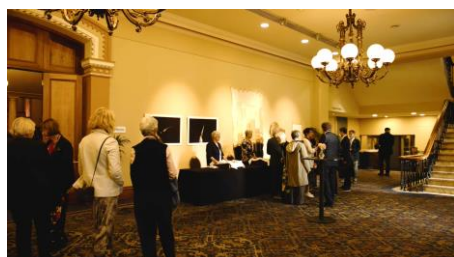
- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- ステージ進行・運営
- 出演者対応
- 通訳
- 記録
- 人員配置

●市内ナイトツアー（視察・ツアー）

ウェルカムパーティーの開催と併行して視察・ツアーの一環となるナイトツアーを検討します。ナイトツアーはウェルカムパーティーの会場であるライトアップされた福山城内の旧跡や、福山城に隣接した福寿会館の庭園を巡るツアーとして造成します。
（詳細はP33 ⑥視察・ツアーに記載）

●パフォーマンス・出演者候補案

地域伝統芸能や文化芸術活動を行う市民団体、個人などを中心に出演者候補をピックアップして協議し、ウェルカムパーティーの趣旨にふさわしいパフォーマンスが可能な出演者を選出します。



※第19回世界バラ会議アデレード大会2022の様子

④開会式・歓迎レセプション

本会議の幕開けを告げるイベントとして、大会への参加を歓迎するレセプションを行い、印象に残る演出や趣向を凝らしたアトラクションで華を添え、本会議への期待感を高めます。開会式は、国際会議としての規模や内容に相応しい会場としてリーデンローズ・大ホールで開催します。

●開催概要

■ 開催日時	5月19日(月) 9:30～11:30
■ 会場	リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）大ホール
■ 参加人員	約1,000人
■ 参加方法	参加登録 市民来場も可
■ 特別来賓(案)	日本ばら会名誉総裁
■ 来賓(案)	日本ばら会会長
■ 登壇者（案）	世界バラ会連合会長 日本ばら会理事長 国会議員 政府関係者、大使館関係者 広島県知事 世界バラ会議福山大会実行委員会委員長(福山市長) など
■ 出演者	検討中
■ 歓迎デモンストレーション	例) 地域伝統芸能・子どもたちの演奏などによるVIPのお出迎え
■ 歓迎レセプション内容	例) ・地域伝統芸能披露 ・ばらをテーマにした舞台芸術 など

●開会式・歓迎レセプション進行スケジュール案（構成例）

項目	時間	ラップ	内容	挨拶者・出演者
■ 開場	8:30～ 9:15	45分		
■ 歓迎デモンストレーション	9:15	1～2分	地域伝統芸能によるVIP出迎え	
■ 開催記念式典	9:30～ 10:00	30分	主催者挨拶①	VIP（日本ばら会会長）
			主催者挨拶②	VIP（世界バラ会連合会長）
			主催者挨拶③	福山市長
			主催者挨拶④	日本ばら会理事長
			お言葉	VIP（日本ばら会名誉総裁）
			御来賓挨拶①	
			御登壇者紹介 祝電披露	
■ 殿堂入りばらの顕彰	10:00～	30分	殿堂入りばらの発表 殿堂入りばらの絵画の披露	
■ 福山大会概要解説	10:30～10:50	20分	福山大会の概要解説 ・テーマ、コンセプト ・各会場の紹介 ・プログラムとツアー ・交通手段 ・宿泊施設 ・ツアーデスク・インフォメーションデスク ・ボランティア	
■ 登壇者退席 ■ 舞台転換	10:50～10:55	5分	司会者によるMC	
■ 歓迎レセプション	10:55～11:30	35分	地域伝統芸能披露	
■ 閉式・退場	11:30～11:45	15分		

III 開催内容

●開会式・歓迎レセプション演出

開会式は本大会の開催を宣言し、7日間にわたる大会のテーマと、大会が果たすべき役割を、大会参加者と共有するための大切なプログラムです。また、国内外のVIPの臨席を仰ぐ、格式の高い行事でもあります。さらに、大会の公式プログラムの中で、唯一登録者以外の参加を可能とする催事でもあります。ばらのまち福山のプレゼンスを高めるための演出を行い、全ての大会参加者、大会サポーター、そして福山市民の印象に残る開会式とします。

- 開催テーマに沿った演出プランの展開
- 国内外VIPの臨席行事にふさわしい品格と見識に基づいた節度ある演出・運営
- ストーリー性のある全体構成とテンポ感のある進行
- ポストコロナ時代のガイドラインに沿った安心・安全の会場設営
- 「おもてなしの心」を体現する運営計画

●会場概要：リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）大ホール

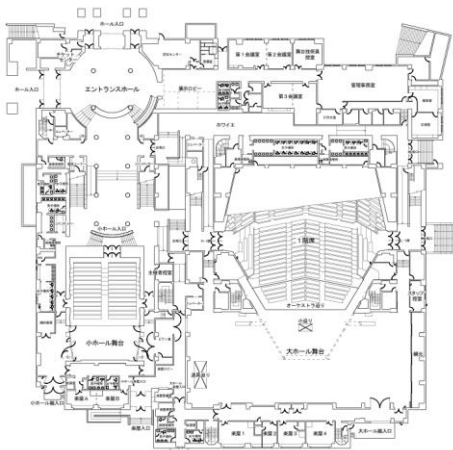
1994年(平成6年)11月に開館した同施設は、日本屈指の音響を誇る2,003席の大ホールと312席の小ホールを備えた福山市最大のホールでクラシック音楽の演奏会はもちろん、オペラ、バレエ、ミュージカルの上演にも最適の上演環境を備えています。公演以外にも企業の発表会やシンポジウムなどにも活用されており、ばら色の色調で統一された大ホールの客席など、世界バラ会議でもプライオリティの高い開会式を挙げるに最もふさわしい格式と環境を備えた施設です。

●リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）使用諸施設

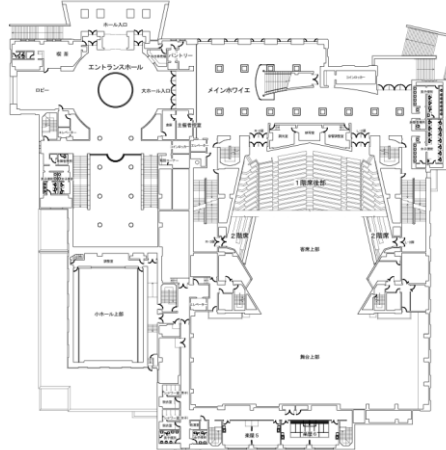
施設名称	収容人員
大ホール1F	1,293人
大ホール2F	404人
大ホール3F	306人



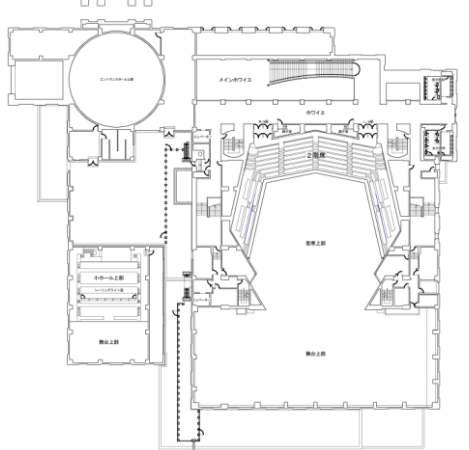
◇1F



◇2F



◇3F



●会場設営・装飾

開会式会場にふさわしい環境を整えます。また、会場内のロビーやホワイエに世界バラ会議における最も格式高い行事会場にふさわしい装飾を行います。

- 開会式会場設備(ステージ設営・ホワイエ・ロビー展示)
- ローズマインドを表出する各種パネル展示(ばらのまち福山の歩みなど)
- 大会スケジュールの掲出
- 大型サイン(屋外・屋内)
- ばらを使ったモニュメント装飾

●会場運営

会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、大会参加者の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、“ローズマインド”によるおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録者・同伴者受付
- 一般受付
- 会場内設備
- ステージ進行・運営
- 出演者対応
- 通訳
- 記録
- 人員配置

●VIP接遇

特別来賓やVIPのご臨席及びご来場にあたっては、移動、来場、動線、接遇、警備等の詳細な計画及び運用マニュアルを整備します。運用マニュアルの整備にあたっては関係諸機関と綿密な協議、連携を行い、徹底した情報管理を行います。

- 移動計画
- 施設内動線・諸室計画
- 舞台上登壇者配置計画
- 接遇計画
- お言葉
- 警備計画

●司会者の選定

司会者の選定にあたっては、国際会議や大規模催事の開会式などの公式行事における経験や実績に基づき、英語が堪能であること、地元福山との所縁やばらに対する知識なども含め、複数の候補から判断します。また、国内外のVIPをお迎えしての公式行事の進行を行う技量を併せ持つ人選を行います。

【司会者選定のポイント】

- ネイティブスピーカーと同様の語学力
- 公式行事の実績
- 催事の意図の理解・協力
- 会場の雰囲気盛り上げる魅力

●パフォーマンス・出演者候補案

地域伝統芸能や文化芸術活動を行う市民団体、個人などを中心に出演者候補をピックアップして協議し、歓迎デモンストレーション・歓迎レセプションの趣旨にふさわしいパフォーマンスが可能な出演者を選出します。

⑤閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー

世界各国の人々にお別れの交流を楽しんでいただくとともに、日本らしさ、福山らしさを感じていただけるような式典を含めた懇親会を開催します。閉会式・フェアウェルパーティーでは次期開催地へ連合旗の引継ぎなどを行い、交流の継続と次期大会での再会を誓い合います。会場は福山ニューキャッスルホテルで行います。

閉会式

●開催概要

■ 開催日時	5月24日(土)18:00～22:00
■ 会場	福山ニューキャッスルホテル
■ 参加人員	約500人
■ 参加方法	登録者
■ 来賓	未定
■ 出演者	検討中
■ 表彰式及び公式プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・連合貢献者・大会貢献者表彰 ・出版賞発表 ・優秀庭園賞発表 ・6年後の世界バラ会議開催都市の発表 ・連合旗引継式 ・大会記念ばらの発表

III 開催内容

フェアウェルパーティー

フェアウェルパーティーは、和気あいあいとした雰囲気演出するとともに、福山大会における最後の公式プログラムとして、参加者の印象に残る華やかなプログラムで構成します。


●開催概要

■ 参加者	閉会式参加者
■ 形式	着座 喫食内容の精査(アレルギー、ベジタリアンなどの注文確認・対応方法を検討)
■ プログラム内容	・演奏パフォーマンス ・書道パフォーマンス など
■ 出演者	検討中

各種表彰

大会記念ばらや殿堂入りのばらの発表、優秀庭園賞・優秀書籍賞の表彰、本大会及び世界バラ会連合の功労者を称える表彰式を開会式・閉会式の中で開催します。表彰には相応しいプレゼンターを起用し、各賞の贈呈を行います。また、各賞には副賞・記念品として福山ブランド認定された逸品の中から、それぞれの賞に相応しい物品を選定し、贈呈します。

各賞名称	内容
連合貢献者表彰	※世界バラ会連合により検討・決定 ※第19回世界バラ会議アデレード大会2022 ガラディナー表彰式より
大会貢献者表彰	
優秀書籍賞	
優秀庭園賞	



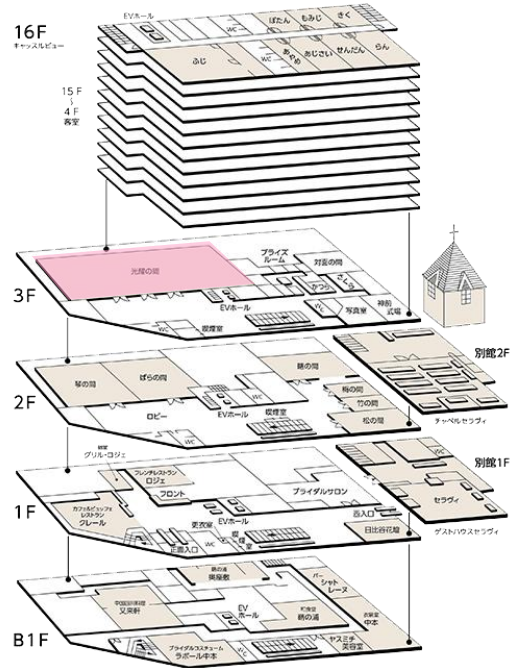
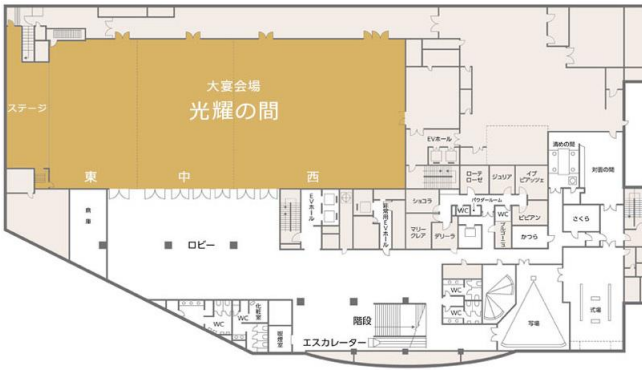
●閉会式・各種表彰・フェアウェルパーティー進行スケジュール案（構成例）

項目	時間	ラップ	内容	挨拶者・出演者
■ 開場	17:30~18:00	30分		
◇閉会式				
■ 閉会式	18:00~18:30	30分	開式挨拶 主催者挨拶① 主催者挨拶② 御来賓挨拶① 御来賓挨拶② 御登壇者紹介	司会者 世界バラ会連合会長 日本ばら会理事長
■ 各種表彰	18:30~19:00	30分	各賞表彰	
■ 登壇者退席	19:00~19:05	5分		
◇祝宴				
■ 乾杯	19:05~19:10	5分		
■ 食事・歓談	19:10~			
ミニアトラクション 1	20:00~20:15	15分		
ミニアトラクション 2	20:45~21:00	15分		
■ 連合旗引継式	21:10~21:30	20分	連合旗引継式・次期開催都市代表挨拶	
	21:30~21:40	10分	主催者挨拶・閉式宣言	
■ 閉式・退場	21:40~22:00	20分		

●会場概要：福山ニューキャッスルホテル

◇3F

施設名称	収容人員
光耀の間	650~1200人



●閉会式・フェアウェルパーティー演出

閉会式は7日間の大会を総括するとともに、各種の表彰を行い、6年後の開催都市を発表する重要なセレモニーです。大会に参加された世界各国の人々にお別れの交流を楽しんでいただき、福山での体験を共有していただく最後の機会となります。福山で大会の集大成として、おもてなしの心あふれる演出を行い、世界バレー会議の歴史に刻まれるような閉会式・フェアウェルパーティーとするため、次の点を基本方針として演出計画を行います。

- 地元福山の食・景観・文化などの観光資源を有効に活用した環境の提供
- 来場者の記憶に刻まれる印象深い演出
- 会場特性を有効に活用した食やアトラクションの提供
- ポストコロナ時代のガイドラインに沿った安心・安全な会場設営
- 「おもてなしの心」を体現する運営計画

●パフォーマンス・出演者候補

地域伝統芸能や文化芸術活動を行う市民団体、個人等を中心に出演者候補をピックアップして協議し、閉会式・フェアウェルパーティーの趣旨にふさわしいパフォーマンスが可能な出演者を選出します。

○展開例：ばらをテーマにした書道パフォーマンス

「ばらのまち」とともに「書のまち」でもある福山。その文化資源をアピールするとともに、アートとエンターテインメントが融合した見ごたえあるパフォーマンスを提供できる、大きな筆と紙を用いた豪快な書道パフォーマンスを行います。パフォーマーは市内在住もしくはゆかりがあり、本大会への趣旨にご賛同いただける書家に依頼。選定にあたっては公益財団法人ふくやま芸術文化財団、ふくやま書道美術館、書道教育団体等の知見や推薦に基づき、専門委員会で協議、検討を行い、「書のまち福山」を参加者にアピールするにふさわしい人選を行います。

●会場設営・装飾

閉会式会場にふさわしい環境を整えます。また、会場内のロビーやホワイエに世界バレー会議福山大会のフィナーレを飾る行事会場にふさわしい装飾を行います。

- 閉会式会場設備(ステージ設営・ホワイエ・ロビー展示)
- 大会の思い出深いシーンを撮影した映像や画像の掲出
- 大型サイン(屋外・屋内)
- ばらを使ったモニュメント装飾

III 開催内容

●会場運営

会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、大会参加者の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、開催テーマに基づいたおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- ステージ進行・運営
- 出演者対応 ○通訳
- 記録 ○人員配置

●司会者の選定

世界バラ会連合により検討・決定



※第19回世界バラ会議アデレード大会2022の様子

⑥視察・ツアー

本会議開催期間中に、半日または終日で広島県内を中心としたガーデンや植物園などを視察し、ばらのまちづくりの取組の紹介、名所や文化施設を巡るツアーを開催します。視察の候補地は、市外、市内のカテゴリーで構成し、それぞれにふさわしい候補地をピックアップして半日コース、1日コースそれぞれに適切に振り分けます。

- 候補地の選定 ※複数コースから選択。一部はオプションツアー（希望者のみ）となります。

半日モデルコース(例)	1日モデルコース(例)
◇市内花壇めぐりコース	◇市外ツアーコース
◇市内観光・文化体験コース	
◇市内ナイトツアーコース	
◇市外ツアーコース	

日程	時間	区分	
		市内	市外
5月20日(火)	12:00～17:30	○	
5月21日(水)	12:00～17:30	○	
5月22日(木)	終日		○
5月24日(土)	14:00～17:30	○	

●視察コース別候補地案

半日モデルコース案

【市内】花壇めぐりコース

ばら花壇コンクールで認定された「モデルばら花壇」をはじめとした地域ばら花壇やばら園をめぐり、市民との触れ合いを通して、ばらのまち福山の魅力と、「ローズマインド」によるおもてなしを体験いただけます。

訪問先候補 地域ばら花壇、学校ばら花壇、ばら公園、緑町公園 など



【市内】市内観光・文化体験コース

福山城や鞆の浦をはじめとする市内の名所・景勝地をめぐり、福山の歴史と文化、伝統に触れていただけます。

訪問先候補 ふくやま文化ゾーン、鞆の浦 など

【市内】市内ナイトツアーコース

ライトアップされた福山城内の旧跡や福山城に隣接した福寿会館の庭園を巡ります。

訪問先候補 福山城、福寿会館 など



※第19回世界バラ会議アデレード大会2022の様子

【市外】ばらめぐりコース

福山市近郊のばら園を中心にめぐり、日本のばら文化を体感・鑑賞いただけます。

訪問先候補 市外ばら園、市外観光地 など

1日モデルコース案

【市外】県内世界遺産コース

県内の代表的な観光地である厳島神社や平和記念公園などをめぐり、日本・広島歴史、平和の大切さを感じていただけます。

訪問先候補 厳島神社、平和記念公園 など

⑦ローズショー・展示会

ローズショーとして国内外最高峰オーケストラによるコンサートや、日本の伝統芸能を披露するオリエンタルなショーを開催します。また、会議・委員会会場や講義会場のロビー・ホワイエを活用してパートナー企業や協賛者のPRブースを展開します。

●開催概要

■ 開催日時	5月18日（日）～25日（土）
■ 会場	リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）、福山ニューキャッスルホテルなど

ローズショー候補案

●ばらをテーマにした演奏会

国内外最高峰のオーケストラの演奏を堪能する貴重な機会を提供します。

○ばらをテーマとした楽曲及び、福山にゆかりのある楽曲で構成した演奏会の実施

展示会

パートナー企業や協賛者のPRブースを、会議・委員会・講義会場のロビーやホワイエの他、各会場を線で繋いで面的に展開します。「Xスポンサー・パートナー計画」と連動して、協賛区分に応じた、規模、場所、内容を設定します。

○展示会場候補：福山ニューキャッスルホテル・ロビー、光耀の間ホワイエ
ふくやま芸術文化ホール・ロビー・ホワイエ など

○展示会場

- ・ 基礎小間：形状、サイズ、材質、設備及び提供する小間数を、協賛区分に応じて設定します。
- ・ 主催者展示：各会場毎に、主催者展示エリアの検討を行い、それぞれの会場の特性に応じた展示テーマと展示内容の検討を行います。



※第19回世界パラ会議アデレード大会2022の様子



※ばらのまち福山国際音楽祭2022の様子

⑧フレンズディナー

フレンズディナーは、会員の寄付により世界バラ会連合の活動を支援する「連合友の会（The Friends of the Federation）」のメンバー交流会で、大会ごとに楽しい交流会が開かれます。本大会では福山を代表する景勝地でのディナーを開催します。

関心がおありの方は世界バラ会連合のサイト（<https://www.worldrose.org/>）で事前に手続きの上、参加申込をお願いします。

●開催概要

■ 開催日時	5月22日(木) 18:30～21:00
■ 会場	瀬戸内の景勝地
■ 参加人員	約100人
■ 参加方法	連合友の会のメンバー（事前登録制）
■ 形式	着座 喫食内容の精査(アレルギー、ベジタリアンなどの注文確認・対応方法の検討)
■ プログラム内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主催者挨拶 ●世界バラ会連合代表理事挨拶 ●来賓挨拶 ●乾杯 ●歓談 ●終宴挨拶

●会場概要

ユニークベニューの考え方にに基づき、風光明媚な瀬戸内の景観を感じていただける場所を中心に、候補地を選定します。

- 風光明媚な瀬戸内の景観を背景とした施設
- 福山の歴史や伝統、文化を物語る建造物や景観を有するロケーション
- 瀬戸内の海の幸など、福山の食の魅力が提供可能な施設

●会場設営・装飾

フレンズディナーに相応しい会場環境を整えます。また、会場内・ロビーにはおもてなしの心を体現するばらを使った様々な会場装飾を行い、パーティー会場を華やかに彩ります。

- 会議環境設備(テーブル配置・通訳等)
- ばらを使ったモニュメント装飾

●会場運営

会場にインフォメーションデスク、クロークを設置し、登録役員の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、開催テーマに基づいたおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- 会場内接遇(アレルギー、ベジタリアンなどへの配慮)
- 会場進行
- 人員配置

⑨ 歓迎昼食会

開会式終了後の5月19日のランチは、大会参加者とともに楽しむ歓迎昼食会として行います。歓迎昼食会への参加者は開会式会場であるふくやま芸術文化ホールから送迎バスに乗って緑町公園に移動し、緑町公園のローズヒルに設置した特設会場で参加者同士の親睦と交流を兼ねたランチをお楽しみいただきます。荒天時の対策としてばら公園、緑町公園を眼下に望めるJA福山市本所の利用も検討します。

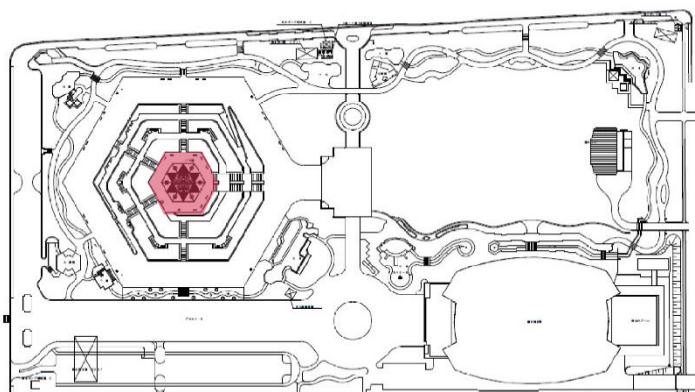
●開催概要

■ 開催日時	5月19日(月) 12:00~13:30
■ 会場	ローズヒル(緑町公園ばら花壇) 特設会場 ※荒天時はJA福山市本所の利用も検討
■ 参加人員	約500人
■ 参加方法	事前登録制

●会場概要：緑町公園

所在地：広島県福山市緑町9-5

六角錐状のピラミッド型のばら花壇には、330種類・約5,100本のばらが植えられており、毎年5月・10月には、ばらが咲き誇ります。市民など誰でも、一本一本のばらオーナーになることができ、5月のばら祭の際は、ばら公園と共に主要会場となっています。



▲ばら祭開催時の緑町公園

●会場設営・装飾

屋外の歓迎昼食会場にふさわしい開放的でカジュアルな雰囲気の間作りを行います。野点による抹茶のふるまいなど自由に参加して喫食できる環境を整えます。

- 会場設備
- ケータリング
- 各種サイン
- 喫食提供エリア(配膳用テーブルなど)

●会場運営

参加者全員の確認を過不足なく行うため、リーデンローズにおける会場行きバスの乗車時に参加の可否と登録を確認し、参加する登録者のみバスに乗車していただけます。また会場内には10:00~15:00まで(設営・撤去含む)一部貸切りである旨を会場内の要所にサインなどで提示し、併せてボランティアスタッフを動員して一般の立ち入りを制限します。

- 移動計画 ※シャトルバスは参加者の人数によって台数を調整します。
- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- 会場内接遇(アレルギー、ベジタリアンなどへの配慮)
- 通訳
- 記録
- 人員配置

●喫食形式、提供方法の検討

- 喫食形式の設定(立食・テーブル等)
- 喫食内容の精査(アレルギー、ベジタリアンなどの注文確認・対応方法の検討)

III 開催内容

● 荒天時対策

荒天時はあらかじめ定められた荒天時運営マニュアルに沿って開催の可否、会場の変更等を決定し、混乱が起らないように事前の通達、告知を徹底します。荒天時の代替会場として、ばら祭において緑町公園に設置されているテント設備の流用や、ばら公園、緑町公園を一望できるJA福山市本所を候補として検討します。



◀ 福山ばら祭における緑町公園のテント設備

● 荒天時会場概要：JA福山市本所

所在地：広島県福山市花園町2-7-1

JA福山市本所は、北西側のばら公園、南東側の緑町公園と隣接し、2つの公園に挟まれる位置にあります。8階には建物を取り巻くベランダが設置されており、ばらが満開の両公園を一望できるフォトジェニックなスポットでもあります。



※第19回世界バラ会議アデレード大会2022の様子

⑩ 交流会

大会の中日にあたる5月21日に、大会参加者同士の交流促進のための交流会を行います。5月21日は福山市が制定した「ばらの日」に当たるため、会場を市内中心部商店街に設定し、福山のまち全体で大会参加者をもてなします。日本情緒ただよ夜店の雰囲気の中、商店街の協力のもと“ローズマインド”を演出する各種おもてなしメニューやパフォーマンス、展示装飾で大会参加者を歓迎し、商店街の賑わいにつなげます。

● 開催概要

■ 開催日時	5月21日(水) 18:00~20:00
■ 会場	市内中心部商店街
■ 参加人員	約500人
■ 参加方法	希望者(別料金)
■ プログラム内容	○商店街とのコラボによるおもてなしメニューを展開(装飾・祭りの演出・屋台出店・サービス等) ○メインのディナー会場を設定し、地域グルメ(福つまみなど)を提供 ○歓迎パフォーマンスの検討

● 会場概要：市内中心部商店街

アーケードの撤去によって生まれた開放的な空間に、商店街ならではの風景が新たに再創造され、その取組がグッドデザイン金賞を受賞しました。改修では天蓋部分を撤去し、既存の柱を活かしながら自然あふれる樹木の下で“歩く喜び”を感じられる公園的な開放的空間で、そぞろ歩きを楽しんでいただけます。



● 交流会名称の設定

公式行事に相応しいディナー・交流会の公式名称を設定します。



※画像は全てイメージです。

● 会場設営・装飾

会場内にはおもてなしの心を体現するばらを使った様々な装飾を行い、パーティー会場を華やかに彩ります。

- 会議環境設備(テーブル配置・大型モニター・ステージ設備・通訳等)
- 大型サイン
- ばらを使ったモニュメント装飾

● 会場運営

会場にインフォメーションデスクを設置し、大会参加者の接遇にあたります。また、次の項目に関する運営計画を策定し、“ローズマインド”によるおもてなしの心を体現する会場運営を行います。

- 登録者・同伴者受付
- 会場内設備
- 会場内接遇(アレルギー、ベジタリアンなどへの配慮)
- 会場進行
- ステージ進行・運営
- 出演者対応
- 通訳
- 記録
- 人員配置

⑪ オプショナル・同伴者プログラム

大会参加者に同伴して大会に来られる方にも大会を楽しんでいただけるよう、講義と並行して、観光名所への訪問や日本ならではの文化体験ができるプログラム、ショッピングや飲食の紹介などを行います。

● 同伴者プログラムの種類

福山・備後地方の伝統工芸・伝統芸能・暮らしの文化・ものづくり企業・自然景観・歴史的遺構などの体験プログラム等で構成します。
例) 藎草マット作り、藍染め体験 VR体験など

⑫ プレツアー

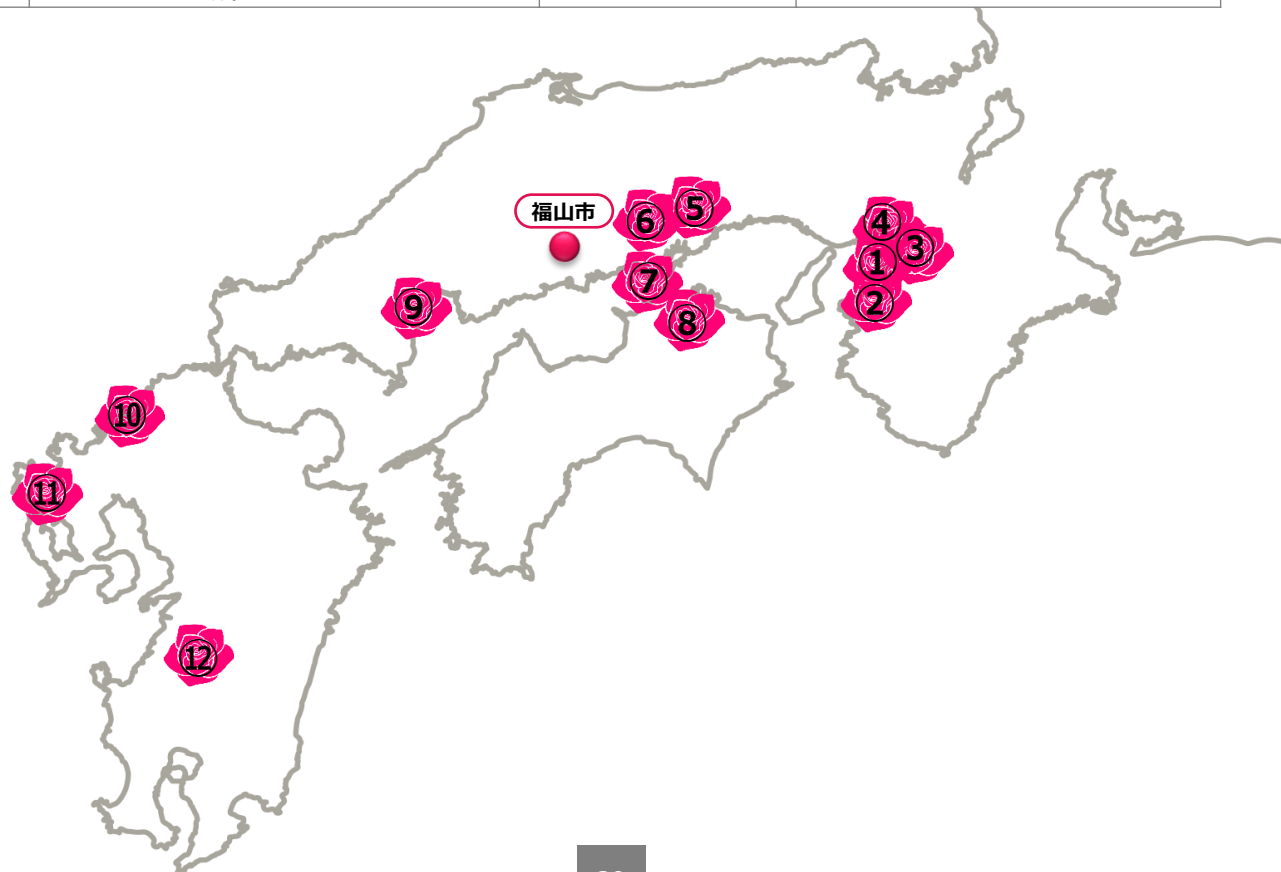
本会議前の日程で、西日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

● 実施概要

■ 実施期間	5月12日(月)～5月17日(土)
■ 参加方法	事前登録によるツアー申込み

● 訪問候補地 ※今後決定

No	施設名称	所在地	備考
1	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）	大阪府大阪市	
2	デービッド・オースチンのイングリッシュローズガーデン	大阪府泉南市	
3	浜寺公園ばら庭園	大阪府堺市	
4	靱（うつぼ）公園	大阪府大阪市	優秀庭園賞受賞・2006年
5	後楽園（日本庭園）	岡山県岡山市	
6	RSKバラ園	岡山県岡山市	
7	瀬戸内国際芸術祭	瀬戸内海各所	
8	栗林公園（日本庭園）	香川県高松市	
9	宮島（ヤマイバラの視察）	広島県廿日市市	
10	国営海の中道海浜公園	福岡県福岡市	
11	ハウステンボス	長崎県佐世保市	
12	球磨川流域ツクシイバラ生息地	熊本県錦町	
13	福山市内地域ばら花壇	広島県福山市	
14	ばら制定都市会議加盟都市		



⑬ポストツアー

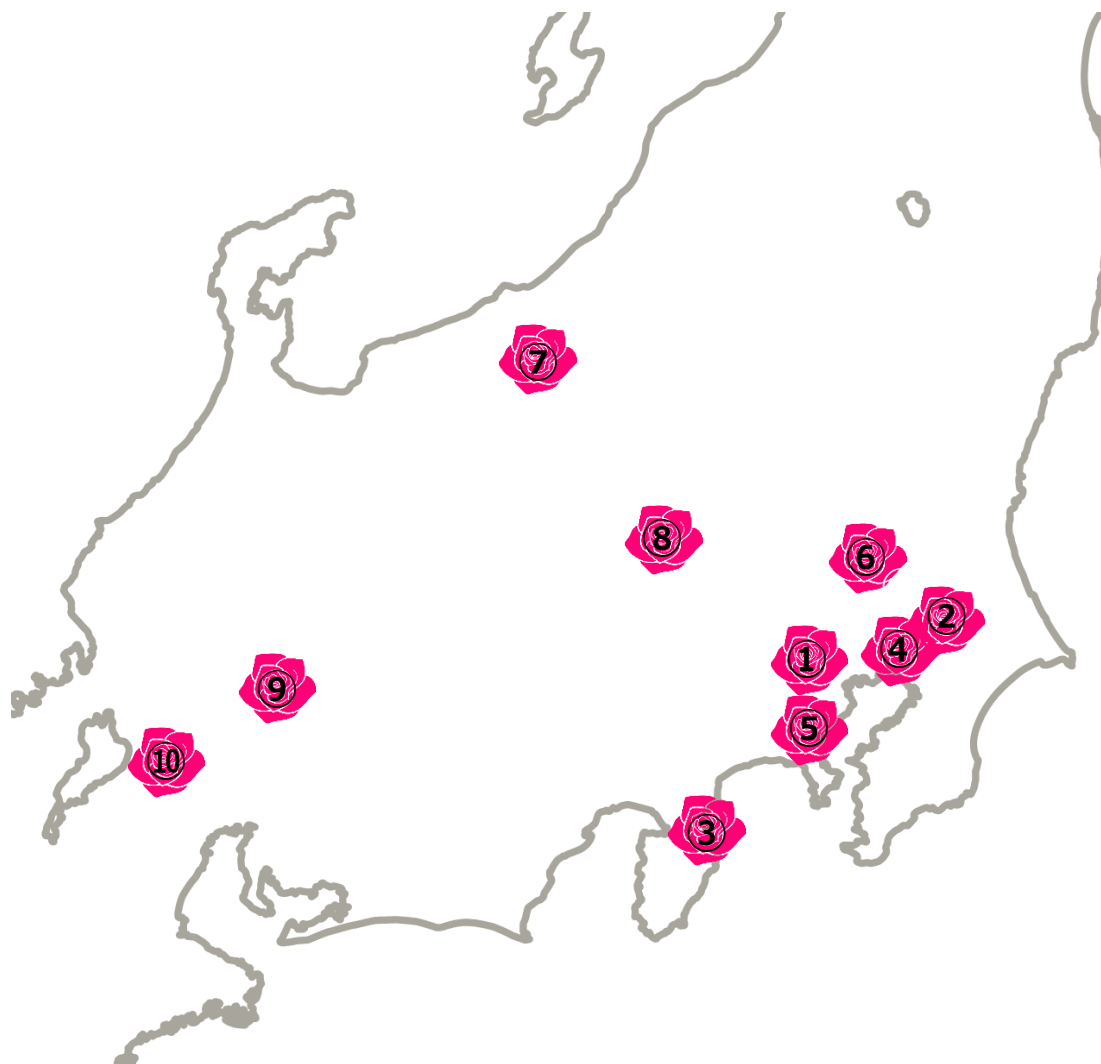
本会議後の日程で、東日本を中心に主要ばら園などを巡るツアーを実施します。

●実施概要

■ 実施期間	5月25日(日)～5月30日(金)
■ 参加方法	事前登録によるツアー申込み

●訪問候補地 ※今後決定

No	施設名称	所在地	備考
1	神代植物公園	東京都調布市	優秀庭園賞受賞・2009年
2	佐倉草ぶえの丘バラ園	千葉県佐倉市	優秀庭園賞受賞・2015年
3	ACAO FOREST	静岡県熱海市	優秀庭園賞受賞・2015年
4	京成バラ園	千葉県八千代市	優秀庭園賞受賞・2015年
5	横浜イングリッシュガーデン	神奈川県横浜市	優秀庭園賞受賞・2018年
6	いばらきフラワーパーク	茨城県石岡市	
7	越後丘陵公園	新潟県長岡市	
8	中之条ガーデンズ	群馬県吾妻郡	
9	ぎふワールド・ローズガーデン	岐阜県可児市	優秀庭園賞受賞・2003年
10	ローザンベリー多和田	滋賀県米原市	
11	ばら制定都市会議加盟都市		



IV ローズマインド推進計画

- 1 ローズマインドを育んだ「ばらのまち福山」…………… 43
- 2 ローズマインド推進計画の基本方針…………… 44
- 3 ローズマインドの推進…………… 45
 - ①ローズマインド浸透のための取組…………… 45
 - ②おもてなしの取組…………… 45
- 4 インバウンドの推進…………… 46
 - ①インバウンドへの取組内容…………… 46
 - ②大会期間中の滞在支援…………… 47



1 ローズマインドを育んだ「ばらのまち福山」

戦後、市民が植えた1,000本のばらが現在では100万本となり、ばらづくりを通じた地域コミュニティが育まれています。約70年にわたる歩みの中で市民の皆様がお世話する「ばらの花壇」が街中に400か所以上あり、人々の心を癒し、暮らしに彩りを与えています。これは世界に類を見ない「ばらのまち福山」の魅力であり「ローズマインド」の源泉です。

ばらのまちづくり部門

ガーデン富谷 友の会【芦田町】



緑丘学区まちづくり推進委員会【引野町】



金江学区まちづくり推進委員会
「ばらチーム」(金江小学校)【金江町】



ばらの花部門

能宗呉服店【新市町】



サルボ両備株式会社【津之郷町】



おおもとウィメンズクリニック【水呑町】



福山明るいまちづくり協議会「第54回 ばら花壇コンクール」
2022年度（令和4年度）認定モデルばら花壇

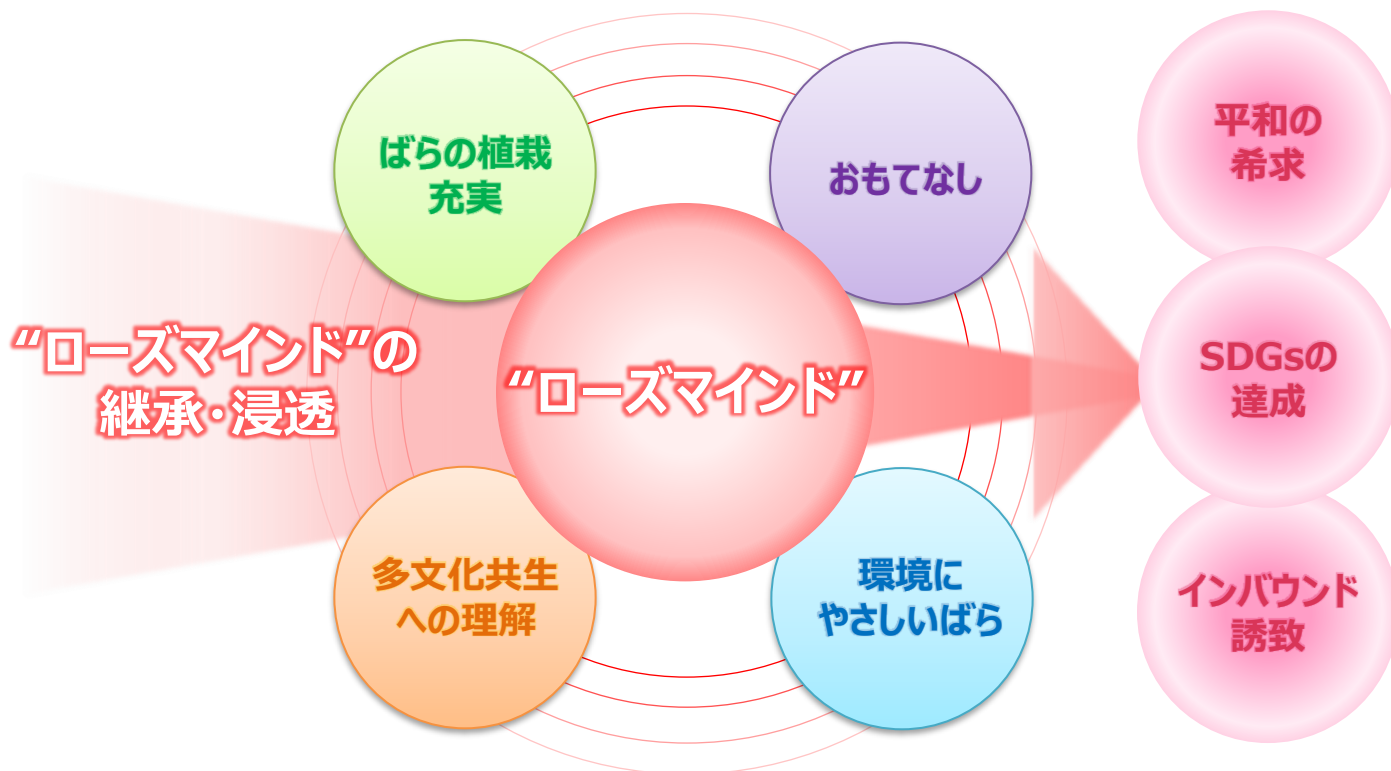
※ 地域や企業・学校の皆さまが育てている花壇の中から認定された特に優秀な団体のばら花壇

2 ローズマインド推進計画の基本方針

“ローズマインド”に込められた「思いやり」「優しさ」「助け合い」の心を具現化し、大会の開催を通じて市民への浸透を図るとともに、大会参加者と共有して世界に発信します。

平和な社会の実現と戦後の復興をばらに託し、ばらを愛情をもって育てることにより育まれた人やまちに対する思いやりや優しさは“ローズマインド”として、受け継がれてきました。大会を通じて市民への更なる浸透を図り、心を含めたおもてなしでお迎えし、大会参加者に満足していただける大会をめざします。また、大会を通じて、世界の人たちと平和の尊さを分かち合い、福山の心である“ローズマインド”を大会参加者と共有し、世界に発信するとともに、大会後も福山の文化としてより一層根付かせていきます。

- 1 大会に向けて、多くの市民と力を合わせ、市内のばらの充実を図り、“ローズマインド”や平和へのメッセージを大会参加者と共有できるよう取り組みます。
- 2 日本文化や福山らしさを体験していただくだけでなく、市民とのふれあいを通して、“ローズマインド”を体感できるおもてなしを行います。
- 3 大会を通じて、文化・習慣の違いなどへの理解を深め、インバウンドの拡大につなげます。
- 4 公共空間における農薬散布を前提としないばらの植栽など、環境に配慮したまちづくりを推進し、SDGsの達成に貢献する「ばらのまち福山」の方向性を提示します。



3 ローズマインドの推進

① “ローズマインド”浸透のための取組

● 市民への浸透に向けた施策へ

- 小中学校、義務教育学校のふるさと学習等での世界バラ会議の学習と子どもたちが提案する取組の検討
- 地域ばら花壇・ガーデニングの更なる充実
- 講習会やイベント等あらゆる機会を利用した“ローズマインド”の周知・啓発

● 海外に向けた施策

- 2022年(令和4年)世界バラ会議アデレード大会におけるプロモーション
- 2023年(令和5年)世界バラ会連合ヘリテージローズ会議ブリュッセル大会におけるプロモーション
- 2024年(令和6年)世界バラ会連合地域大会スウェーデン大会におけるプロモーション
- 訪日外国人向け案内サイトへの「ばらのまち福山」の登録 例) Lonely Planet Japan、GetHiroshima
- 平和へのメッセージを発するヒロシマと連携した平和のアピール
(G7、広島平和記念資料館、ホロコースト記念館、原田東岷医師のストーリー、広島バラ園などで平和をアピールするため誕生したばらの紹介など)
- 英語表記する場合は「The community spirit through roses」とする

● 国内に向けた施策

- 広報計画と連動した世界バラ会議福山大会2025の開催告知プロモーション
- 日本ばら会を通じたプロモーション
- ばら制定都市会議(ばらサミット)でのプロモーション

● 大会参加者に“ローズマインド”を実感していただくための施策

- 各種広報物でのプロモーション
- 外国人おもてなしハンドブック作成やセミナーにおける事例紹介の検討

② おもてなしの取組

会議や講義会場、宿泊施設、各レセプションなど、大会における様々なプログラムや会場において、福山らしいおもてなしを検討します。

● ふれあいを通じたおもてなし（例）

- 市内中心部商店街での交流・体験
- 開会式で折りばらによるばらのコサージュを提供
- 子どもたちとの交流
- 歌や踊りの披露

● 美しいまちでのおもてなし（例）

- 会場への導線に市民参画によるばらのスポットや鉢植を設置
- 駅前やまちなかにフォトスポットの設置

● 食のおもてなし（例）

- 郷土料理うずみなど福山や瀬戸内の特産物を使った料理の提供
- ティーブレイク（講義の休憩時間）などでの食用ばらを使ったスイーツの提供
- ばら酵母を使ったパン、ビール、ワイン、日本酒、お酒に合う福つまみなどの提供

● 福山の文化を生かしたおもてなし（例）

- レセプションで箏曲演奏
- パーティーで二上り踊りを実施
- 和服によるおもてなし
- レセプション等での能やお茶（野点）^{のだて}

注 原田東岷(1912～1999): 外科医、平和運動家、広島市名誉市民。被爆者治療に努めた。「平和がなければバラは美しく咲かず、美しいバラを嘆美する心がなければ平和がない」という言葉を遺し、「ヒロシマ」の名を冠した新種のばらを、平和のばらとして世界各地に贈る活動を続けた。

4 インバウンドの推進

インバウンド誘致の取組にあたっては、国際化への対応のみならず、「すべての人に優しい」受入環境の整備に取り組みます。

① インバウンドへの取組内容

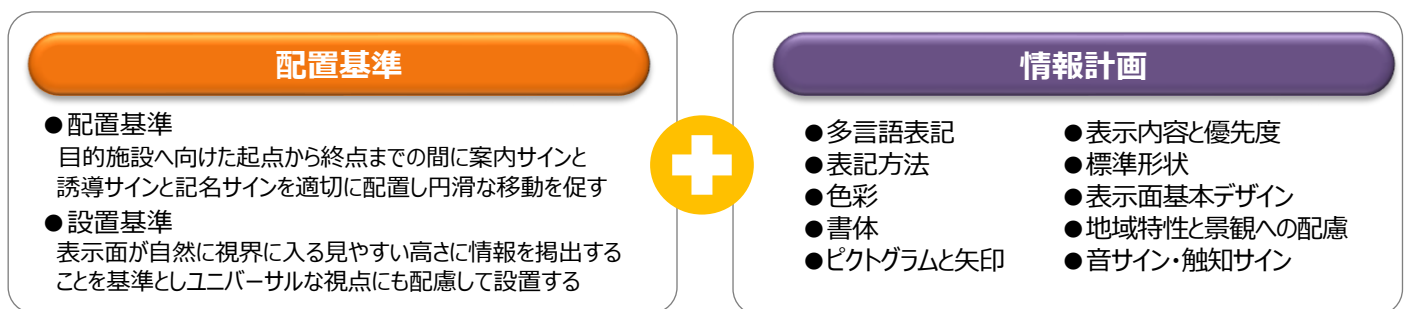
● 英語表記ツールの整備

パンフレットをはじめとする大会参加者向け印刷物、案内ツール等は全て世界バラ会議における公式言語である英語表記を基本とし、日本からの大会参加者に向けた日本語ツールも用意します。併記の場合は英語を優先表記するなど、海外からの大会参加者に配慮した構成で展開します。また、表記にあたっては、できる限りピクトグラムなどのユニバーサルデザインで展開し、ノンバーバル(言葉によらない非言語コミュニケーション)でも可能なコミュニケーションツールとして整備します。

- ウェブサイト
- 大会ハンドブック など

● サイン計画

大会の開催を契機として、今後期待される外国人観光客等が観光地や市内施設などあらゆる場面でわかりやすく統一性のあるサインにより本市における観光をスムーズに楽しめるよう、市内案内サインや誘導サインの多言語化等により受け入れ環境を整備します。



サイン整備の基本的な考え方

わかりやすく統一性のあるサイン等の整備を一体的に進め、国際都市福山の発展をめざします。目的地までのアクセスを誰にでもわかりやすくするため、ユニバーサルデザインに配慮した多言語サインを強化し、国内外の旅行者が単独でも目的地へ到達できる整備を実施する。

● フリーWi-Fi環境の整備

世界バラ会議福山大会の開催に伴い、会場となる各所のフリーWi-Fi環境の整備を行います。滞在先となる公認宿泊施設は、フリーWi-Fi環境を備えた施設を選定する他、参加者に大会の様々な情報をリアルタイムで発信していただけるよう、各会場にも参加者がストレスなくインターネットにアクセスできる環境を整えます。

- リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）
- ばら公園
- 緑町公園
- 福山通運ローズアリーナ（福山市緑町公園屋内競技場）
- 福山城公園・福寿会館
- エフビコアリーナふくやま（福山市総合体育館） など

②大会期間中の滞在支援

●通訳ボランティアスタッフの配備

世界バラ会議福山大会の開催中、インフォメーションデスクや会場となる施設の要所に通訳ができる語学ボランティアを配備します。語学ボランティアに限らず、ボランティアスタッフにはその職掌に合わせた制服(スタッフジャンパー or ビブス)を着用し、参加登録者がひと目でわかる工夫を行います。

●インフォメーションセンターの設置

大会参加者の登録窓口となる参加登録受付専用デスクをインフォメーションセンターとして運用します。設置場所は参加者に最もわかりやすくかつ便利な場所として世界バラ会連合の各種委員会・会議会場を予定している公認宿泊施設のロビー等に特設スペースを開設します。インフォメーションセンターはポストコロナに配慮しつつ円滑な登録を図ります。また、福山駅周辺にさらに1か所設置するなど、参加者がストレスなく登録が行える環境を整えます。

インフォメーションセンターの機能

○大会登録全般

- ・参加者登録：事前発行ID等との照合
- ・参加種別に合わせた登録キットの配布

○各種インフォメーション機能

- ・宿泊施設及びアクセスの案内
- ・各会場及びアクセスの案内
- ・各プログラムの案内
- ・福山市内及び近隣都市等の観光地情報とアクセスの案内
- ・その他大会に関連する内容全てに関するインフォメーション

○プレス対応

- ・プレス登録
- ・プレスキットの配布

●文化や習慣に配慮した飲食物の提供（アレルギーやベジタリアン、その他宗教的な理由等）

大会参加者に提供する昼食及び各種パーティーやティーブレイクで提供する喫食メニューは、国際的な文化、風習、体質等に考慮したメニューで構成するとともに、関係者及び該当者にわかりやすい表記を行い、ストレスなくサービスが受けられる環境を整えます。

○行事別メニュー構成：一般昼食／ウェルカムパーティー／歓迎昼食会／役員交流パーティー／交流会／フェアウェルパーティー／委員会内ティーブレイク／講義会場ティーブレイク

○文化・風習別メニュー構成：ベジタリアンなど

○体質別メニュー構成：アレルギー対応(小麦粉・そば粉・卵・牛乳等) など

●滞在中の注意事項を記載したガイドブックの整備と提供(印刷物・データダウンロード版)

滞在中の大会参加者に対する注意事項を記載したガイドブックを使用者目線で整備し、登録時にインフォメーションセンターで配布します。またガイドブックはウェブ版も作成し、スマートフォンやパソコン、タブレット等でも簡単に検索、確認できるシステムを構築し、登録者に配信します。

○印刷物…ポケットサイズの冊子として作成

○ウェブ版…大会ホームページに掲載する他、リンクを登録者のアドレスへ配信 不明な場合はインフォメーションからの配信も可能にします。

V 協働・共創推進計画

- 1 協働・共創推進計画の基本方針…………… 49
- 2 協働・共創の推進…………… 50
 - ① 多彩な市民参加を促す取組…………… 50
 - ② 協働・共創推進のための取組…………… 50
- 3 シビックプライドの醸成…………… 51
- 4 多様な主体による取組事例…………… 51



1 協働・共創推進計画の基本方針

1,000本のばらの植栽から始まったばらのまちづくりは、協働の原点として位置付けられ、様々なまちづくり活動に展開されてきました。大会では、これまでの取組や蓄積した経験などを活かしながら、市民と行政が協働するとともに、ばらの新たな価値を創造する共創を通じて、シビックプライドを醸成し、持続可能で個性豊かな「ばらのまち福山」の実現につなげていきます。

1

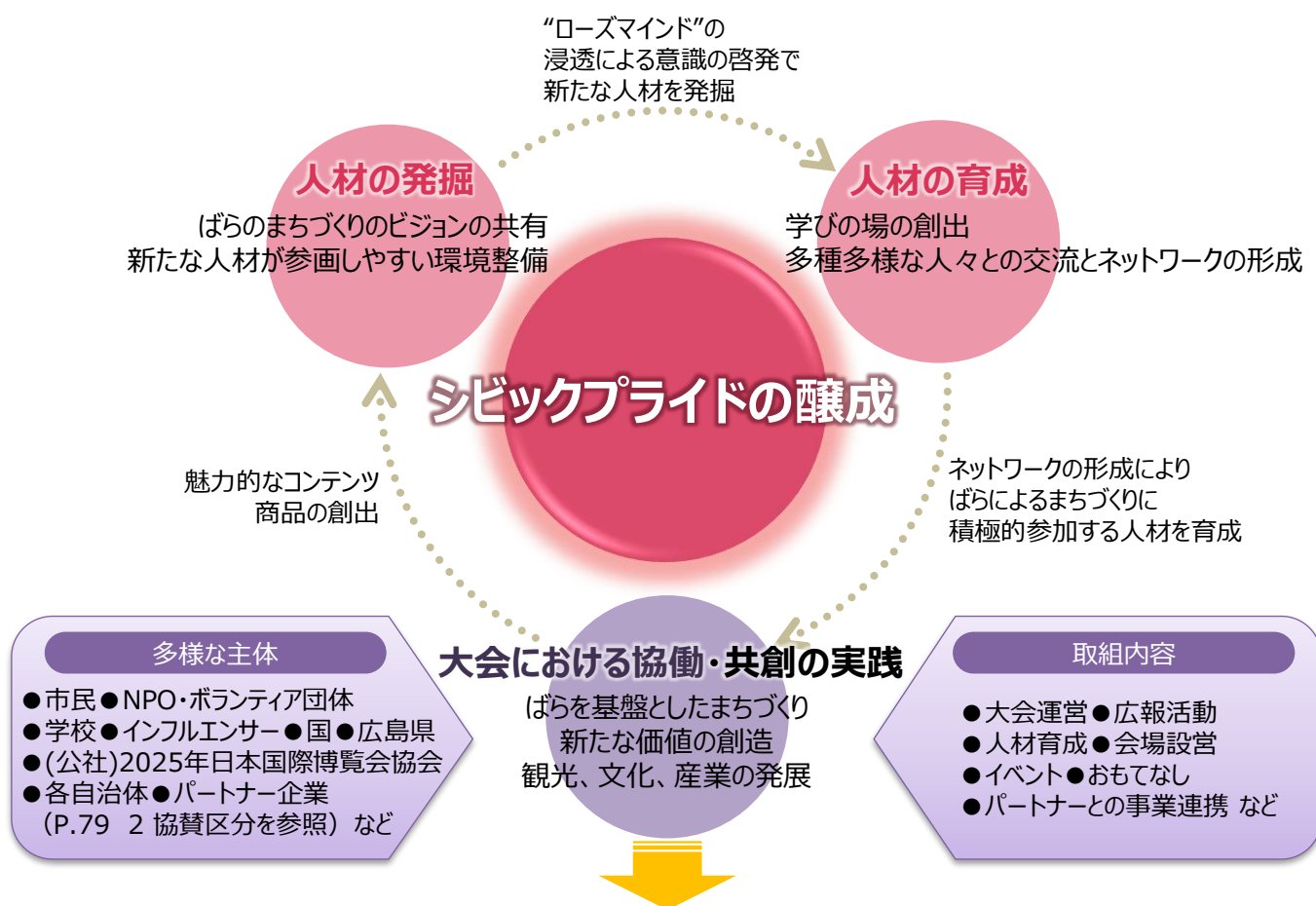
大会の様々な場面において、市民、団体、企業、学校など多様な主体が得意な分野で活躍できる場を創出し、誰もが参画しやすい環境づくりに取り組むことにより、「みんなで創る大会」の開催をめざします。

2

SDGsの視点を持ち主体的に参画できる人材の発掘と育成、協働の実践により、持続可能な協働のまちづくりの基盤強化に取り組めます。

3

大会の開催を通じて、ばらの持つ様々な可能性を活かし、他分野への拡大や連携を図ることにより、多様な主体による新たな価値創造の取組を共創します。



多様な主体が協働し、共に創る「ばらの未来・まちの未来」

- まちづくりの主役である市民一人一人が活躍できる環境の実現
- 協働の取組をさらに発展し、多様な主体と共に創意工夫の下で、新たな都市の魅力や地域の価値を創造

※協働…市民がお互いに、あるいは市民と行政が、共通の目的を共有し、それぞれの特性を活かしながら、対等な立場で補完・協力しあって自主・自立のまちづくりに取り組むこと

※共創…多様な主体が共に創意工夫し、新たな都市の魅力や地域の価値を創造すること

2 協働・共創の推進

① 多彩な市民参加を促す取組

大会実行委員会への参画や広く意見交換する場などを設けることで、市民を始め造園・花き関係者、日本全国のばらの研究者などの有識者の積極的な参画を図るとともに、世界各国のばらの最新情報を収集し、新しいアイデアを取り入れながら大会準備に取り組みます。また、若い世代の参画を促すため、大学生や専門学校生の意見を取り入れた事業の実施や、まちづくりなどの地域への貢献と人材育成を目的とした研究事業などにも取り組めるよう連携していきます。

② 協働・共創推進のための取組

大会後の協働・共創によるばらのまちづくりの推進を見据えた人材の発掘と育成の実践に取り組みます。

● 人材の発掘

世界バロ会議の意義・目的、ばらのまちづくりのビジョンを共有し、ばらをはじめ食や文化、観光など様々な分野へ拡大を図り、新たな人材が参画しやすい環境を整えていきます。

- 推進体制に挙げる部会の各プロジェクトに関係する人や団体を通じた人材の発掘
- SDGsに取り組む団体や企業を通じた人材の発掘
- 花とみどりの交流を通じてばらに関心がある人々からの人材の発掘
- 食や香りに係る団体や企業を通じた人材の発掘
- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジへの登録を通じた人材の発掘

● 人材の育成

福山ばら大学をはじめとするばらに関する講習会、ワークショップなどとも連携を図りながら、高度な知識が学べるものから、身近な生活におけるばらの楽しみ方が学べるものまで幅広く学ぶための機会の充実を図ります。また、ばら愛好家や個人ガーデナー、園芸に取り組む学生、ばら関連企業、ばらの育成以外の分野に取り組む市民などが交流し、情報交換を行う場を設けるなど、ばらのまちづくりのネットワークづくりにより、人材育成に取り組んでいきます。

- ばら栽培に関する講習会の実施による人材の育成
- ばら栽培以外の講習会（園芸）と連携した人材の育成
- 異分野の各種講座やワークショップと連携した人材の育成

● 実践事例

市民、団体などが積極的に参画し、会場周辺を含めたまちなかのばらスポットの設置、地域や学校花壇でのばらの育成、会場内の修景づくりのほか、大会での作品展示やばら花壇の案内など、実践の場を創出し、大会後も継続的な活動につながるよう取り組みます。また、協働によるプロジェクト事業の実施や、それぞれの団体などが自主的に実施する事業の支援や紹介などを行います。ばらの関連だけでなく、大会期間中の食やショッピング、ナイトタイムエコノミーを目的としたマップの作成やナイトツアーの実施、観光・文化体験など、他分野への拡大を図り、新たな価値を共創していきます。

- 実践の場の創出
 - ・会場周辺や街なかへのばらスポットの設置
 - ・会場内の修景づくり
 - ・地域や学校花壇などの充実
- 協働によるプロジェクト
 - ・ばらのマイスターチーム（有償ボランティア制度）による花壇整備・管理
 - ・ばらの新品種開発
- 自主的な事業の支援や紹介
 - ・プロボノの実践
- 産学官の連携
- ばら関連だけでなく他分野への拡大
 - ・食やショッピングなど商店街マップづくり
 - ・ナイトツアー商品開発
 - ・観光・文化体験など
 - ・国際交流事業
 - ・SDGs実践事業

3 シビックプライドの醸成

大会を通じて協働により取り組んだ経験や人々の交流が福山に対する愛着や誇り、福山のまちを自分たちの手でより良くしていこうという思いを育むとともに、大会後の未来づくりにつなげていきます。

4 多様な主体による取組事例

市民、NPO・ボランティア団体、学校、国、広島県、(公社)2025年日本国際博覧会協会、各自治体（県内自治体、ばら制定都市会議加盟自治体）パートナー企業などばら分野に限らず、広く連携・協働して推進していきます。

区分	内容
大会運営	・大会準備、運営、ムーブメント事業への参画 など
広報活動	・自主的、主体的に行うSNSなどでの大会PR ・大会ロゴ等を活用したPR（自主出版物などへの掲出） ・大会応援宣言による自主的な広報活動への参画 など
人材育成	・ボランティア育成講座 ・ばらについて学ぶ講習会、シンポジウム ・教育機関などと連携した事業 など
会場設営	・地域などで育成したばらを活用した会場装飾 ・会場となるばら園の整備 など
イベント	・Rose Expo FUKUYAMA 2025、プレイベントの開催 ・SDGsの実践や推進するための事業 ・企業の社会的責任・貢献活動(CSR) ・公募型イベントの実施 など
おもてなし	・ツアー時における歓迎レセプション ・ユニークメニューでのステージ演出 ・福山の食材を活かした飲食提供 など

●事業パートナーとの共創による新たな価値の創造

様々な業種・団体とばらをテーマに多角的な協働事業を展開し、一部の取組については大会終了後も継続的なパートナーシップが図れる関係を構築していくなど、大会を契機とした新たなばらの価値を共創する事業を展開していきます。

○取組事例(案)

- ・博覧会・イベント…………… 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）共創パートナー・ひろしまフラワーフェスティバル・瀬戸内国際芸術祭等との連携
- ・ソーシャルファンディング…………… 世界バラ会議福山大会2025応援クラウドファンディングの造成
- ・郵便…………… 記念切手、記念絵葉書の発行
- ・旅行代理店…………… 着地型旅行商品の造成
- ・広告代理店…………… 関連媒体への広告、パブリシティの掲載
- ・出版…………… 関連出版物への広告、パブリシティ、特集ページの掲載
- ・大学・研究機関…………… 研究中の新技術等の実証実験
- ・業界団体…………… 広報協力、品評会等の開催協力

VI ボランティア計画

- 1 ボランティア計画の基本方針..... 53
- 2 募集..... 53
 - ①応募方法..... 53
 - ②募集範囲..... 53
- 3 運営方法..... 54
 - ①登録・研修スケジュール..... 54
 - ②研修内容..... 54
- 4 主な活動内容..... 55
 - ①事務局ボランティア..... 55
 - ②会場ボランティア..... 55
 - ③語学ボランティア..... 55



1 ボランティア計画の基本方針

市民の手による大会を実現し、将来のまちづくりの担い手育成と継承につなげます。

ボランティア一人一人が楽しみながらやりがいを持って活動できる機会を創出します。大会の成功を支える人材として、個人のスキルアップを図りながら、大会の意義や“ローズマインド”の理解を深め、大会参加者に接するなどホスピタリティあふれる大会にしていきます。また、ボランティアに参加した方々が、大会での経験や感動を活かし次の活動へとつながるようボランティア活動の継承に取り組みます。

1

応募者の経験や知識が活かせるような活躍の場を提供し、活動へのやりがいや喜びにつなげることで、将来のまちづくりの担い手の育成を図ります。

2

未経験でも安心して活動できるよう説明会や研修会を開催し、質の高いサービスを提供できるボランティアスキルの養成を図ります。

3

ボランティア活動の経験豊富な人材や若者、外国人など世代や立場を超えた人々の参加を図ります。また、ボランティア同士の交流の場を設け、一体感を持って活動の推進を図ります。

4

世界各国からの大会参加者や関係者と、活動を通じて交流を深める機会を設け、多文化共生を尊重する意識と国際感覚の醸成を図ります。

2 募集

① 応募方法

● ボランティアセンターの設置

世界バラ会議福山大会において、実際に運営を担うボランティアスタッフは大会の成功を左右する大変重要な役割を担います。ボランティアが担う業務は、多岐にわたるため、ボランティアの募集から養成、研修、派遣、管理に至る全ての業務を所管し、必要な場所やシーンへ適切なボランティアを配備できるよう、ボランティア業務を一元管理する拠点として、ボランティアセンターを設置します。

● ボランティアセンターの役割

ボランティアセンターの役割は主に以下のとおりです。

- ボランティアの募集
- 募集定員の設定
- ボランティアの教育・研修
- ボランティアの配備
- ボランティアの労務管理
- ボランティアからの情報収集管理
- ボランティアからの情報発信管理
- ボランティアへの支給品・貸出品の登録管理 など

● ボランティア募集ツール

ウェブサイト及びSNSや市の広報紙等を有効に活用してボランティアを募集します。

② 募集範囲

● 募集エリア

福山市在住の方や通勤通学で通われている方を中心に募集を行います。

● 役割・技能別募集

通訳、交通指導員、情報保障スタッフなど、特殊技能を有するボランティアスタッフの募集も併せて行います。

3 運営方法

①登録・研修スケジュール

- 活動メニューごとに、必要な人数、活動場所、活動期間、求めるボランティアスキル、育成方法などを明らかにするための募集計画を作成し、計画的なボランティア募集と人材育成に取り組みます。
- ウェブサイトなどを活用して広く周知するとともに、参加の申し込みがしやすいよう、個人単位のほか、団体やグループ単位での応募に対応できる受付体制を構築します。
- 応募に当たっての問合せ対応や活動を継続してサポートするための「ボランティアセンター」を設置します。
- 大会を支える一員としてそれぞれの役割を理解し、質の高いサービスの提供、臨機応変な対応を行うための育成期間を確保するために、開催の約1年半前から募集を行います。
- 育成に当たっては、ばら愛好家や関係団体・機関と連携を図り、必要な知識の習得をめざすとともに、福山のばらの歴史やローズマイルドについて学び、ボランティア活動に活かし、おもてなしにつなげます。

区分	内容
1 計画立案期 (～2023年8月)	ボランティア確保の方法検討 ボランティアの募集計画作成、人材発掘
2 募集期 (2023年9月～12月)	ボランティアセンター設置・募集開始
3 養成期 (2024年1月～2025年4月)	登録・研修の実施 ・全体オリエンテーション ・全体研修会 ・個別研修会 ・事前説明会(プレイベントなどでの実践含む)
4 実践期 (2025年5月)	・第20回世界バラ会議福山大会2025 ・Rose Expo FUKUYAMA 2025

②研修内容

研修項目	研修内容
1 基本項目	<ul style="list-style-type: none"> ●世界バラ会議について ●福山とばらの歩みについて ●大会について
2 大会情報	<ul style="list-style-type: none"> ●大会参加者について ●会場とアクセス ●各プログラムの内容 ●会場内動線
3 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●大会参加者への接遇 ●危機管理 ●安全衛生対策 ●業務別プログラム研修

4 主な活動内容

①事務局ボランティア

(1)事前運営業務補助

大会の開催前に事務局や各部会で行う事前業務のサポートを行うボランティアです。

●事務局業務補助

大会運営事務局に所属し、事務局において行われる会議資料作成の補助業務や会議室の調整、整備、各部会への事務連絡代行等、事務局運営業務のサポートを行います。

●部会業務補助

各部会に所属し、各部会での会議資料作成の補助業務や会議室の調整、整備、事務局への事務連絡代行等、各部会における事前運営業務のサポートを行います。

(2)大会運営業務補助

大会の開催期間中に事務局や各部会の運営事務のサポートを行うボランティアです。

●事務局業務補助

大会運営事務局に所属し、大会期間中の実施運営事務局における事務業務のサポートを行います。

●部会業務補助

各部会に所属し、大会期間中に各部会が担当する大会運営における事務業務のサポートを行います。

②会場ボランティア

大会の開催期間中に参加登録受付専用デスク(インフォメーションセンター)をはじめ、講義会場、各種レセプション会場等において様々な会場運営業務をサポートするボランティアです。

●登録者受付・案内・接遇

大会期間中参加登録受付専用デスク(インフォメーションセンター)や各会場に設置されたインフォメーションカウンターに所属し、大会参加者の登録受付や各種案内などを行います。

●障がい者・高齢者支援

各会場において障がい者や高齢者等、介助を必要とする大会参加者やスタッフが快適に参加・参画していただけるよう合理的配慮を行い、環境を整えます。

●危機管理補助

各会場の自主警備組織に所属し、急病やケガ、クレーム等に関する危機管理業務のサポートを行います。

●ツアー補助・体験メニュー提供補助

視察や同伴者プログラムに同行し、大会参加者の案内や体験メニューの準備、体験サポート等を行います。

●大会記録

大会全てのプログラムに派遣され、各プログラムの様子を動画及び画像で撮影するとともに、各プログラム(公開プログラムのみ)で行われた内容の記録業務のサポートを行います。

③語学ボランティア

英語を主体として外国語を修得し会話ができる方々で構成された主に通訳を行うボランティアです。大会の開催期間中は全てのプログラムに一定の人員を配置し、海外からの大会参加者が安心して各プログラムに参加できる環境を整えます。

- 各部会業務補助

各部会に所属し、各部会業務における通訳業務を行います。

- ツアーデスク補助

参加登録受付専用デスク(インフォメーションセンター)に所属し、参加登録時における通訳業務を行います。

- 会場ボランティア補助

講義会場、各種レセプション会場等に配置し、海外からの大会参加者とそれぞれの会場で活動するボランティアスタッフとの通訳業務を行います。

VII 宿泊・交通計画

- 1 宿泊・交通計画の基本方針…………… 59
- 2 宿泊計画…………… 59
 - ①宿泊施設候補案の選定…………… 59
 - ②宿泊施設における受付体制…………… 59
- 3 交通輸送計画…………… 61
 - ①各会場等への移動方法…………… 61
 - ②視察・ツアー地への移動方法…………… 61
- 4 福山までのアクセス…………… 62
 - ①アクセス方法の提示…………… 62

1 宿泊・交通計画の基本方針

宿泊施設は、大会参加者などの移動に負担がかからないよう、福山駅から徒歩圏内に集約するよう努めます。宿泊施設から各会場までが徒歩圏外となる場合や、視察・ツアーはバスによる移動を基本とし、大会登録者の安全・円滑な移動を図ります。

1

人数や荷物量、顧客ニーズに合わせた宿泊施設を確保し、大会参加者などの希望に沿うように努めます。

2

バスで移動する場合は、各会場や視察・ツアーなどで訪れる施設に専用駐車場や降車場を設けるなど安全を確保します。

3

長時間の移動が生じる場合は、感染症対策に配慮し車内が狭くならないよう、ゆとりを持った配車計画を行います。

4

安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて関係機関と綿密な連携・調整を行います。

2 宿泊計画

① 宿泊施設候補案の選定

宿泊施設候補の選定に当たり、主会場近隣(徒歩圏)の市内宿泊施設であることを優先に、広さや設備等の居住性や、食事、通訳、ユニバーサル等のホスピタリティに関する基準を設定し、市内の業界団体等を通じて必要な部屋数の確保を図ります。

● 公認宿泊施設の基準案

項目	基準内容
■ 交通	主会場から徒歩圏であること
■ 部屋タイプ別の広さ	シングル：17㎡以上／ダブル：17㎡以上／ツイン：17㎡以上
■ 飲食物	朝食の提供／アレルギー、ベジタリアンなどへの配慮
■ 基本設備	ユニバーサル対応、フリーWi-Fi環境、シャワートイレ
■ ホスピタリティ	24時間対応、英語対応、コンシェルジュ対応、多言語対応、大会インフォメーションデスクの設置(受付登録窓口)

② 宿泊施設における受付体制

● フロントでの大会へのエントリー受付について

大会への登録受付は、基本的には福山駅周辺施設（2か所を想定）と主要会場に設置した専門の参加登録受付専用デスクで行います。加えて、大会参加者の利便性を考慮し、公認宿泊施設に、任意で設置を依頼し、宿泊施設による運用を行います。参加登録受付専用デスクの運用に関しては、詳細なマニュアルを作成し、システムと連動した円滑な運用を図ります。

○ 設置施設候補

- ・福山ニューキャッスルホテル・リーデンローズ特設デスク（開会式当日のみ）

●参加登録受付専用デスクの機能

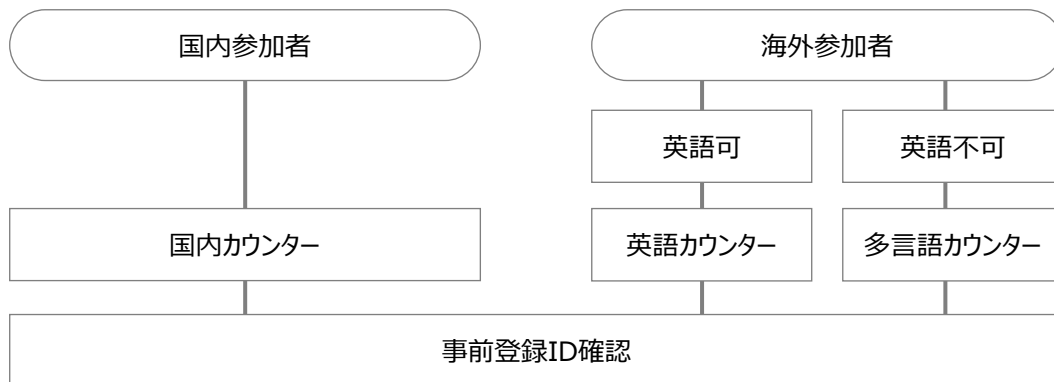
参加登録受付専用デスクでは大会への参加登録に必要な受付業務全般に加えて、宿泊施設や交通手段、各プログラムの概要やアクセス方法の案内など、大会参加者に対する様々なインフォメーションを行う拠点「インフォメーションセンター」としても運用します。運用に当たっては英語を基本に、多言語対応可能な設備や体制を整備し、大会参加者の様々なニーズに応えます。

- 大会登録全般
 - ・参加者登録：事前発行ID等との照合
 - ・参加種別に合わせた登録キットの配布
- 各種インフォメーション機能
 - ・宿泊施設及びアクセスの案内
 - ・各会場及びアクセスの案内
 - ・各プログラムの案内
 - ・福山市内及び近隣都市等の観光地情報とアクセスの案内
 - ・その他大会に関連する内容全てに関するインフォメーション
- プレス対応
 - ・プレス登録
 - ・プレスキットの配布

●受付フロー

受付業務においては様々な登録者の種別やニーズを想定した詳細なマニュアルを整備します。マニュアルの整備は、登録申請システムと連動した受付フローを設定し、円滑な業務の遂行を図ります。

○業務フロー展開例



	全日参加	ワンデイ	同伴者
◎登録キット			
・コンgresバック	○	○	×
・大会プログラム	○	○	×
・IDパス	○	○	○
・大会記念品	○	×	×
◎参加可能プログラム			
・開会式&歓迎レセプション	○	○	▲別料金
・歓迎昼食会	○	○	▲別料金
・講義	○	○	×
・ウェルカムパーティー	○	▲別料金	▲別料金
・Rose Expo	○	○	○
・同伴者プログラム	○	○	○
・無料視察・ツアー	○	○	○
◎シャトルバス	○	○	○
◎有料プログラム			
・閉会式&フェアウェルパーティー	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・交流会	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・有料視察・ツアー	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・プレツアー、ポストツアー	▲別料金	▲別料金	▲別料金

○参加登録費に含む
 ×参加登録費に含まない
 ▲別料金で参加可

3 交通輸送計画

①各会場等への移動方法

●シャトルバス

大会参加者の徒歩圏外の各会場への移動は、シャトルバスを運行して対応します。発着場については、宿泊施設や拠点施設から徒歩で移動できる場所である他、時間帯による交通量や近隣等への影響を考慮して検討します。また、各プログラムにおける参加人数に沿って、ゆとりのある車内環境が確保できるよう、シャトルバスの台数を調整します。

○シャトルバスを運行する日時と区間

運行日時	プログラム	乗車場所	降車場所
5月19日(月) 8:00～	ホテル→開会式・歓迎レセプション	JR福山駅周辺	リーデンローズ
5月19日(月) 11:30～	開会式・歓迎レセプション→歓迎昼食会	リーデンローズ	緑町公園
5月19日(月) 11:30～	開会式・歓迎レセプション→ホテル	リーデンローズ	JR福山駅周辺
5月19日(月) 13:30～	歓迎昼食会→ホテル	緑町公園	JR福山駅周辺
5月20日(火) 12:00～	ホテル→同伴者プログラム1	JR福山駅周辺	プログラム1会場
5月21日(水) 9:00～	ホテル→同伴者プログラム2	JR福山駅周辺	プログラム2会場
5月23日(金) 9:00～	ホテル→同伴者プログラム3	JR福山駅周辺	プログラム3会場
5月19日(月)～5月24日(土)	ホテル→Rose Expo FUKUYAMA2025会場	JR福山駅周辺	緑町公園

●ハイヤー・タクシー

来賓等のVIPや理事及び委員会等の役職者、講師等のゲスト、レセプションの出演者等の移動及び徒歩圏外への移動に際しては、ハイヤーやタクシーを利用するガイドラインを策定し、公式行事に関しては事前手配を行うとともに、市内タクシー会社等と連携して事前に必要台数を確保し、必要に応じて迅速に手配できる体制を整えます。

○ハイヤー・タクシー利用ガイドライン例

利用者属性	徒歩圏内	徒歩圏外
VIP・来賓	ハイヤー	ハイヤー
委員会の役員	徒歩	タクシー
講師・ゲスト	徒歩	タクシー
出演者	—	—

※出演者のタクシー利用に関しては出演者の規模や状況によって判断し、適切な移動手段を確保します。

●タクシー配車サービスの推進

タクシーの呼出しから、目的地の説明、運賃の支払いまでをアプリで可能な、タクシー配車サービスの利用を推進し、言語に頼らないバリアフリーな移動手段を提供することにより、参加者の利便性と流動性の向上を図ります。

②視察・ツアー地への移動方法

●チャーターバス

視察・ツアー地への移動はチャーターバスで行います。発着場は、宿泊施設や拠点施設から徒歩圏内であり、時間帯による交通量や近隣等への影響を考慮して検討します。また、各視察・ツアーにおける参加人数に沿って、ゆとりのある車内環境が確保できるよう、チャーターバスの台数を調整します。

○チャーターバスを運行する日時と区間

運行日時	プログラム	乗降場所
5月20日(火) 12:00～	視察・ツアー	JR福山駅周辺
5月21日(水) 12:00～	視察・ツアー	JR福山駅周辺
5月22日(木) 8:30～	終日視察・ツアー	JR福山駅周辺
5月23日(金) 13:30～	視察・ツアー	JR福山駅周辺
5月24日(土) 14:00～	視察・ツアー	JR福山駅周辺

4 福山までのアクセス

① アクセス方法の提示

国内各地及び海外各国から福山を訪れる場合、特に海外の場合はそれぞれの国の異なる事情に応じていくつかの渡航手段があります。渡航から宿泊に関しては、参加登録フォームを旅行代理店の予約販売システムと連動することで、料金プランに応じた推奨する渡航方法の提示を行います。

● 推奨アクセス方法

○国内からの大会参加者

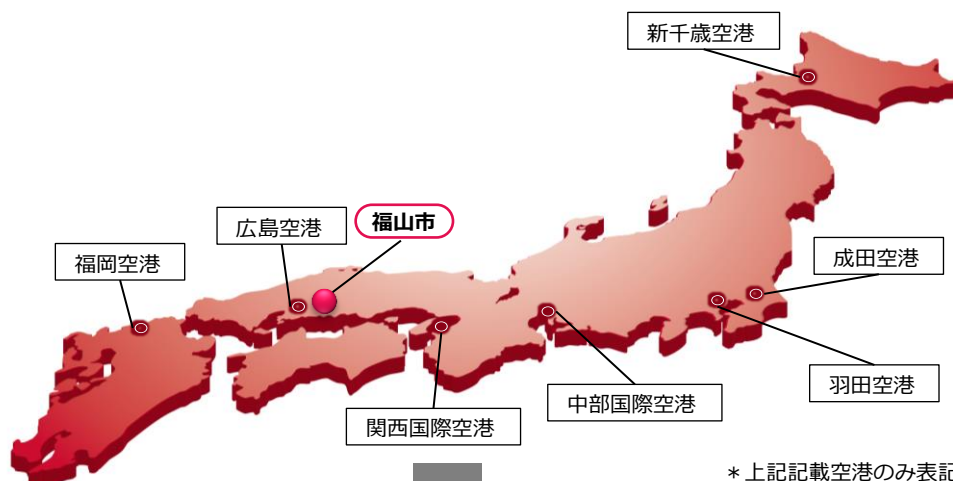
来場地	経路	平均所要時間	平均料金
北海道（札幌）	札幌→JR→新千歳空港→ANA/JAL→広島空港→高速バス→福山	6時間20分	64,120円
青森	青森→JRバス→青森空港→JAL→伊丹空港→モレール・地下鉄→新大阪→JR山陽新幹線→福山	6時間20分	55,490円
	新青森→JR東北新幹線→東京→JR東海道・山陽新幹線→福山	7時間20分	30,930円
仙台	仙台→空港線→仙台空港→ANA→広島空港→リムジンバス→福山	5時間50分	56,381円
	仙台→JR東北新幹線→東京→JR東海道・山陽新幹線→福山	5時間41分	25,780円
東京	東京→JR東海道・山陽新幹線→福山	3時間46分	17,990円
名古屋	名古屋→JR東海道・山陽新幹線→福山	1時間52分	12,720円
大阪	新大阪→JR山陽新幹線→福山	1時間01分	8,210円
福岡	博多→JR山陽新幹線→福山	1時間26分	11,510円
鹿児島	鹿児島中央→JR九州・山陽新幹線→福山	3時間08分	19,650円

2023.2.5現在

○国外からの大会参加者

来場地	経路	平均所要時間	平均料金
成田国際空港着 (成田空港)	成田空港→高速バス→東京→JR東海道・山陽新幹線→福山	5時間30分	19,290円
	成田空港→広島空港→高速バス→福山	5時間10分	34,370円
東京国際空港着 (羽田空港)	羽田空港→京浜急行→品川→JR東海道・山陽新幹線→福山	4時間10分	18,282円
	羽田空港→高速バス→東京→JR東海道・山陽新幹線→福山	4時間15分	18,990円
	羽田空港→ANA・JAL→広島空港→高速バス→福山	3時間00分	42,570円
中部国際空港着	中部国際空港→名鉄→名古屋→JR東海道・山陽新幹線→福山	2時間55分	13,970円
	中部国際空港→高速バス→名古屋→JR東海道・JR山陽新幹線→福山	3時間25分	14,120円
関西国際空港着	関西国際空港→JR→新大阪→JR山陽新幹線→福山	2時間40分	9,320円
	関西国際空港→高速バス→大阪→JR→新大阪→JR山陽新幹線→福山	2時間20分	9,810円
福岡空港着	福岡空港→福岡市営地下鉄→博多→JR山陽新幹線→福山	1時間57分	11,560円
広島空港着	広島空港→リムジンバス→福山	1時間05分	1,400円

2023.2.5現在



* 上記記載空港のみ表記。

VIII 参加登録計画

- 1 参加登録計画の基本方針…………… 65
- 2 登録区分設定…………… 65
- 3 登録方法…………… 66
- 4 参加登録までの業務フロー…………… 66

1 参加登録計画の基本方針

国内はもとより、海外の参加希望者がスムーズに参加登録ができるよう、明確で簡便な登録方法を確立します。登録時期に合わせて段階的に登録を促し、一人でも多くの参加登録者の確保をめざします。

1

日本語と英語のウェブサイトを構築し、プログラムや日程、準備の様子が分かる情報を随時更新することにより、周知・PRを行い、登録の促進につなげます。

2

登録時期に応じて割引等の特典を付与した参加登録区分を設定し、早期の大会への参加登録者の確保を図ります。

3

1日ごとの参加登録を可能にするなど、柔軟に登録区分を設け、国際会議やばらに関心の高い人がより参加しやすい仕組みを整えます。

4

ウェブサイトの構築と運用にあたっては、情報管理を徹底し、厳重な個人情報等の保護と管理を行います。

2 登録区分設定

参加登録者の申込状況を把握し、準備や登録勸奨等が可能な事前登録方式を基本とします。早期登録や通常登録など登録時期に応じて参加登録費の割引金額を設定し、早期の参加登録者の確保を図ります。登録区分に応じた登録案内を行うとともに、1日ごとの登録を可能とし、国内の参加や市民の登録を促進します。

●（参考例）アデレード大会での参加登録料金

参加種別・登録種別	早期登録	通常登録	歓迎レセプション	ガラディナー
全日参加	AUD850 (79,050円)	AUD1,050 (97,650円)	AUD85 (7,905円)	AUD150 (13,950円)
一日参加		AUD200 (18,600円)		

※参加種別によるオプション料金を設定します。

AUD 1 = 93円で算出

●参加登録費に含まれるもの（案）

	全日参加	ワンデイ	同伴者
◎登録キット			
・コンgresバック	○	○	×
・大会プログラム	○	○	×
・IDパス	○	○	○
・大会記念品	○	×	×
◎参加可能プログラム			
・開会式&歓迎レセプション	○	○	▲別料金
・歓迎昼食会	○	○	▲別料金
・講義	○	○	×
・ウェルカムパーティー	○	▲別料金	▲別料金
・Rose Expo	○	○	○
・同伴者プログラム	○	○	○
・無料視察・ツアー	○	○	○
◎シャトルバス	○	○	○
◎有料プログラム			
・閉会式&フェアウェルパーティー	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・交流会	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・有料視察・ツアー	▲別料金	▲別料金	▲別料金
・プレツアー、ポストツアー	▲別料金	▲別料金	▲別料金

○参加登録費に含む
×参加登録費に含まない
▲別料金で参加可

3 登録方法

登録受付は、ウェブサイトから行うこととし、手続きが簡便な登録システムを構築します。また、宿泊の申込みも参加登録と同時に行うことができるようにすることで、参加希望者の利便性を図ります。登録に対する問合せは、メールなどを活用し、随時対応することにより、参加に対する不安を解消するよう努めます。

●登録チケット販売・決済方法

登録チケットは旅行代理店と連携し、旅行代理店が運用するECサイトを活用し、参加登録者専用のエントリーフォームを整備して参加登録と決済を行い、登録IDを発行します。システムの設計と運用に関しては、セキュリティを担保できる旅行代理店で一元管理を行い、安全かつスムーズな運用を図ります。

●参加登録者の管理システム・委託方法

参加登録者の管理システムは、ECサイトで一元管理を行います。申込前後の問合せ対応及び変更、キャンセル、入返金処理等、登録チケット販売に係る全ての業務を委託します。委託事業者の選定にあたっては業務要項を精査し、複数の事業者から最適な事業者を選定し、一元管理によるスムーズな大会運営を行います。

◇登録受付事業者の条件及び委託する業務範囲(案)

委託事業者の条件

- 旅行商品の取扱いが可能な事業者
- 福山市内及び海外に本支店・営業所を有する事業者
- カスタマイズ可能なECサイトの運用実績のある事業者
- インバウンドに高い知見を有する事業者
- 多言語対応が可能な事業者

委託業務範囲

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○参加登録者管理業務 ・登録者ID管理 ・大会プログラムへの問合せ対応 ・変更、キャンセル対応 ・入返金処理 ・大会情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ○旅行商品の造成・販売 ・参加登録者への旅行商品の造成、販売 ・宿泊地斡旋 ・入出国の航空券のサポート、予約販売 ・福山までの推奨ルートの提示とチケットの予約販売 |
|--|---|

4 参加登録までの業務フロー

●来場者の管理システム・委託方法

参加登録受付専用デスクは来場者管理を登録受付システムと連動させ運用します。システムを運用する事業者へ委託することにより、業務の効率化を図ります。また、公認宿泊施設と提携して、参加者の利便性向上を図ります。受託事業者は受付登録システムと連動した受付業務のフロー及び運営マニュアルを整備し、ホスピタリティの高い運用を行います。

項目	内容
1 登録内容の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・登録方法（ウェブサイト） ・登録料金（早期、通常、後期、直前、1日） ・登録項目（名前、所属、連絡先など） ・オプション申込み（ツアー、レセプション、宿泊先、食事制限など） ・支払方法（クレジットカード、銀行振込など） ・支払通貨 ・キャンセル規定（時期、返金率、返金方法など）
2 事前登録受付の実施と状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ先（メール、電話、住所）の設定 ・ウェブサイトでの受付フォーム、システムの構築、運用 ・大会登録者数、入金額、属性別人数などの確認 ・料金過不足の精算方法検討
3 登録促進	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動による登録の促進（ウェブサイトなど） ・過去の大会登録者への案内（メール、手紙など） ・関係団体などとの連携による登録の促進
4 当日受付	<ul style="list-style-type: none"> ・受付デスクでの業務フロー、講師受付フロー ・コングレスバッグ（大会オリジナルバッグ）、封入物、名札（ネームカード） ・受付（事前大会登録者）リスト、支払情報 ・プレス登録、プレス規定

VIII 参加登録計画

◇来場者管理事業者の業務範囲(案)

○参加登録受付専用デスク設置計画

- ・場所、施設
- ・人員配置計画
- ・宿泊施設への委託範囲の策定と研修の実施

○参加登録受付専用デスクにおける業務フローの作成

- ・国内、国外別
- ・多言語対応
- ・講師受付フロー
- ・プレス対応フロー

○参加登録受付専用デスクの運用

- ・大会参加登録業務全般
- ・各種インフォメーション機能
- ・講師対応
- ・プレス対応

○その他

アレルギーやベジタリアン、その他宗教的な理由により配慮を要する対応については、大会登録時に個別アンケートを実施するなど、事前に把握して対応します。



▲食事メニューの表記（アデレード市のホテル）
乳製品フリー、グルテンフリー、ヴィーガン、ベジタリアン



▲農林水産省『地域で取り組む人たちのためのインバウンド対応ガイドブック』2018年版より抜粋



▲観光庁『ムスリムおもてなしガイドブック』2018年版より抜粋

▲観光庁『ベジタリアン・ヴィーガン対応ガイド』2020年版より抜粋

IX 広報計画

1 広報計画の基本方針	69
2 戦略的広報フェーズ(Phase.1～6)	71
■ マスコミ報道(パブリシティ)獲得に向けた考え方	73
3 大会ムーブメントの取組	74
① 大会に向けた機運醸成	74
② 大会サポーターの拡大	75
③ ばら文化の発信を通じたばらファンの拡大と ばら文化の向上	75
④ Something Roseの取組	75
⑤ 「ばらのまち」の見える化～ムーブメント～	75
4 大会ロゴマーク	76

1 広報計画の基本方針

第20回世界バラ会議福山大会2025・Rose Expo FUKUYAMA 2025の開催意義と魅力を伝え、「ばらのまち福山」のプレゼンス(存在感)を向上させる

広報の目的は、市民の機運醸成と国内外からの誘客であり、そのために「ばらのまち福山」の魅力を広く伝え、認知を高め、認めていくことが重要です。また、市民の主体的な参加を促し、自らが発信者となることも大切です。大会開催の意義や魅力を戦略的に発信し「ばらのまち福山」のプレゼンス向上を図るため、広報計画を策定し著名なばら愛好家や研究者の方々の口コミを通じた拡散や、市内外及び獲得したい交流ネットワーク地域(関西圏・首都圏等)に向けた積極的な広報・プロモーション活動を展開していきます。

■ 広報計画の基本的な考え方 ■

積極的なメディアリレーションズ活動

社会的に影響力の強いマスコミと良好な関係を維持しながら、パブリシティ、広告、メディアタイアップ等の手法で、効果的・効率的に活用

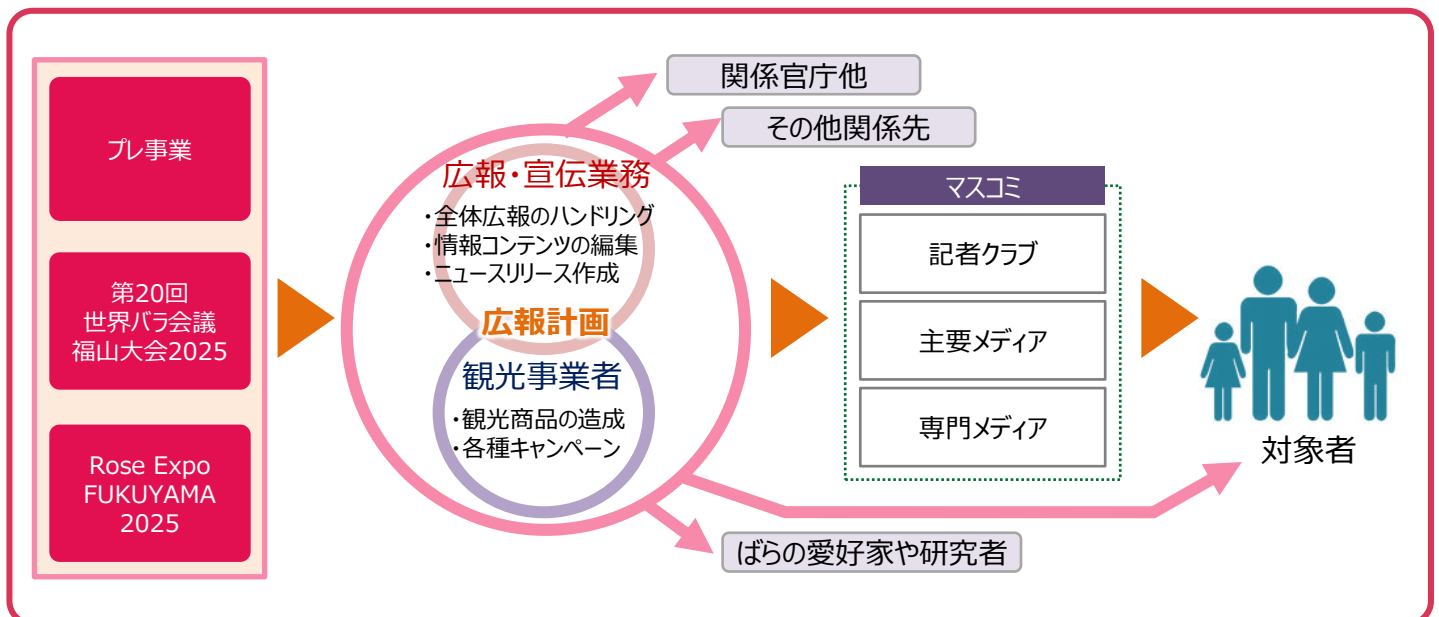
効果的な広報プログラムの創造と実施

ニュース性の高い情報コンテンツづくり、タイミングや効率を念頭においた広報プログラムの策定

広報体制・広報基盤の整備

迅速できめ細かい対応が可能な体制づくり、広報基盤の整備

記念事業全体はもとより、各イベントや取組の重要性、ニュース性を考慮しながら、それぞれ優先順位をつけて、戦略的かつ効果的な広報計画を策定する。



- 1 ニュースソースとなる「話題性の高い取組」に関するリリースを積極的に行い、各種メディアの関心を高めて露出を図り、開催機運を醸成
- 2 関係機関、協賛企業、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）等との綿密な連携を図り、各段階に応じた戦略的広報フェーズを策定して、ムーブメントの醸成をサポート
- 3 テレビや新聞を軸に、インターネットやデジタルサイネージ等を有機的に連携させたクロスメディアによる展開で情報を拡散
- 4 開催期間中、主要メディアへの積極的な取材勧奨を行い、メディアの特性を考慮した、効果的な情報発信を実施
- 5 第20回世界バラ会議福山大会2025・Rose Expo FUKUYAMA 2025に参加・出演する著名人の影響力を活用した積極的な広報活動を展開



街中に地域のばら花壇が咲き誇る「ばらのまち福山」の魅力を内外へ戦略的に発信し、集客を促進するとともに、シビックプライドを醸成し大会への参加意識を向上する。

広告とPRの使い分けによる広報宣伝効果の最大化

クロスメディア手法による浸透率アップ

多様なメディアを重層的にクロスさせることで情報の接触頻度と浸透率をさらに高めます。到達率が高いテレビと新聞を核に、その効果をさらに引き出すインターネットやデジタルサイネージを有機的に連携させた媒体展開に加え、SNSなどのコミュニケーションサービスも活用します。

ネットワークのフル活用

有力メディアや旅行エージェントをはじめ、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、インターネット、さらにイベントやキャンペーン等それぞれのネットワークやリレーションシップを駆使して精度の高い広報活動を行います。

重点集客エリアにおけるきめ細かな情報発信

- ① PRキャラバン(自治体やマスコミ等への表敬訪問及びイベント参加)による報道露出とばら愛好家などのSNSなどによる口コミを通じた拡散
- ② カウントダウンイベントや開会式のほか各種企画等を通じて、地元マスコミ(テレビ・新聞等)の断続的な報道を獲得
- ③ ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」やテーマソング、デジタルサイネージ、その他各種ツールの設置・活用等により接触頻度や機運を最大化

全国へのメッセージ発信(隣県・広域)

- ① 大会ロゴ、大使を活用したPR
- ② テレビ局のネット番組や有力活字メディアにおける企画報道をめざした取材誘致プロモート、記者発表の実施等、全国レベルの情報波及を実現
- ③ 会期中の連休や週末の家族旅行、団体バス旅行等、来場の動機づけとなるよう 旅行商品の造成促進や観光キャンペーンの要素を盛り込んだ広報アプローチを計画
- ④ 単なる開催告知ではなく、観光集客等に寄与する切り口や内容の報道露出を図り、宿泊旅行客の動員と経済効果の向上、さらには開催意義の継承をめざした広報活動を計画

2 戦略的広報フェーズ

開催年となる2025年（令和7年）までの期間をアデレード大会開催までの「認知拡大期」、2022年（令和4年）のアデレード大会開催後からの「機運醸成期」、「誘客促進期」と、大きく3つの戦略的な広報フェーズで構成します。それぞれの段階に応じて大会のPRと参加の促進、機運の醸成につながる情報を民間のノウハウも活かしながら積極的に発信します。2022年（令和4年）のアデレード大会、2023年（令和5年）ブリュッセルで開催される国際ヘリテージローズ会議、2024年（令和6年）スウェーデンで開催される地域大会において、福山のプロモーションを積極的に展開し、2025年（令和7年）の開催に向け国内外への発信を推進していきます。

認知拡大期(2021年4月～2022年10月)

Phase.1 第20回世界バラ会議福山大会2025開催の認知を高めるために

ばら愛好家や市民活動を柱とした話題の創出

2021年4月～

- ターゲット：ばら愛好家、市民(参画・協力者)
- 取組内容：①広報大使(アンバサダー)の起用・就任
②応援宣言(世界バラ会議をみんなで盛り上げる自主的・自発的な取組を募集)
③市民による会場装飾・展示用ばらの育成
④大会ロゴを活用したPR(ポスター、ノベルティ、名刺など)
⑤関係団体の広報媒体を活用したPR(広報紙など)
⑥イベントでのPR(福山ばら祭など)
⑦連携事業の実施(学校など)

機運醸成期(2022年11月～2024年9月)

Phase.2 参加意識と機運醸成を図るために

各種PRツールの整備

2022年11月～

- ターゲット：市民(一般)、県民、備後圏域
- 取組内容：①冠事業の実施
②市の広報媒体を活用したPR(広報紙、サイネージなど)
③ノベルティグッズ、土産、記念品等の開発と配布(ばらグッズなど)
④記念講演会やシンポジウムの開催
⑤企業とのタイアップ事業の実施
⑥世界バラ会連合ヘリテージローズ会議ブリュッセル大会での誘客プロモーション展開

Phase.3 来場への期待感を高めるために

情報発信のヤマ場づくり

2023年9月～2024年9月

- ターゲット：市民(一般)、全国展開に向けた準備
- 取組内容：①広報大使(タレント)の起用・就任式
②ツアー商品造成に向けた旅行代理店への営業活動
③SNSなどを使った全国へのPR(ニュースリリース、福山アンバサダーなど)
④世界バラ会連合地域大会スウェーデン大会での誘客プロモーション展開

誘客促進期(2024年10月～2025年5月)

Phase.4 行ってみたいと感じてもらうために

開催に向けたボルテージの高揚

2024年10月～2025年3月

- ターゲット : 全国、世界
- 取組内容 : ①重点誘客エリア（主に大都市圏）での広告展開(TV、ラジオ、新聞雑誌、交通広告、サイネージ)
②大手旅行代理店グループメディアの活用
③大手通信社PRワイヤー※の活用(共同通信PRワイヤーなど)
④プレスツアー、プレス取材の誘致を通じたパブリシティによる露出
⑤PRキャラバン隊による表敬訪問(関係ばら園、マスコミ、雑誌編集社)
⑥ガイドブックの作成

Phase.5 国内の大規模イベントとの連携

開催直前・開催期間中の臨場感の創出

2024年10月～2025年5月

- ターゲット : 全国、世界
- 取組内容 : ①周知活動 連携
②視察・ツアーの造成

Phase.6 人に伝えたいと感じてもらうために

開催直前・開催期間中の臨場感の創出

2025年3月～2025年5月

- ターゲット : 全国、世界
- 取組内容 : ①重点誘客エリア（主に大都市圏）での広告展開
(TV、ラジオ、新聞雑誌、交通広告、サイネージ)
②大手旅行代理店グループメディアの活用
③大手通信社PRワイヤーの活用(共同通信PRワイヤーなど)
④企業とのタイアップ事業の実施

※PRワイヤー：報道機関にニュース情報を提供している通信社が、プレスリリースをメディアに配信し、さらにサービス事業者のウェブサイトや提携メディアに掲載する広報通信サービス。

■ マスコミ報道(パブリシティ)獲得に向けた考え方

● マスコミ向け情報発信方法

大会及びRose Expo FUKUYAMA 2025の開催を通じた「ばらのまち福山」の認知度の向上、話題喚起による期待感の醸成、大会に対するイメージアップにつながるマスコミ報道(パブリシティ)の獲得に向け、以下の点に留意した情報発信を行います。

- イベントの準備段階から会期中までの各種トピックスをニュースリリース等によって継続的に発信します。
- 記者クラブにおける記者会見や資料配布を軸とする国内外の様々なメディアへの情報到達を図ります。
- イベントの内容に応じて、メディアの特性に合わせた情報提供のタイミングや手法により、個別のアプローチを行い、効果の高いパブリシティ露出を獲得します。

● 広報基盤の整備

マスコミ向け情報発信活動を効果的及び円滑に推進するために、次の広報基盤を整備します。

① 基本報道用資料の作成・改訂

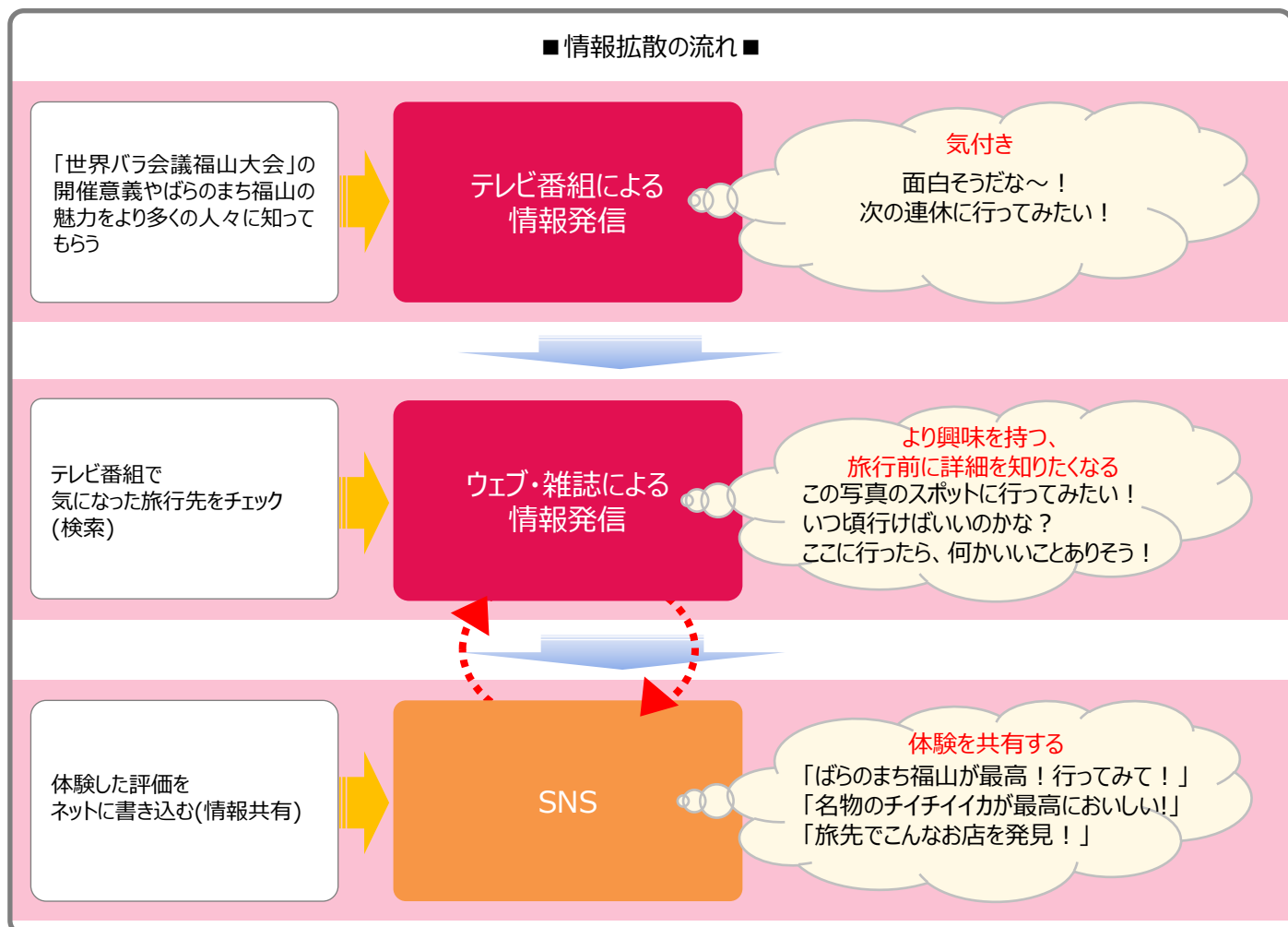
「第20回世界バラ会議福山大会2025・Rose Expo FUKUYAMA 2025」の基本情報、ばらのまち福山のストーリー、見どころ、周辺情報を簡潔明瞭にまとめた報道用資料(プレスキット)を作成し、対外的なメッセージの統一を図り、新たなニュース、動向にあわせて随時改訂を行います。

② メディアリストの整備・メンテナンス

情報発信の対象となるメディアを体系的(媒体種別、地域別)にリスト化し、随時メンテナンスを行います。

● 対象者の行動様式に合わせた情報発信の展開

「検索」と「情報共有」が重要な役割を果たす現代の行動様式に合わせた情報発信を行います。



*さらに、詳細を調べている人の情報検索でヒットする

3 大会ムーブメントの取組

大会そのものを「ばらのまち福山」発展のムーブメントとするための活動を展開

大会に向け、市民の一体感が図れるよう周知に努め、誰もが大会に関わることができるよう活躍の場の拡大を図り、まち全体の取組としていくとともに、日々変わっていく様子や市民みんなが協働により取り組む姿を発信することで、高揚感や期待感を高め、大会に向けたムーブメントを起こしていきます。また、この大会は、福山のばらのまちづくりの取組や大会の意義を多くの人に理解してもらう絶好の機会でもあり、大会そのものがばらのまち福山を発展させるムーブメントとなるよう取り組んでいきます。

1

約70年にわたり取り組んできたばらのまちづくり、そして大会に向けた取組のストーリーを共有し、ムーブメントにつなげていきます。

2

市民や企業を始め、多くの人が大会に関われるようメニューや仕組みづくりを行い、高揚感や期待感を高め、一体感を図りながら取り組んでいきます。

①大会に向けた機運醸成

大会開催に向けた高揚感を高めるため、駅など人通りが多い場所での広告物の掲出やイベントの実施、イベントの公募などにより、市民や企業などの積極的な参画につなげ、大会の認知度を向上させていきます。また、講習会、シンポジウムなど様々な事業を開催し、大会の開催意義・目的への理解を深め、ばらや海外文化への関心が高まるよう促していきます。更に、大会の3年前に開催の福山城築城400年記念事業などとも連携し、大会に向けた継続的なムーブメントとして活かしていきます。

●市内連携事業

- 2025年(令和7年)までに開催される様々な事業と連携し、会場の一部を借りて、PRブースを設置するなど、積極的な広報を行います。
 - ・福山城築城400年記念事業
 - ・ばらのまち福山国際音楽祭
 - ・福山ばら祭

●カウントダウン、キャラバンイベント

- 節目節目に効果的なイベントを実施すると共に、プレス発信を行うことにより、周知していきます。
 - ・残日表示計の除幕式
 - ・広報大使(著名人をイメージキャラクターに起用)の就任式
 - ・PRキャラバン隊(ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」+パフォーマンスチーム)の結成と出発式

●プレスツアー

段階的に事業のPRをプレス関係者に周知していきます。2021年度(令和3年度)は、「福山市」&「ばらのまち」をメインに、2023年(令和5年)からは「世界バラ会議福山大会」、2024年(令和6年)は、「世界バラ会議福山大会」&「Rose Expo FUKUYAMA 2025」・・・とプレス関係者に、記事にしやすいルートを考案し、提供し、記事の掲出へ誘引します。また、プレスツアーのテレビや雑誌のタイアップ事業として展開も検討します。

●2027横浜国際園芸博覧会との連携

- 共同PRの展開
- 連携イベントの実施

②大会サポーターの拡大

ウェブサイトやSNSなどを活用し、様々な取組をシェアできる仕組みを整え、大会サポーターや参加登録者の拡大を図ります。また、市民や企業などが自ら大会開催に関わる取組を宣言する「応援宣言制度」を導入し、取組を発信することで、大会に関わる市民や企業、団体の拡大と大会に向けた盛り上がりを図ります。

●ウェブ配信

2021年4月から「世界バラ会議福山大会」のウェブサイトの運用を開始。旬の情報を盛り込み、日本国内外に「世界バラ会議福山大会」及び「Rose Expo FUKUYAMA 2025」を広めます。また、レガシー継承に向けて、実施概要を掲出するだけでなく、ばらの専門家など様々な方々に記事を寄稿いただいた記事などを掲載し、報告書や、記念誌などへの掲載も視野に入れます。

●SNS配信

「世界バラ会議福山大会」のウェブサイトに掲出している様々なSNSツールを活用し、効果的に発信していきます。

③ばら文化の発信を通じたばらファンの拡大とばら文化の向上

ばらへの興味・関心を高め、ばらの新たな可能性や魅力を体感していただけるよう、日本画や西洋美術の展示会、書道コンテスト、折りばら講習会といったイベントを開催し、市内外におけるばらファンの拡大とばら文化の向上に取り組みます。

●文化的イベントの開催

市内外の「ばら」に関わる文化資源を紹介・活用したイベント等を実施することにより、身近にばらに親しむ機会を創出し、大会への期待感を高める。

○ばら×書道 コンクール

・ばらをテーマにした書道展を開催し、国内外から作品を募集。世界に「書のまち福山」を発信する。

○ばら×西洋美術 展覧会

・ル・ドゥーテのばら絵画展などの開催により、西洋のばらの歴史を辿る絵画展を世界バラ会議に併せ開催。国内外からのばらファンを誘う。

●ばらグッズ

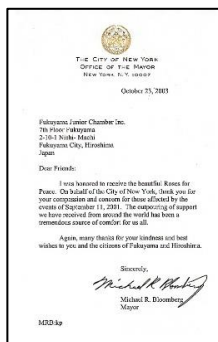
福山市の花「ばら」にちなんだオリジナル商品を、「ばらのアピール度」「福山らしさ」等の視点で毎年約10点を認定し、福山ばら祭や市内外のお土産物コーナー、イベントで販売しています。自分だけのハンドメイド作品が作れるばらグッズ講座も開催し、「ばらのまち福山」を発信します。

●折りばら講習会ワークショップ

戦後の復興と平和への願いを「ばら」に託して取り組んだ福山のばらのまちづくり。2003年(平成15年)のイラク戦争勃発をきっかけにして、福山から世界へ平和への願いを折り紙で作った「折りばら」に託して発信する取組が、市民活動により始まりました。2003年(平成15年)にはアメリカ同時多発テロ事件の被害者慰霊のためニューヨークへ911個の折りばらを送っています。

世界バラ会議福山大会開催を通じて、折りばらで国内外に平和を発信し、大会参加者へのおもてなしや、大会をPRするため、折りばら講習会ワークショップを開催し、市民のばら文化の向上と機運醸成を図ります。

ニューヨーク市長からの御礼状



親愛なる友へ

私は、平和の為に沢山の美しい「ばら」を頂き光栄に思います。ニューヨーク市民を代表して、2001年(平成13年)9月11日の事件の被害者に対する皆様の関心と思いやりに対して、心より感謝申し上げます。世界中から頂きました、溢れるようなご支援で、私たちニューヨーク市民は、ものすごく心を慰められました。

改めて、皆様の優しさに深謝致します。未筆ながら、あなた方及び福山と広島市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

心をこめて
ニューヨーク市長
マイケル R. ブルームバーグ

④Something Roseの取組

大会や関連イベント等を開催する際に、ばらの装飾や、リース・アレンジ・香水・キャンドル・ジャムづくり体験など「ばらを使った何か」を取り入れる取組を推進します。

⑤「ばらのまち」の見える化 ～ムーブメント～

ローズロード、オブジェ、バナーなどにより見える形でばらのまちを演出し、大会の機運向上に取り組みます。

4 大会ロゴ

大会のシンボルとなるロゴを活用した機運醸成と一体感の創出

第20回世界バラ会議福山大会2025及びRose Expo FUKUYAMA 2025の開催を国内外に周知し、開催機運を更に高めるため、大会のシンボルとなる「ロゴ」を全国から公募し、応募された302作品の中から、一次選考で3作品を選出した上で一般投票を行い、大会ロゴを決定しました。

一般投票では、「色の組み合わせが上品で素敵」「多様性を感じる」「ばらの図案が独創的でかっこいい」「グッズやまちなかで目をひくデザインで使い続けたいと思う」「ばらをテーマに世界から集まるところが良い」といった意見があり、最多得票の1,547票(総投票数4,233票)を獲得しました。

シンボリックで多様性を感じさせるデザインやグッズなどへの展開しやすさが高く評価され、多くの支持を受けました。今後はロゴを活用し、様々な媒体で第20回世界バラ会議福山大会2025及びRose Expo FUKUYAMA 2025をPRしていきます。

●大会ロゴ



●デザインのコンセプト

様々な色の花びらが中心に向かって集結し、ひとつのばらを形作っている。これは「ばらのまち福山」に世界の人々が集うことを表している。シンプルな円弧のパーツが組み合わさった様は日本の伝統工芸を思わせ、この地で世界バラ会議が行われる意義を印象付ける。

●活用イメージ(例)



●活用方針

- ロゴ利用規程及びロゴに関する手引きを作成し、それに基づき広く個人、事業者利用を許諾します。
- ロゴの利用については商用・非商用問わず無料とします。
- ロゴの利用許諾に係る事務は福山市が行います。

X スポンサー・パートナー計画

- 1 スポンサー・パートナー計画の基本方針…………… 79
- 2 協賛区分…………… 79
 - ①スポンサー案…………… 79
 - ②パートナー案…………… 79
- 3 協賛獲得・運用スケジュール…………… 79



1 スポンサー・パートナー計画の基本方針

大会の開催意義を共有する、「スポンサー・パートナー企業」の獲得

大会の機運を高めるとともに、大会の開催意義を共有し、ばらの新たな価値を創造する契機とするため、多くの企業、団体が参画できる取組を展開していきます。また、国内企業に限らず、共に大会を盛り上げる海外企業を募り、国際色豊かな大会をめざします。

- 1 大会を盛り上げ、企業や団体のアピールにつながるなど、相互にメリットが感じられる多彩な協賛メニューを提案し、多くの企業や団体の参画を図ります。
- 2 企業や団体の特色やノウハウを活かした企画や、複数の企業等の協働・共創による取組が行える場を創出し、参画の輪を広げます。

● 事業への共感や協賛のメリットの創出

第20回世界パラ会議福山大会2025の大会参加者は700人程度であり、マスに対して表出できる協賛メリットは限られています。また一般来場者の獲得をめざすRose Expo FUKUYAMA 2025も第1回の開催であり、エビデンスを示すことができません。スポンサー・パートナーの獲得にあたっては、ばらのまち福山の将来性や発展性を担保にした協賛メリットの創出が不可欠です。当大会はSDGsの達成を開催理念に掲げており、同様の取組を行う企業、団体が数多く存在します。ばらのまち福山が2030アジェンダを達成できる自治体であることを、実施計画を通じて明確に表出していくことで、同じ理念をもった企業・団体との意識の共有に基づく協賛の獲得を図ります。



2 協賛区分

協賛募集に当たっては、資金提供のほか、物品提供や役務の提供など、多彩な協賛区分を設け、多くのスポンサー・パートナー企業の参画を図ります。また、クラウドファンディングなどを活用し、大会の機運醸成や資金の確保に努めます。

① スポンサー案

大会に係る費用の一部について金銭的援助をしていただくもの。

協賛区分	協賛内容
ネーミングライツ・スポンサー	大会内のイベントなどの命名権
広告スポンサー	大会で作成する広告媒体への掲載
出展スポンサー	大会プログラムなどへの出展権

② パートナー案

大会で使用する物品や役務を援助・支援していただくもの。

協賛区分	協賛内容
物品提供パートナー	大会に必要となる物品や資材、施設などの提供又は無償貸与協力
広報協力パートナー	企業・団体などが所有する広報媒体や有料広告物などへの広告掲載協力
協働事業パートナー	大会の趣旨に沿った事業を自主的又は協働で実施
役務提供パートナー	大会準備や運営への企業の技能を生かした人材提供協力

3 協賛獲得・運用スケジュール

時期	実施内容
計画立案期 (～2023年10月)	資金提供のメニュー作成、現物支給の項目整理、協働・共創事業のプログラム作成、ネーミングライツなどの対象検討
募集期 (2023年11月～2024年3月)	企業・団体への依頼及び内容調整 スポンサー・パートナー候補となる企業などのリストアップ
実施期 (2024年4月～2025年5月)	協賛メニューに沿った提供・協力の準備・実施、クラウドファンディング協力者などへリターンの提供

XI 安全対策計画

1 安全対策計画の基本方針	81
2 安全対策計画	81
①危機管理体制	81
②災害・事故対策	82
③救護対策	82
④感染症対策の徹底	83
⑤食品衛生対策	83
⑥警備計画	83
⑦判定会議	84
⑧大会参加者への情報提供	84

1 安全対策計画の基本方針

大会参加者、大会関係者及び会場周辺の人々の生命及び身体の安全を守ることを最優先に考え、危機管理体制・救護体制を整えた安全対策を行います。

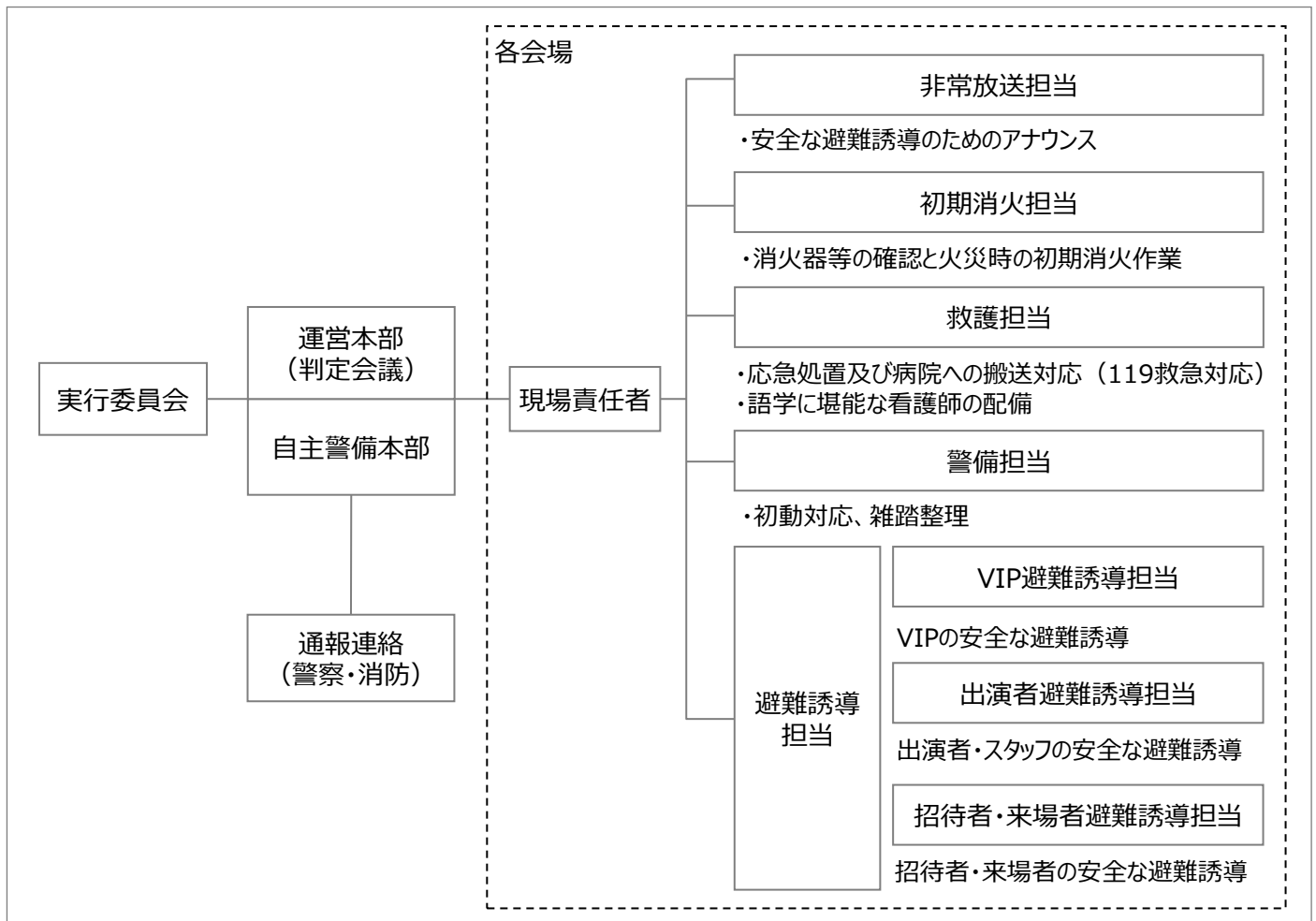
- 1 消防、警察署その他関係機関との協力体制を築き、密接な連携を図ります。
- 2 緊急時マニュアルを整備し、大会参加者などの安全を確保し、安心して参加できる体制を確立します。
- 3 災害や事故などの危機事象についてあらかじめ想定し、常に情報収集を行うことで、迅速な初期対応ができる体制を整えます。

2 安全対策計画

①危機管理体制

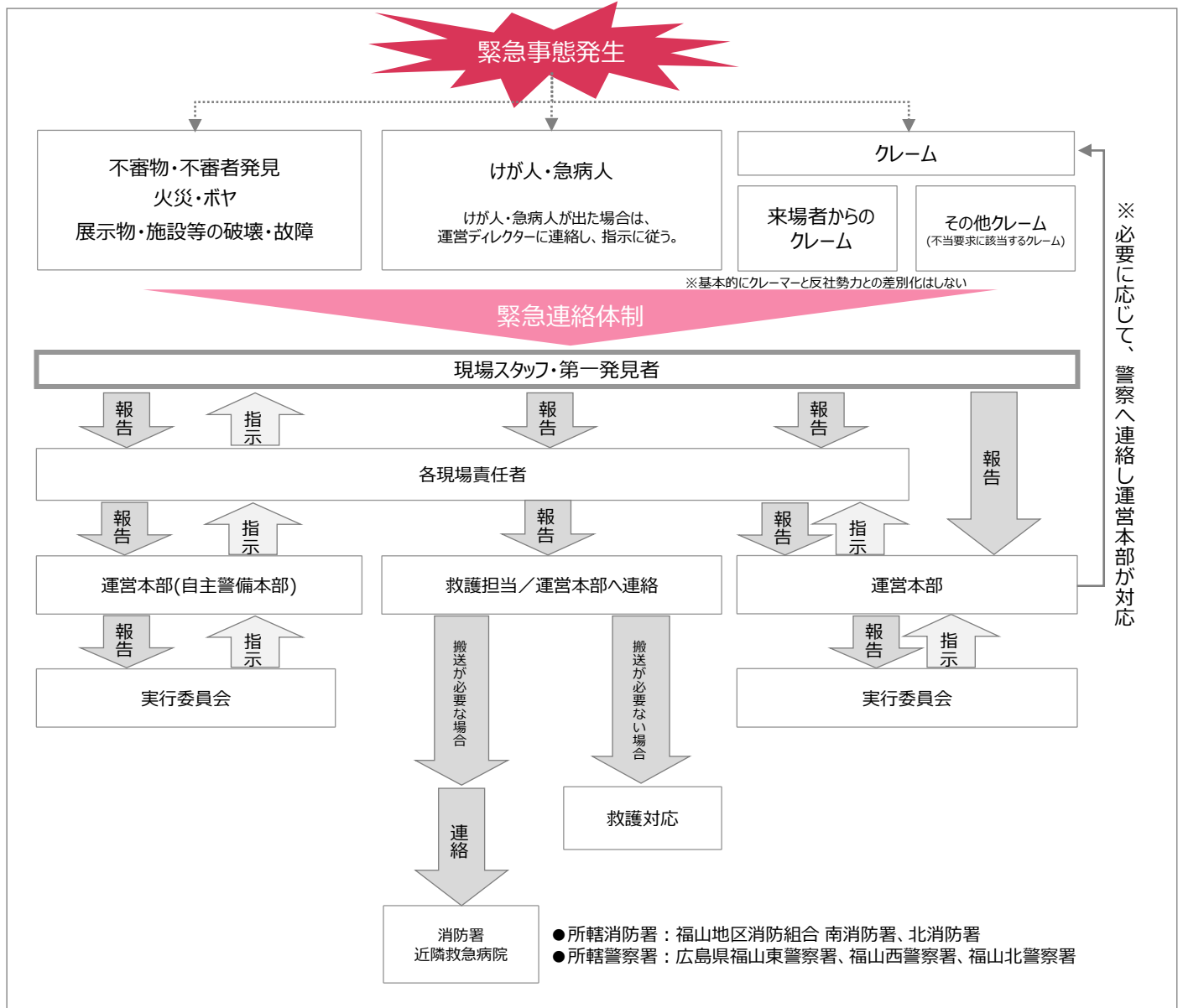
万一の場合に備え、自主警備組織を構成し、不慮の事態にも迅速かつ的確に対応できる体制を整えます。

●自主警備組織体制図



XI 安全対策計画

●緊急時連絡体制(各会場ごとに組織)



②災害・事故対策

不慮の災害や事故が発生した際は各会場ごとに組織された自主警備組織及び緊急連絡体制に基づき、各担当が所定の行動をとって会場の参加登録者、スタッフ全員の安全を確保します。

●災害対策

地震や津波などあらかじめ予測することが困難な災害の発災時には、自主警備組織の各担当が所定の行動をとり、各会場ごとに整備した避難誘導マニュアルに基づいてあらかじめ定められた避難場所への避難誘導を行います。その後実行委員会を通じて国及び自治体の指示に従った避難行動を行います。

●事故対策

不慮の事故に遭遇した場合には、自主警備組織の各担当が所定の行動をとり、緊急連絡体制に基づいて報告を行い指示を受けます。連絡を受けた自主警備本部(実行委員会事務局内)は速やかに所轄警察署、所轄消防署に緊急連絡を行い、法令に沿った指示に従います。その際、自主警備組織は周辺の安全確保に努め、2次被害の発生を防ぐ行動をとりま。

③救護対策

けがや急病が発生した際は、自主警備組織の各担当が所定の行動をとり、緊急連絡体制に基づいて報告を行い指示を受けます。むやみに救命行動をとらず、専門家の指示に従った救命処置や救急処置を行います。けがや病気が軽微な場合は救護室へ案内します。また大会の会期中は指定医療機関を設定し、参加登録者の健康と安心、安全を最大限担保します。

④ 感染症対策の徹底

大会の開催に向け、会場における新型コロナウイルス感染症への感染リスクを限りなくゼロに近づけるため、全ての大会参加者、大会サポーター、大会関係者が安心して参加できる安全な会場環境の提供するよう、国や県の指針に沿って適切な対策を講じます。

● 搬入時の入場管理

感染症対策は搬入作業から既に始まっています。設営作業員の衛生管理はもとより、大会関係者、大会サポーター等会場に入場する全ての人たちに対して衛生管理を徹底し、安全な環境づくりを行います。

● 開催時の入場管理

多数の来場者を迎えることは感染リスクの拡大を意味します。来場者にご理解いただくことを前提に、入場制限、マスクの着用、手指消毒など感染症対策への協力を促し、安全な会場環境の維持を図ります。



● 開催時の会場管理

開催時において多数の来場者が訪れる空間では、空間そのものに感染リスクが高まります。定期的な換気や、人の手が触れる場所の定期的な消毒など、出展者の協力も仰ぎながら安全な展示会環境の維持を図ります。

- 会場内の換気 ▶ 空調設備の活用
- 手の触れる場所の定期的な消毒
 - ▶ 実行委員会展示、ステージ備品、休憩スペース等における消毒マニュアルの作成と履行の徹底
- エリアごとに消毒剤を設置
- 各ブース毎に消毒剤を配布し、出展者が展示物等の定期的な消毒を実施 など



⑤ 食品衛生対策

様々なシーンで行われる飲食物の供給に対して、調理、加工から提供に至るまで、最大限の衛生対策を行います。飲食物を提供する事業者には、原材料の受入れから飲食物の提供までの衛生管理計画の提出を義務付けるとともに、保健所において、事前に、提供する飲食物の確認及び食品取扱施設への立入など、衛生管理について指導を行い、安心安全な食の提供を図ります。

⑥ 警備計画

自主警備体制とは別に、開会式などVIP等特別来賓が臨席する行事については県警と連携し警備計画を策定します。警備区域のレベル設定、車両登録規程、参加登録者、市民参加者の荷物検査、雑踏対応等を、プロの知見を活用した警備計画として策定し、警備会社と契約してプロの警備員を配備します。

⑦ 判定会議

大会の継続可否の判断が必要と考えられる地震や津波などの突発事案の発災時に際して、関係情報等を収集・整理し、大会行事の変更、中止等について協議を行い、大会の継続実施の可否を決定するため、判定会議を招集します。判定会議に参加するメンバーは、予め運営本部内で決定します。判定会議では気象等の情報収集及び判定基準に基づく検討を行い、実行委員会は判定会議の検討結果に基づき、大会実施の可否を決定します。

● 判定会議の役割

- 気象・地震・火災及び突発事案関係情報等を収集・整理し、判定基準に基づいて大会各行事の実施の可否について検討し判断を行います。
- 判定会議の構成員として、運営本部より、議長、副議長、委員を選定します。
- 台風の接近などあらかじめ大会開催に影響が予測される場合は、大会開催の前日と当日の早朝に判定会議を開催します。また、地震や津波などの突発的事案が発生した場合は、時間にかかわらず判定会議を随時招集します。

● 大会中止の判断

大会中止の判断基準は、十分な調査をもとに基準値を設定します。

⑧ 大会参加者への情報提供

● 関係機関、実施本部員、スタッフへの連絡

大会行事を中止・変更する場合は、緊急連絡体制により関係機関、実施本部員、スタッフに速やかに伝達し対応します。

● 大会参加者、大会サポーター等への情報提供

大会参加者、大会サポーターへの正確な情報提供の手段を構築します。

- ウェブサイト/SNS
- 登録メールへ伝達
- マスコミを通じた周知
- 担当旅行会社・担当交通会社・宿泊施設への周知

XII Rose Expo FUKUYAMA 2025開催計画

1	Rose Expo FUKUYAMA 2025開催概要	87
①	催事名称	87
②	開催コンセプト	87
③	開催期間	87
④	会場	87
⑤	構成概要	87
2	会場構成	88
3	展示構成	89
4	展示内容	90
5	運営計画	92
①	開催までの準備	92
②	会場運営のポイント	92



1 Rose Expo FUKUYAMA 2025開催概要

第20回世界バラ会議福山大会2025の開催を記念して、大会の開催期間に、福山市内全域を使ったばらの祭典・Rose Expoを開催します。

①催事名称

Rose Expo FUKUYAMA 2025

福山ばら博覧会2025

②開催コンセプト

福山のばらのまちづくりの歴史の中で育まれたばらの魅力を余すことなく感じていただくとともに、ばらの持つ魅力とこれからの可能性を追求し、新しく楽しめるばらのある暮らしを体感することができるイベントを皆さんと共に創ります。

- 1 ばらを始めとする花々や緑の魅力について学び、体感できるようなプログラム
- 2 暮らしの中に根付いたばらとの関わりなど、福山のばらのまちづくりの紹介とばらのまち福山の魅力発信
- 3 健康・医療分野、美術・工芸・音楽などの芸術分野など、様々な分野での可能性の提案や花き産業などの活性化に結び付くような提案
- 4 デジタルコンテンツなどの最新技術の実験的活用の中
- 5 SDGsを原動力とした地方創生につながるような取組
- 6 大会参加者との交流機会の創出

進化し、輝き続ける「ばらのまち福山」を世界に発信

③開催期間

2025年(令和7年)5月17日(土)～5月24日(土) 8日間 (予定)

④会場

市内全域 【主な会場】ばら公園、緑町公園、福山通運ローズアリーナ(福山市緑町公園屋内競技場) など

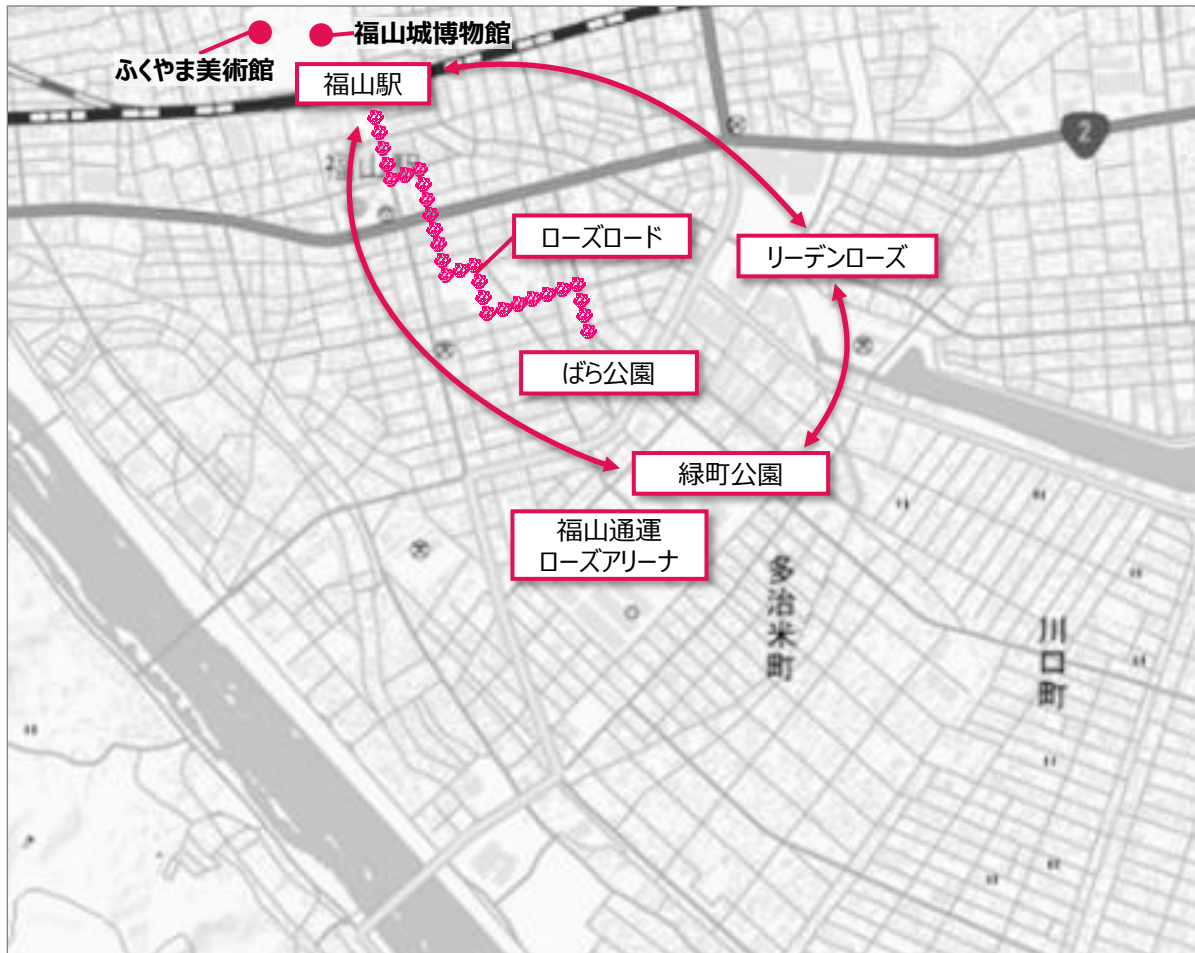
⑤構成概要

- テーマ展示エリア：シンボルローズガーデン(市民参加型展示)、フラワーアーティストの世界、ばらの生け花などばらのある暮らしの提案
- コンテストエリア：ばら盆栽、切りばら品評会、ハンギングバスケット、寄せ植え など
- ステージ・ワークショップエリア：フラワーパフォーマンス、トークショー など
- ローズマーケットエリア：植物、雑貨、ガーデングッズ、ばらグッズ、ばら酵母を活用した6次産品 など
- 企業ブースエリア：ばらに関する企業など商談の場づくり

2 会場構成

●市内全域

【主な会場】 福山駅、ばら公園、緑町公園、福山通運ローズアリーナ（福山市緑町公園屋内競技場）



ポイントとなる施設では、より明確にそれぞれの特性に合わせた情報を発信

●福山駅

○ウェルカムローズなどによる100万本のばらのまちの演出、観光案内所によるインフォメーション機能

●ばら公園・緑町公園・福山通運ローズアリーナ（福山市緑町公園屋内競技場）

- ばらを楽しむ空間の演出
- 公共空間における農薬散布を前提としないばらの普及
- テーマガーデン、フラワーアーティストの世界、コンテスト など

●リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）

○ばらをテーマにしたコンサート、文化芸術の発信 など

【市内ばらいっぱい企画】

- ・学校ばら花壇、地域・企業の花壇
- ・市役所ばら花壇の整備、ローズロードの充実 ほか



**ROSE
EXPO**
FUKUYAMA 2025

※Rose Expo FUKUYAMA 2025 〇〇

3 展示構成

ばら公園、花園公園、緑町公園を一体的なばら園として整備し、市の中心的なばらのシンボルゾーンとして計画する。

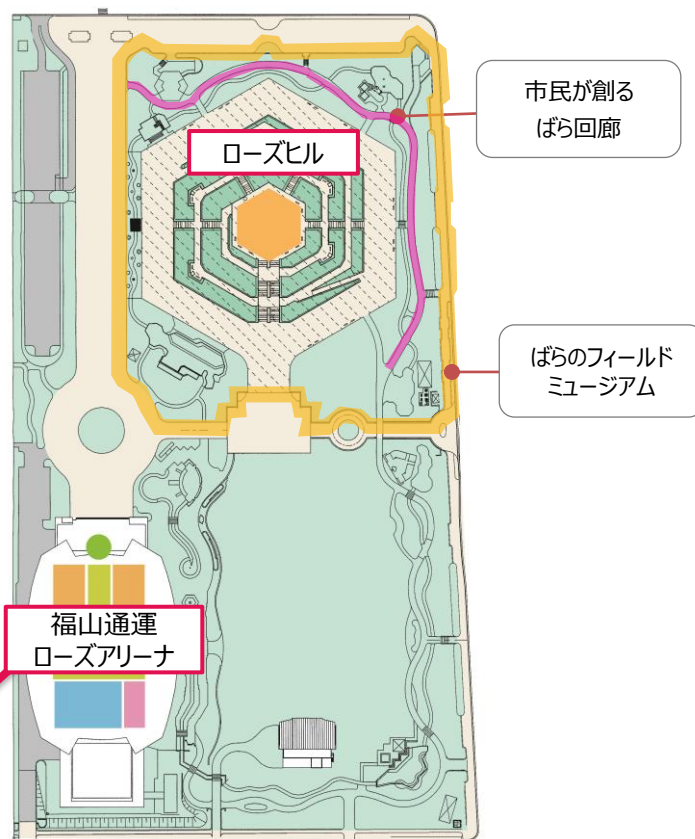
ばら公園

道路からの景観も意識し、テーマ性、立体感、回遊性を高める。散策路をめぐるとばらを身近に感じられるような空間を演出する。

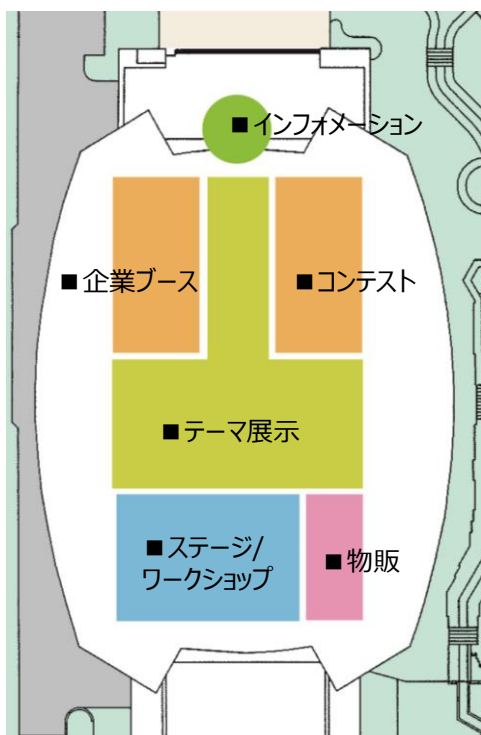


緑町公園

ローズヒルの周辺に野生ばらなどを自然樹形で展示。ローズヒルの頂部にばらの歴史を紹介するコーナーを設け、公園全体でばらの歴史が学べる「ばらのフィールドミュージアム」を計画する。



福山通運 ローズアリーナ



- 市内各所(ばら花壇、商店街など)にてそれぞれのスタイルで開催
- ポイントとなる施設では、より明確にそれぞれの特性に合わせた情報を発信

- 福山駅：100万本のばらのまちを演出。インフォメーション、ウエルカムローズ
- ばら公園・緑町公園・福山通運ローズアリーナ
：ばらを楽しむ空間を演出、新たな情報の発信
テーマガーデン、フラワーアーティストの世界、コンテスト他
- リーデンローズ：文化芸術の発信。ばらをテーマにしたコンサートなど

4 展示内容（案）

■ フラワーアーティストの世界

テーマに合わせ、フラワーアーティストが独自の世界を表現
ばらを様々な形で楽しめる魅力的な空間です。



■ ミニばらの盆栽

ロザリアンによって丹精込めて作られたミニばら盆栽の世界を紹介します。



■ New Rose 2025年（令和7年）新品種

その年発表の新品種を会場で初お披露目
無農薬で育てやすいばらやガーデンローズ、カットローズ、両方の
トレンドを紹介します。

生花だけでなく香りや食やテーブルウェアなど様々なシーンで
魅力を発揮しているばらにスポットを当てます。



※画像は全てイメージです。

■ もっと青く〜ブルーローズの世界

■ エディブルローズ（食べられるばら）

■ ばらの香りの秘密

■ ばらで彩る優雅なティータイム

など、テーマごとにばらの魅力を存分に楽しんでいただきます。

■ 企業ブース

ばらに関する企業ブースの設置と商談
の場づくりを提供します。



※第19回世界バラ会議アデレード大会2022の様子

■コンテスト

プロ・アマ問わず広い参加を呼びかけるコンテストを実施します。
屋外エリアでは、寄せ植えコンテナとハンギングバスケット部門
屋内エリアでは、ばらの鉢植えと切花部門を開催。
また、世界バラ会議福山大会で実施する「まちを彩るばらの新品種国際コンテスト」にあわせ、市内外のアマチュアを対象とした「チャレンジ！ばらの新品種コンテスト」を開催します。

●【屋外エリア】ハンギングバスケット部門



●【屋内エリア】ばらの鉢植え部門、ばらの切花部門



●【屋内エリア】ばら切り花品評会

切り花のプロが作るカットローズの全国品評会を誘致します。



●チャレンジ！ばらの新品種コンテスト

自分で種子から育てた苗を持ち寄り展示します。



■ローズマーケットエリア

ばらや植物の苗・種はもちろん園芸グッズや雑貨など、花好きの来場者が楽しめるマーケットを会場内に展開します。



■ステージ：デモンストレーションとトークショー

ステージには「趣味の園芸」に取り上げられているような著名な植栽関係者を中心にゲストに登場していただき話題づくりを図ります。デモンストレーションではステージ上でフラワーアレンジメントを行ったり、他分野の芸術とのコラボレーションを行いステージを盛り上げます。トークショーは専門家からの講演だけでなく、コンテスト受賞作品への品評も併せて行います。ばらやガーデンの愛好家だけでなく、ファミリー層も楽しめるよう、花育(花や緑に親しむと共に自然を大切に育てていく)の企画やキャラクターショーなどの開催を検討します。

※画像及びイラストは全てイメージです。

5 運営計画

大会参加者はもとより市内・県内からの来場者には郷土の素晴らしさを再認識していただき、県外からの来場者に対しては福山市の魅力・ローズマインドを実感していただき、再訪につながる運営を行います。緑化催事にあたっては会場運営を熟知したスタッフとともに市民のローズマインドによるおもてなしが伝わる組織体制で臨みます。

- ポストコロナに対応した来場者・関係者への配慮(安心・安全)を第一に考えた事前準備や会場運営
- 会場の環境に即した運営計画と会場運営
- 他会場・イベントと綿密に連携し、連動のとれた円滑な運営
- コンテストのスムーズな運用
- “ローズマインド”を実感していただけるような市民による「おもてなし」

①開催までの準備

- 関係官庁・施設・関係団体への申請と調整
本催事における関係官庁への申請や調整を行い、施設や複数に渡る会場との情報共有を図り、緊密な連携・調整のもと大会運営を行うことのできる事務局体制をつくります。
- 会場を考慮した運営計画
会場特性に留意した運営計画を構築します。
- 実施計画書(運営マニュアル)の作成
ポストコロナに対応した安心・安全を第一に考えた実施計画書(運営マニュアル)を作成します。

②会場運営のポイント

- 来場者対応(誘導・案内)
ポストコロナ時代における厚生労働省のガイドラインに沿った来場者対応を行います。
- 会場特性を考慮した会場運営
バリアフリーや多言語化表示等にも配慮し、会場特性に留意した会場運営を行います。
- 会場管理体制
ポストコロナに対応した安全で円滑な運営業務を行うとともに、万一の場合に備えて、自主警備本部を組織し、事務局・主催者・管轄官庁と連携する体制を整えます。
- 複数の会場・大会関係施設・行事間の連携
複数の会場や大会関係施設、様々な行事との間で綿密な連携をとりながら、大会全体の円滑な運営を行います。

XIII 2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) との連携

1 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）との連携…… 95



本大会と同年に開催される「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」へは、世界各国から多くの人を訪れます。公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と連携し、共創事例の発信や大会認知度の向上、機運醸成に取り組みます。また、万博来訪者が福山へ、福山大会参加者やRose Expo FUKUYAMA 2025来場者が大阪へと回遊する観光ルートを造成することで相乗効果を生み出し、中四国地方の活性化へと波及させます。

1 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ

本大会は、2021年（令和3年）1月、『TEAM EXPO 2025』プログラム／共創チャレンジ』に全国の自治体で初めて登録しました。「共創チャレンジ」は、自らデザインする未来社会の実現に向けて、主体となって行動するチームです。小学生によるばらの花を用いた商品化など、ばらをテーマに活動する産学官民の幅広い世代の参画により、創意工夫しながら、新たな都市の魅力や地域の価値を創造します。2025年には、万博会場においても活動を紹介し、世界へ発信することをめざしていきます。

●2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテーマとの関わり（共創チャレンジ登録内容より）

世界バラ会議では、世界各国からばらの愛好家や研究者が集い交流し、ばらに関する研究成果の発表や、情報交換を行います。情報や知識の交流を通じて、新たな価値の創造やサービスを創出することにより、産業や技術革新に力をあたえ、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に貢献します。

2 アデレード大会での共同 P R

オーストラリア・アデレード市で2022年（令和4年）10月27日～11月3日に開催された第19回世界バラ会議アデレード大会において、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）と本大会の共同 P Rを実施しました。

実行委員会会長と実行委員長による誘客プレゼンテーションでは、本大会における2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場へのツアーの実施について取り上げたほか、会場の一角に設けた本大会の P Rブースにおいても、「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」と「第20回世界バラ会議福山大会2025」について P Rを行いました。

3 シンポジウムの開催 ～800日前イベント～

多様な主体が参画し、「みんなで創る」世界バラ会議福山大会の成功に向け、博覧会協会からの登壇者をお招きし、国や実行委員会、MICEの専門家などの登壇者とともに議論を深め合うシンポジウムを開催します。

万博来訪者・本大会参加者をはじめとしたインバウンド受入にむけたまちづくりとはどのようなものか、両者の事例の紹介を行いながら、2025年（令和7年）に向けた機運の醸成を図るとともに、「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」と「第20回世界バラ会議福山大会2025」を、世界に地域の魅力を発信する好機と捉え、都市圏の魅力づくりについて考えます。

【タイトル】 世界の中の“ばらのまち福山” ～世界バラ会議福山大会に向けて～

【開催日】 2023年3月18日（土）

【会 場】 広島県民文化センターふくやま

4 共同PR実施 ～500日前イベントなど～

「第20回世界バラ会議福山大会2025／Rose Expo FUKUYAMA 2025」の全国的な認知度の獲得をめざし、「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」と連携し、500日前など節目の時期を捉えての共同 P Rを実施します。

5 福山～大阪をつなぐツアーの実施

「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の開催地・大阪と、「第20回世界バラ会議福山大会2025」 「Rose Expo FUKUYAMA 2025」の開催地・福山、瀬戸内海で開催される国際的なアートプロジェクト「瀬戸内国際芸術祭」の舞台などを巡るツアーを実施し、西日本の観光周遊につなげます。

XIV レガシー創出計画

- 1 レガシー創出計画の基本方針…………… 97
- 2 レガシー創出への取組…………… 98
 - 市民一人一人にもたらすレガシー…………… 98
 - ① 福山のばらの歴史への理解を通じた福山の魅力の再発見、シビックプライドの醸成…………… 98
 - ② 大会を通じて生活の中に花と緑を取り入れたライフスタイルの提案…………… 98
 - ③ まちづくりやボランティアの参画…………… 98
 - 地域を創る・地域発展のレガシー…………… 98
 - ① まちなかのばらの充実、名所・施設の整備…………… 98
 - ② まちづくりの担い手の確保や育成、活動の場を創出し交流を活性化…………… 98
 - ③ 関連民間団体等との多様な連携強化…………… 98
 - ④ 新たな官民の連携…………… 98
 - ⑤ 地域資源の価値を再確認し、ばらを楽しみ、交流・周遊できる仕組みづくり…………… 98
 - 世界へと広がるレガシー…………… 99
 - ① 世界バラ会連合に対するレガシー・平和へのメッセージの発信…………… 99
 - ② 多文化への理解促進…………… 99
 - ③ インバウンドインフラの整備・推進…………… 99
- 未来を創るレガシー…………… 99
 - ① ばらイベントの再構築…………… 99
 - ② 持続可能なまちをめざしたSDGsの推進、教育…………… 99
 - ③ ばらの価値の向上、ばらの特色を活かしたビジネスチャンスの拡大…………… 99
 - ④ 年間を通じたばらの情報発信・交流の拠点づくり…………… 99
 - ⑤ MICE福山モデルの確立…………… 99



1 レガシー創出計画の基本方針

20回の節目となる大会の開催を契機として平和を願うメッセージを発信し、“ローズマインド”による協働・共創の取組を通じて、SDGsが掲げる持続可能な社会の実現に向けたレガシーを創出します。

2025年(令和7年)の世界バラ会議は20回目を迎える記念すべき大会です。大会を契機に、約70年にわたる「ばらのまち福山」の創成の物語を、平和を願うメッセージとして世界に発信するとともに、大会での“ローズマインド”による協働・共創の取組を通じて、ダイバーシティを推進し、SDGsが掲げる持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

市民・地域・世界・未来へ広がるレガシーを創出し、世界バラ会連合と国内のばら文化の更なる発展、日本のプレゼンスの向上と福山のブランド力の向上に寄与し、福山にとっても大きな飛躍となるよう取り組みます。

- 1 一人一人がばらの魅力を感じ、将来に渡って「ばらのまち福山」を誇りに思えるよう、環境整備などに取り組みます。
- 2 市民が“みんなで創る”大会を通じて、“ローズマインド”を実感し、ふるさと福山を再認識することで、まちづくりに参画する契機とします。
- 3 大会を通じて世界の人々との交流を行うことで、市民の多文化共生への理解や国際感覚の醸成を図り、ダイバーシティを推進し、国際都市福山をめざします。
- 4 大会全体を通じてSDGsの推進を図り、ばらのまちづくりの未来を感じられる取組を行うことで、めざすべき未来の方向性を示します。



市民との協働・共創による持続可能な社会の実現



2 レガシー創出への取組

■ 市民一人一人にもたらすレガシー

① 福山のばらの歴史への理解を通じた福山の魅力の再発見、シビックプライドの醸成

戦後の復興と平和を願い始まった約70年にわたる「ばらのまち福山の歴史」を子どもたちは、小学校のふるさと学習で学んでいます。ばらに込められた平和への願いを誰もが理解できる取組を行い、子どものころからばらに親しみ、平和や福山の歴史・ばらのまちづくりについて学ぶことで市民の郷土愛を育みます。

子どもから大人まで、市民一人一人が主役となって大会を成功させ、かけがえの無い達成感や感動を記憶に残し、福山への誇りと愛着を高めます。

② 大会を通じて生活の中に花と緑を取り入れたライフスタイルの提案

ガーデニングや鉢植え、生け花など、生活の中にばらをはじめ花と緑を取り入れたライフスタイルを提案し、心豊かなまちづくりを推進します。

③ まちづくりやボランティアの参画

“ローズマインド”の継承、ふるさと学習、ホスピタリティ、ボランティア育成等を通じてまちづくりの参画意識を醸成し、生涯にわたって活躍することができる社会の実現と健康長寿社会へ寄与します。

■ 地域を創る・地域発展のレガシー

① まちなかのばらの充実、名所・施設の整備

まちなかのばらや市内の公共空間におけるばらの魅力向上に向け、植栽デザイン計画を検討し、ばらの環境整備を行います。「ばらのまち福山」の玄関口にふさわしい福山駅前のイメージアップのため、路上喫煙禁止や市民総ぐるみの美化活動の取組を行うなど、世界からの来訪者を迎えられる美しい環境整備を行います。

② 大会記念ばらの普及

「ばらの新品種国際コンテスト」によって選出された「大会記念ばら」は丈夫で育てやすく、福山の気候に適したばらです。まちを彩ることができるばらとして広く普及に努めます。

③ まちづくりの担い手の確保や育成、活動の場を創出し交流を活性化

「みんなで創る大会」として、園芸、国際交流、文化・スポーツ・芸術、ボランティアなど、あらゆる分野の“ローズマインド”活動を通じて人材を発掘。サポーター制度を構築し、まちづくりの新たな担い手を育成します。

企画・準備段階から、プレイベント、大会開催まで、子どもから大人まで多世代の活動を支援し、全国各地に“ローズマインド”を広げ、おもてなしを展開します。

④ 関連民間団体等との多様な連携強化

ばらに関わる団体を始め、本大会成功に向け取り組む全ての人々の活動により、国内外からの来訪客に“ローズマインド”を届けることができるよう、連携の輪を広げます。

全国の育種家と連携し、誰もが育てやすいばらの品種の開発にも取り組みます。

⑤ 新たな官民の連携

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「Team Expo共創チャレンジ」への登録により、ばらをテーマに活動する産学官民、多様な主体と連携・協働し、スポンサーやパートナーと共に、ばらの新たな価値の共創に向け取り組みます。

⑥ 地域資源の価値を再確認し、ばらを楽しみ、交流・周遊できる仕組みづくり

○ 観光・産業の振興

自然・歴史・食・文化等を磨きあげるによりコンテンツを創出し、福山の“ローズマインド”あふれるおもてなしによる観光・産業を振興します。

○ オープンガーデンツーリズムの実施

ばらの香りや食を楽しみながらゆつくりとばら花壇を巡る観光コンテンツの開発により、市民のボランタリーな運動を経済活動へとつなげ、持続可能な花壇運営を実現します。併せて、福山城、鞆の浦などとの回遊性やナイトタイムエコノミーの充実を図ります。

■ 世界へと広がるレガシー

① 世界バラ会連合に対するレガシー・平和へのメッセージの発信

過去の世界バラ会議の実績を20回目の記念すべき大会として福山が引き継ぎ、平和へのメッセージを発信する本大会の特徴を生かし世界バラ会議を未来、そして後世へとつなげていきます。

② 多文化への理解促進

ばらをテーマに世界40か国から来訪される方々と、“ローズマインド”（思いやり・優しさ・助け合いの心）あふれる交流により、様々な文化への理解を深め、多文化共生社会をめざします。

③ インバウンドインフラの整備・推進

案内標識等(サイン)、飲食店のメニューの多言語化、Wi-Fi環境の整備、トイレの洋式化、キャッシュレス決済の推進などを計画的に進め、インバウンドの受け入れ環境を整備します。

■ 未来を創るレガシー

① ばらイベントの再構築

1968年(昭和43年)から続く「福山ばら祭」のあり方をみんなで考える契機とし、暮らしの中にばらを感じられる催しとして、大会に併せRose Expo FUKUYAMA 2025を開催します。同年開催される2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）や瀬戸内国際芸術祭との連携も検討し、観光周遊を図ります。

② 持続可能なまちをめざしたSDGsの推進、教育

ローメンテナンス、無農薬栽培による人やまちに優しいばらへのシフト、食品ロスを減らし、物品の地元調達など地域循環型の大会運営を行い、SDGsへの理解や取組を進めます。

子どもの頃からばらを慈しむ体験を通じ、平和を希求する心や豊かな情操、他者への思いやりなど“ローズマインド”をはぐくむ花育を推進します。

③ ばらの価値の向上、ばらの特色を活かしたビジネスチャンスの拡大

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）「Team Expo共創チャレンジ」への登録や、大会を通じた世界の人々との交流・ばらに関する多様な情報の集積を通じ、ばらをテーマに活動する産学官民、多様な主体と連携・協働し、スポンサーやパートナーと共に、ばらの新たな価値の共創に向け取り組みます。

④ 年間を通したばらの情報発信・交流の拠点づくり

市民や観光客が「ばらのまち福山」の歴史に触れ、“ローズマインド”やばらづくりを体感することができるよう、ばらづくりを学ぶことのできる情報発信・交流の拠点づくりを検討します。

⑤ MICE福山モデルの確立

福山市MICE戦略に基づき、会議・文化施設、ホテル等の都市機能を生かしたエリアMICEを取り入れた福山モデルの確立に取り組みます。

XV ロードマップ

- 1 2020年(令和2年)～2026年(令和8年)
以降のロードマップ…………… 101

XIV ロードマップ

1 2020年(令和2年)～2026年(令和8年)以降のロードマップ

項目/年度		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年～	
世界バラ会議	世界大会			アデレード大会 (オーストラリア)			福山大会 (日本)		
	地域大会				ブリュッセル大会 (ベルギー)	スウェーデン大会 (スウェーデン)			
福山市イベント		全国都市緑化 ひろしまフェア		福山城築城 400年記念事業		世界バラ会議 フレイイベント	ばら制定都市会議 (ばらサミット)		
国内関連イベント			東京オリンピック パラリンピック			第74回 全国植樹祭 (岡山市)	2025年 日本国際博覧会 (大阪・関西万博)	2027年 国際園芸博覧会 (横浜市)	
国・県・他自治体等との連携		国(観光庁・農林水産省・国土交通省・外務省・経済産業省ほか)・(公社)2025年日本国際博覧会協会・広島県・ばら制定都市会議・花と緑のまちづくり首長会との連携(随時)							
推進体制		世界バラ会連合・日本ばら会との連携							
		実行委員会・専門委員会							
大会計画・準備		実施要項 策定					実施運営 マニュアル策定		
会場計画		会場確保 使用申請・依頼		会場使用計画 作成		会場準備			
講義		講師選定		講師調整・確保		講義準備			
視察・ツアー		候補地選定		選定地との調整 ルート設定		登録準備	登録開始		
宿泊・交通計画		宿泊施設 選定・確保		宿泊対応準備		宿泊申込 受付			
				輸送ルート 検討・決定		関係機関調整・準備			
参加登録計画		参加登録内容・金額の決定		参加登録準備		参加登録 受付			
				登録受付 システム構築		登録受付 システム稼働			
ローズマインド推進計画		実施計画 策定		計画立案		計画実施			
協働・共創推進計画		発掘・育成		実践					
ボランティア計画				おもてなし計画～研修		募集 要項 作成	募集 研修		
						ボランティアセンター			
広報計画		認知拡大		機運醸成		誘客 促進			
スポンサー・パートナー計画		制度設計・構築				依頼・提案	連携・協力		
安全対策計画				関係機関調整 危機管理体制構築		実施準備 連携・調整			
Rose Expo FUKUYAMA 2025開催計画		実施計画策定 実施設計・各種調整				実施準備			
環境整備・ インバウンドインフラ		環境整備計画・設計・工事・既存施設、設備の改修							

Rose Expo FUKUYAMA 2025

大会総括

大会レガシー継承

